

大学・学生意識調査報告書 〔2011年度〕

はじめに

長崎外国語大学は2011年4月、1年次2学期生から4年次生を対象に開学後10回目となる意識調査を行った。在籍者数719名から新入生、留学中、休学中の学生を除いた511名のうち回答者数は337名で、回収率は65.9%に相当する。

内容は学生生活と学習に関する学生の意識についての調査である。昨年までと同じ質問項目で行い、過去10年間の推移や傾向について分析を行った。

なお、回答中のマークミスについては削除し、母数には含めていない。

長崎外国語大学

学生部長 山川 欣也

目次

I 学生生活について	3
A. 大学生活について（設問 1～5）	3
B. 大学生活の目的と一番打ち込んでいること（設問 6～7）	5
C. 悩みについて（設問 8～15）	7
D. 喫煙について（設問 16, 17）	15
E. 通学に関して（設問 18～20）	16
F. 自由時間の過ごし方（設問 21）	19
G. アルバイトについて（設問 22～26）	20
H. 学内施設の利用等（設問 27～31）	24
I. キャリア支援室の利用（設問 32）	29
J. 掲示板・学生要覧について（設問 33, 34）	30
K. 職業観・進路・理想的な生き方（設問 35～38）	31
II 学習について	35
A. 学習一般（設問 39～42）	35
B. 自己と他者（設問 43～44）	38
C. 知識と教養（設問 45～51）	39
D. 授業選択（設問 52～58）	43
E. 受講の実態（設問 59～65）	46
F. コース選択（設問 66～70）	50
III 学生生活と学習について（自由回答）	53
A. 各年度別回答数統計表	53
1. アンケート対象者と回答総数の変化	53
2. 項目別回答に見られる傾向	53
B. 要望等の特性（項目別回答内容の分析）	54
1. 大学設備について	54
2. 食堂・売店について	55
3. 通学について	55
4. 単位・授業について	55
5. 進路について	55
6. アンペロス寮について	56
7. その他	56
参考資料	57

I 学生生活について

A. 大学生活について（設問 1～5）

回答者についての質問（設問 1、2）では、2005 年度以降、学年別回答者数を調べているが、毎年、大学 3 年生は大学 2 年生、4 年生に比べて回答者数が少ない傾向がある。2 年次秋学期から留学中の学生がいないことが理由の一つと考えられる。2010 年度からは前年度秋学期に入学した 1 年生（4 月時点で第 2 学期生）を分けて集計している。学生の学年所属は調査時に在学何学期目であるかによって判定している。（ただし、回答者自身が、自分が何年生かを判断して回答しているため、学年分けを間違えて解答した学生がいる可能性がある。）男女別については、女子 6 割、男子 4 割程度で例年と大きな差はない。

設問 1. あなたは現在、大学何年生ですか？

	2002年度	2003年度	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度
1 大学2年生				34.3%	39.5%	37.9%	28.7%	37.3%	40.7%	35.0%
2 大学3年生				31.0%	21.3%	27.7%	29.8%	14.0%	29.5%	28.2%
3 大学4年生				34.6%	39.2%	34.4%	41.5%	48.6%	22.0%	32.6%
4 大学1年生									7.8%	4.2%

設問 2. あなたの性別は？

	2002年度	2003年度	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度
1 女性	60.7%	61.1%	62.4%	57.5%	50.3%	55.2%	57.4%	61.1%	62.7%	57.7%
2 男性	39.3%	38.9%	37.6%	42.5%	49.7%	44.8%	42.6%	38.9%	37.3%	42.4%

「あなたは大学生生活に満足していますか？（設問 3）」では、本年度は「1)満足」、「2)まあまあ満足」が合わせて 54.7%になっている。過去 9 年間では 2002 年度から 2007 年度までは年ごとに高くなる傾向があった。2007 年度の 52.6%のあと、2008 年度は 50.6%、2009 年度は 48.5%で、値がやや下がったが、2010 年度はこれまででもっとも高い値の 57.5%になった。2011 年度はやや下がって 54.7%であるが、これまでで 2 番目に高い値である。また、「4)あまり満足していない」、「5)満足していない」は合わせて 11.9%で、2010 年度の 9.9%よりは高いが、これまでで 2 番目に低い値になっている。

学年・男女別の回答内訳では、(1)または(2)と回答した者の値は、大学 2 年生で女子の方が男子よりも高いが、大学 3 年生、大学 4 年生では差は小さい。

設問 3. あなたは大学生生活に満足していますか？

	2002年度	2003年度	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度
1 満足	6.7%	11.7%	7.2%	12.8%	13.2%	20.7%	18.9%	18.5%	23.5%	19.0%
2 まあまあ満足	26.7%	27.1%	28.1%	28.1%	35.1%	31.9%	31.7%	30.0%	34.0%	35.7%
3 普通	42.2%	32.8%	43.1%	44.1%	33.2%	34.3%	30.2%	35.4%	32.5%	33.3%
4 あまり満足していない	16.3%	21.1%	15.7%	10.4%	14.1%	10.4%	12.8%	12.1%	5.7%	8.3%
5 満足していない	8.1%	7.3%	5.9%	4.6%	4.4%	2.8%	6.4%	4.0%	4.2%	3.6%

設問 3. あなたは大学生生活に満足していますか？

	2011全体	全体女子	全体男子	2年全体	2年女子	2年男子	3年全体	3年女子	3年男子	4年全体	4年女子	4年男子
1 満足	19.0%	22.2%	14.8%	25.6%	35.8%	12.0%	15.8%	18.2%	12.5%	15.5%	12.1%	20.5%
2 まあまあ満足	35.7%	37.6%	33.1%	26.5%	29.9%	22.0%	42.1%	41.8%	42.5%	40.0%	42.4%	36.4%
3 普通	33.3%	30.9%	36.6%	38.5%	26.9%	54.0%	29.5%	30.9%	27.5%	30.9%	33.3%	27.3%
4 あまり満足していない	8.3%	6.2%	11.3%	5.1%	3.0%	8.0%	10.5%	7.3%	15.0%	9.1%	9.1%	9.1%
5 満足していない	3.6%	3.1%	4.2%	4.3%	4.5%	4.0%	2.1%	1.8%	2.5%	4.5%	3.0%	6.8%

「大学生活全般について高校時代に期待していた通りか（設問4）」に対しては、「1)期待どおり」、「2)まあまあ期待どおり」が合わせて54.6%であった。過去9年間では2007年度までは年ごとに高くなる傾向にあり、2007年度には52.6%でそれまででもっとも高い値であった。2008年度、2009年度では値がやや低くなったが、2010年度は再び高くなりこれまででもっとも高い値の62.1%になった。2011年度はかなり下がって54.6%であるが、それでもこれまでで2番目に高い値である。「3)あまり期待どおりではない」、「4)期待していたのとは全然違う」は合わせて38.2%であった。こちらも2007年度までは低くなる傾向にあり、2007年度には40.3%でそれまででもっとも低い値であった。2008年度、2009年度では値がやや高くなったが、2010年度は再び低くなりこれまででもっとも低い値の34.2%になった。2010年度はやや上がって38.2%であるが、これまでで2番目に低い値である。

学年・男女別の回答内訳では、女子では(1)または(2)と回答した者の割合が(3)または(4)と回答した者の割合より高く、およそ6割対3割になっている。男子では(1)または(2)と回答した者の割合が(3)または(4)と回答した者がほぼ同数で、およそ4割半対4割半になっている。学年ごとの割合では、女子においては全体とほぼ同じパターンが見られるが、男子においては、大学2年生と大学3年生で(1)または(2)と回答した者の割合よりも(3)または(4)と回答した者の割合が大きく、4割台前半対4割台後半、大学4年生では(1)または(2)と回答した者の割合が(3)または(4)と回答した者の割合よりも大きく、5割対4割半となっている。女子よりも男子の方が期待したのとは異なった大学生活を送っているという意識を持っているようである。

設問4. 大学生活全般について、あなたが高校時代に期待していたとおりですか？

	2002年度	2003年度	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度
1 期待どおりです	4.4%	6.1%	3.9%	5.8%	8.5%	9.2%	8.6%	9.1%	16.2%	13.1%
2 まあまあ期待どおりです	23.7%	29.6%	28.8%	38.1%	36.5%	43.4%	40.6%	37.5%	45.9%	41.5%
3 あまり期待どおりではない	45.2%	38.9%	41.2%	38.6%	35.8%	30.7%	33.8%	36.5%	25.2%	26.9%
4 期待していたのと全然違う	21.5%	19.4%	19.0%	12.3%	13.8%	9.6%	12.0%	9.5%	9.0%	11.3%
5 特に何も期待していなかった	5.2%	6.1%	7.2%	5.2%	5.3%	7.2%	4.9%	7.4%	3.6%	7.2%

設問4. 大学生活全般について、あなたが高校時代に期待していたとおりですか？

	2011全体	全体女子	全体男子	2年全体	2年女子	2年男子	3年全体	3年女子	3年男子	4年全体	4年女子	4年男子
1 期待どおりです	13.1%	14.1%	11.9%	19.0%	21.5%	16.0%	10.5%	10.9%	10.0%	10.0%	9.1%	11.4%
2 まあまあ期待どおりです	41.5%	48.4%	32.2%	36.2%	44.6%	24.0%	45.3%	54.5%	32.5%	46.4%	48.5%	43.2%
3 あまり期待どおりではない	26.9%	23.4%	31.5%	25.0%	21.5%	30.0%	28.4%	23.6%	35.0%	25.5%	25.8%	25.0%
4 期待していたのと全然違う	11.3%	9.4%	14.0%	12.1%	10.8%	14.0%	8.4%	5.5%	12.5%	11.8%	10.6%	13.6%
5 特に何も期待していなかった	7.2%	4.7%	10.5%	7.8%	1.5%	16.0%	7.4%	5.5%	10.0%	6.4%	6.1%	6.8%

「大学生になって良かったと思いますか？（設問5）」に対しては、「1)期待どおり」、「2)まあまあ期待どおり」が合わせて73.8%になっている。2003年度以降は70%を毎年超えているが、2010年度の80.2%、2006年度の79.8%、2008年度の77.3%、2005年度の76.3%、2009年度の74.4%よりも低く、2005年度以降では、これまででもっとも低い値になっている。一方で、「4)あまり良くなかったと思う」は3.9%で、2007年度の1.2%、2010年度の3.3%に次いで、これまでで3番目に低い値になっている。

学年・男女別の回答内訳では、(1)または(2)と回答した者は、大学2年生では60%台前半であるが、大学3年生、大学4年生では70%台後半である。大学3年生、大学4年生に比べて、大学2年生に、大学生になって良かったと感じている学生が少ないようである。大学2年生では女子と男子で差が大きく、(1)または(2)と回答した者は、女子では83.6%である。

一方で、男子では 58.0%である。大学 3 年生では女子、男子とも 70%台後半、大学 4 年生では女子が 70%台後半、男子が 70%台前半で、大きな相違はない。また (4) と回答した者は大学 3 年生が割合ではもっとも大きく、3 年生全体で 4.2%であった。各学年とも、女子よりも男子で (4) と回答した者の割合が大きかった。3 年生には、大学生活に不満を持っている、あるいは他の道を選択した方が良かったと感じている者が多いようである。また、女子学生よりも男子学生にそのように感じる者が多い傾向がある。

設問5. 大学生になって良かったと思いますか？

	2002年度	2003年度	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度
1 良かったと思います	53.7%	47.8%	49.8%	54.2%	63.4%	54.2%	54.7%	53.5%	56.5%	51.8%
2 まあまあ良かったと思う	18.4%	22.3%	22.3%	22.1%	16.4%	18.7%	22.6%	20.9%	23.7%	22.0%
3 普通です	20.1%	20.6%	20.0%	16.1%	14.2%	22.3%	16.2%	18.5%	15.6%	19.3%
4 あまり良くなかったと思う	10.4%	5.7%	7.2%	5.7%	4.4%	1.2%	4.9%	5.1%	3.3%	3.9%
5 わからない	2.2%	3.6%	0.7%	1.9%	1.6%	3.6%	1.5%	2.0%	0.9%	3.0%

設問5. 大学生になって良かったと思いますか？

	2011全体	全体女子	全体男子	2年全体	2年女子	2年男子	3年全体	3年女子	3年男子	4年全体	4年女子	4年男子
1 良かったと思います	51.8%	57.2%	44.4%	59.0%	68.7%	46.0%	47.4%	49.1%	45.0%	51.8%	56.1%	45.5%
2 まあまあ良かったと思う	22.0%	22.2%	21.8%	13.7%	14.9%	12.0%	30.5%	29.1%	32.5%	23.6%	22.7%	25.0%
3 普通です	19.3%	14.4%	26.1%	20.5%	11.9%	32.0%	15.8%	14.5%	17.5%	17.3%	13.6%	22.7%
4 あまり良くなかったと思う	3.9%	4.1%	3.5%	3.4%	3.0%	4.0%	2.1%	3.6%	0.0%	5.5%	6.1%	4.5%
5 わからない	3.0%	2.1%	4.2%	3.4%	1.5%	6.0%	4.2%	3.6%	5.0%	1.8%	1.5%	2.3%

B. 大学生活の目的と一番打ち込んでいること（設問 6～7）

「大学生活の目的を主として何にしていますか？（設問 6）」では、「1)豊かな教養を身につけ人格を高める」、「2)専門的な知識を習得する」がそれぞれ 3 割以上で多く、次いで「5)資格を取り将来就職に役立てたい」が 20%ほど、「4)学生生活を通じて青春をエンジョイする」が 10%ほどになっている。(1)は年度によって 20%台半ばから 30%台半ばまで変化してきている。2007 年度、2008 年度に比べると幾分低いですが 2010 年度とほぼ同じ値になっている。(2)は 2007 年度までは 30%台後半から 40%台までの高い値を示してきたが、2008 年度、2009 年度、2010 年度は 30%台前半まで低くなっている。2011 年度も 30%台前半で、2008 年以降ではもっとも低い値になっている。(5)は 20%を超えた 2002 年度と 10%未満であった 2004 年度を除いては、10%台半ばで推移してきたが、2011 年度はやや高くなって 20%に近い値であった。(4)については、10%未満であった 2004 年度、2006 年度と、これまででもっとも高い値の 14.9%であった 2009 年度を除いては 10%から 12%のあいだで推移しており、2011 年度もこの範囲内の値である。

学年・男女別の回答内訳では、(1)については大学 2 年生が 2 割半、大学 3 年生が 3 割、大学 4 年生が 4 割で、学年とともに値が高くなっている。(2)については大学 2 年生、大学 3 年生では、3 割から 4 割の高い値を示しているが、大学 4 年生では 2 割程度になっている。男女別の値では、(1)については大学 2 年生女子が 30%近くであるのに対し、男子が 20%であるが、大学 3 年生では逆転して女子が 20%程度で男子が 40%になり、大学 4 年生では女子、男子ともに 40%の高い値を示している。(2)については男女間の差が小さく、大学 2 年生では女子の方が男子よりも値がやや高いが、大学 3 年生、大学 4 年生では女子と男子は同じ値を示している。また、(5)については女子は大学 2 年生で 26.9%、大学 3 年生で 25.5%でほぼ同じ値であるが、大学 4 年生では 15.2%でかなり低い値になっている。男子は大学 2 年生で 32.0%

で同学年女子を上回っているが、大学3年生で5.0%、大学4年生で9.1%でそれぞれ同学年女子より低い値であり、また、大学2年生と比べてはるかに低い値を示している。昨年度も(5)については女子は学年間であり変わらないが男子では学年進行につれて値が低くなる傾向が見られた。男子学生では、大学2年生の時点では、資格取得に希望・興味を持っているが、学年が進むにつれて資格取得の望みを失う、あるいは資格取得に対する興味が薄れるという傾向があるのではないかと思われる。(4)については、女子と男子のあいだではそれほど大きな差はないが、全学年で女子よりも男子の値が高くなっている。

	2002年度	2003年度	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度
1 豊かな教養を身につけ人格を高める	25.4%	26.4%	36.3%	27.6%	29.2%	35.5%	34.5%	30.7%	32.1%	32.3%
2 専門的な知識を習得する	38.8%	41.5%	38.2%	39.9%	39.9%	37.1%	32.6%	32.4%	34.5%	31.2%
3 真の友達を得る	2.2%	0.8%	3.6%	1.6%	5.3%	0.8%	1.5%	2.7%	1.2%	4.2%
4 学生生活を通じて青春をエンジョイする	11.2%	11.8%	9.2%	12.3%	7.2%	12.0%	10.7%	14.9%	11.8%	10.4%
5 資格を取り将来就職に役立てたい	20.9%	17.5%	9.8%	16.4%	14.2%	13.1%	17.6%	15.2%	17.9%	19.9%
6 特にありません	1.5%	2.0%	2.9%	2.2%	4.1%	1.6%	3.1%	4.1%	2.4%	2.1%

	2011全体	全体女子	全体男子	2年全体	2年女子	2年男子	3年全体	3年女子	3年男子	4年全体	4年女子	4年男子
1 豊かな教養を身につけ人格を高める	32.3%	31.4%	33.6%	25.4%	28.4%	20.0%	29.5%	21.8%	40.0%	40.9%	40.9%	40.9%
2 専門的な知識を習得する	31.2%	31.4%	30.8%	33.1%	35.8%	30.0%	40.0%	40.0%	40.0%	22.7%	22.7%	22.7%
3 真の友達を得る	4.2%	2.6%	6.3%	2.5%	1.5%	4.0%	4.2%	3.6%	5.0%	5.5%	3.0%	9.1%
4 学生生活を通じて青春をエンジョイする	10.4%	10.3%	10.5%	7.6%	7.5%	8.0%	8.4%	9.1%	7.5%	15.5%	15.2%	15.9%
5 資格を取り将来就職に役立てたい	19.9%	23.2%	15.4%	28.8%	26.9%	32.0%	16.8%	25.5%	5.0%	12.7%	15.2%	9.1%
6 特にありません	2.1%	1.0%	3.5%	2.5%	0.0%	6.0%	1.1%	0.0%	2.5%	2.7%	3.0%	2.3%

「今一番打ち込んでいるものは、何ですか？（設問7）」では、「1)大学の授業や課題」が39.7%でもっとも高く、次いで「3)自分の趣味」が28.2%、「4)アルバイト」が10.6%になっている。2003年度以降は、2010年度まで、(1)が30%台で推移してきたが、2010年度はこれまででもっとも高い値の42.1%を示した。2011年度は昨年ほど高くはないが、2007年度と同じで、これまでで2番目に高い値を示している。(3)については、2002年度以来、20%台前半から半ばで推移してきているが、2011年度は2005年度の26.6%を超えて、これまででもっとも高い値を示している。(4)についても2002年度に20%近くを示した以外は、10%台前半から半ばで推移してきており、例年と大きくは異ならないが、2010年度の値を下回って、これまででもっとも低い値になっている。アルバイトが生活の中心になっている学生の割合は年毎にやや減少しつつあるようである。

学年・男女別の回答内訳では、(1)は学年間の比較ではあまり大きな差はないが、学年が進むにつれて値が高くなる傾向がある。男女間の比較では、全学年で女子が男子よりも高い値を示している。女子の方が大学の授業を重視している傾向がある。(3)は学年間の比較では大学2年生よりも大学3年生がより高い値を示し、大学4年生は大学2年生よりも低い値を示すという変化が見られる。大学4年生で値が低くなるのは(1)を回答として選択する学生が大学4年生では増えるためであると思われるが、大学3年生の値が大学2年生よりも高くなるのは、2年次秋学期から留学している学生が回答者に含まれていないということの影響かもしれない。男女間の比較では、全体では女子よりも男子が高い値を示しており、大学2年生と大学4年生では女子と男子の差が大きい。大学3年生では差が小さく、女子の方が男子をわずかに上回る値を示しているが、おそらくは2年次秋学期から留学中の女子学生が回答者に含まれていないことが原因ではないかと思われる。(4)は、学年間、男女間でかなり変化がある。学年間の比較では、大学2年生が大学3年生、大学4年生よりも高い値を示している。

男女間の比較では、大学2年生では女子の方が男子よりもはるかに高い値を示しているが、大学3年生では女子よりも男子の方が高い値を示しており、女子の値が極端に低い。大学4年生では女子と男子の差は小さい。全体としては、女子が勉学に打ち込む一方で男子は自分が興味を持っている活動を楽しむことを重視する傾向があるように思われる。

	2002年度	2003年度	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度
1 大学の授業や課題	20.9%	33.6%	34.1%	35.3%	34.4%	39.7%	38.4%	35.4%	42.1%	39.7%
2 大学のクラブ活動	13.4%	10.5%	5.9%	5.7%	8.2%	8.3%	4.9%	9.2%	9.4%	6.7%
3 自分の趣味	21.6%	20.6%	25.2%	26.6%	23.3%	21.4%	24.7%	21.1%	20.9%	28.2%
4 アルバイト	19.4%	13.0%	15.7%	14.4%	14.8%	13.9%	14.4%	12.6%	10.9%	10.6%
5 恋愛	6.0%	6.5%	3.0%	3.3%	3.8%	2.0%	6.1%	3.4%	3.9%	2.4%
6 特になし	18.7%	15.8%	16.1%	14.7%	15.5%	14.7%	11.4%	18.4%	12.7%	12.4%

	2011全体	全体女子	全体男子	2年全体	2年女子	2年男子	3年全体	3年女子	3年男子	4年全体	4年女子	4年男子
1 大学の授業や課題	39.7%	46.1%	30.9%	37.4%	42.4%	30.6%	39.4%	46.3%	30.0%	43.5%	47.7%	37.2%
2 大学のクラブ活動	6.7%	5.8%	7.9%	4.3%	6.1%	2.0%	8.5%	0.0%	20.0%	6.5%	9.2%	2.3%
3 自分の趣味	28.2%	23.6%	34.5%	31.3%	24.2%	40.8%	27.7%	29.6%	25.0%	24.1%	18.5%	32.6%
4 アルバイト	10.6%	10.5%	10.8%	13.9%	18.2%	8.2%	7.4%	1.9%	15.0%	11.1%	10.8%	11.6%
5 恋愛	2.4%	2.6%	2.2%	1.7%	0.0%	4.1%	3.2%	3.7%	2.5%	2.8%	4.6%	0.0%
6 特になし	12.4%	11.5%	13.7%	11.3%	9.1%	14.3%	13.8%	18.5%	7.5%	12.0%	9.2%	16.3%

C. 悩みについて（設問 8～15）

「学生生活の中で一番困っていることは何ですか？（設問 8）」では「2) 将来の見通しがたたない」が47.6%、「6) 経済的な問題」が15.2%で、これら2つの回答が他の回答よりも際立って高い値を示している。これらの回答は2002年度以来、継続して1位と2位の回答であるが、年度ごとに高まる傾向があった。(2)については2009年度の44.1%を超えて、これまでもっとも高い値になっている。(6)は2010年度にこれまででもっとも高い値の22.1%であったが、2011年度ではやや下がり、これまででもっとも低い値になっている。昨今の経済情勢も反映して、現在の生活に金銭的な余裕がなく、特に就職がどうなるのかについて不安を感じていることが窺える。「5) 大学の授業が面白くない」は6.7%で、これまででもっとも低い値を示している。

学年・男女別の回答内訳では、(2)については女子の方が男子よりも高い値を示し、女子と男子の差は大学2年生と大学3年生では大きい、大学4年生では小さく、むしろ男子の値が女子の値よりも高くなっている。2年次、3年次には比較的楽観的であった男子学生も、就職活動を始めて、4年次には就職が厳しいことがわかり、就職を心配するようになってきていることを示しているようである。(6)については、全学年で女子の方が男子よりもやや高い値を示しているが、差はそれほど大きくはない。また、学年が進むにつれて値がやや小さくなっている。学年進行にともなって単位取得が進み、時間的に余裕ができたためにアルバイト等である程度の収入を得られることが原因かもしれない。(5)については、全体では女子よりも男子の方が高い値を示しているが、学年によって状況は異なる。大学2年生では女子と男子の値はほぼ同じであるが、大学3年生、大学4年生では女子の値が大学2年生とほとんど変わらないのに対し、男子の値は大学2年生と比べて大きく上昇している。男子学生には、大学2年次のあいだに授業に興味を持たなくなってしまう学生がかなりいるようである。

	2002年度	2003年度	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度
1 友人関係がうまくいかない	6.0%	490.0%	2.0%	2.5%	3.5%	470.0%	2.7%	5.1%	4.5%	6.4%
2 将来の見通しがたたない	41.8%	38.9%	42.4%	37.9%	40.9%	39.9%	46.0%	44.1%	42.9%	47.6%
3 やりたいことが自由にできない	9.0%	6.1%	6.6%	4.7%	4.4%	2.4%	4.6%	6.7%	5.7%	7.3%
4 やりたいことがない	7.5%	6.9%	4.6%	4.9%	5.7%	6.3%	1.5%	5.4%	3.3%	5.2%
5 大学の授業が面白くない	9.7%	11.7%	10.5%	12.1%	7.9%	9.1%	8.7%	7.7%	9.1%	6.7%
6 経済的な問題	16.4%	18.6%	17.8%	18.4%	20.4%	19.8%	20.5%	21.9%	22.1%	15.8%
7 特になし	9.7%	13.0%	16.1%	19.5%	17.3%	17.8%	16.0%	9.1%	12.4%	11.2%

	2011全体	全体女子	全体男子	2年全体	2年女子	2年男子	3年全体	3年女子	3年男子	4年全体	4年女子	4年男子
1 友人関係がうまくいかない	6.4%	6.3%	6.5%	7.8%	9.1%	6.1%	6.5%	3.7%	10.3%	3.6%	4.5%	2.3%
2 将来の見通しがたたない	47.6%	50.0%	44.2%	38.3%	42.4%	32.7%	51.6%	57.4%	43.6%	54.5%	53.0%	56.8%
3 やりたいことが自由にできない	7.3%	5.7%	9.4%	10.4%	6.1%	16.3%	6.5%	5.6%	7.7%	5.5%	6.1%	4.5%
4 やりたいことがない	5.2%	4.2%	6.5%	5.2%	3.0%	8.2%	4.3%	3.7%	5.1%	6.4%	6.1%	6.8%
5 大学の授業が面白くない	6.7%	4.2%	10.1%	4.3%	4.5%	4.1%	8.6%	3.7%	15.4%	7.3%	4.5%	11.4%
6 経済的な問題	15.8%	17.7%	13.0%	18.3%	19.7%	16.3%	15.1%	16.7%	12.8%	12.7%	13.6%	11.4%
7 特になし	11.2%	12.0%	10.1%	15.7%	15.2%	16.3%	7.5%	9.3%	5.1%	10.0%	12.1%	6.8%

「現在抱えている悩みや不安は何ですか？（設問9）」では、設問8の回答と似て、「1）これからの進路について」が58.6%で1位、「3）勉学上のこと」が14.2%で2位となっており、これに次いで「5）金銭上のこと」が10.0%になっている。(1)については2010年度の53.3%より5%ほど高くなっている。(3)と(5)は2010年度とは順位が入れ替わったが、(3)については、2004年度以降は、2007年度の10.4%以外は10%台半ばで推移してきているので、例年とほぼ同じ値であり、(5)の方が2010年度より5%ほど低くなっている。金銭上のことで悩む学生が減った分、進路のことで悩む学生が増えた形になっている。

学年・男女別の回答内訳では、(1)については2011年度では、学年ごとに値が高くなり、女子が男子よりも高い値を示す傾向がある。各学年で男女間の比較をみると、大学2年生と大学3年生では女子が男子よりも高い値を示しているが、大学4年生では女子と男子の差は小さく、男子の方がより高い値を示している。男女それぞれの学年間の比較をみると、女子、男子ともに学年ごとに値が高くなっているが、女子は大学3年生ですでに70%台になっており、大学3年生と大学4年生の差は小さい。学年進行とともに値が高くなる傾向と各学年で女子の方が男子よりも値が高くなる傾向は過年度と同じである。2009年度ではすべての学年で女子が男子よりも高い値を示し、学年ごとに値が高くなり、大学4年生女子では75.0%、大学4年生男子では59.6%を示していた。2010年度では2年生において男子が女子よりも高い値を示したが、学年ごとに値が高くなる傾向は変わっておらず、大学4年生女子では70.5%、大学4年生男子では63.0%を示していた。2011年度では、2009年度、2010年度と比べて大学4年生男子の値がかなり高くなっているのがわかる。

(5)については、2011年度では、学年ごとに値が低くなり、女子よりも男子の方が高い値を示す傾向がある。各学年で男女間の比較をみると、大学2年生では女子の方が男子よりも高い値を示しているが、大学3年生、大学4年生では女子よりも男子の方が高い値を示しており、大学4年生では男女間の差が大きい。学年進行とともに値が低くなる傾向と女子よりも男子の方が高い値を示す傾向は2009年度と同じである。2010年度では、大学3年生、大学4年生では女子よりも男子の方が高い値を示していたが、大学2年生においては女子が23.5%、男子が10.0%で、男子よりも女子の方がはるかに高い値を示し、全体でも女子の方が男子よりも高い値を示していたが、そのような大学2年生での男女間の大きな差は2011年度には見られない。

(3)については、2011年度では、学年ごとに値が低くなる傾向があり、女子よりも男子で値が高くなる傾向がある。各学年で男女間の比較をすると、大学2年生では女子が21.2%、男子が22.4%、大学4年生では女子が6.1%、男子が9.3%で、男女間の差は大きくないが、大学3年生では、女子が7.4%であるのに対して男子は20.0%で大きな違いが見られる。学年進行とともに値が低くなる傾向と女子よりも男子で値が高くなる傾向は2010年度と同じである。学年進行とともに値が小さくなるのは、かならずしも勉学上での悩みや不安を持っている者が減るわけではなく、一つの回答しか選択できないために、(1)の進路の回答を選択する学生が学年とともに増える分、(3)を選択する学生が減っているものと思われる。

「7)いじめにあっている」は2011年度では、すべての学年が0.0%ではなく、どの学年にもいじめにあっている学生がいるようである。大学2年生男子、大学3年生女子、大学4年生男子が0.0%ではなく、これらのグループに(7)を回答した学生がいることがわかる。2009年度では大学3年生男子のみが0.0%ではなく、(7)を回答した学生は大学3年生男子にいた。2010年度では大学3年生、大学4年生は0.0%であったが、大学2年生の女子と男子の両方が0.0%でなく、(7)を回答した学生が大学2年生の女子および男子にいた。

	2002年度	2003年度	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度
1 これからの進路について	44.4%	55.7%	61.2%	60.0%	59.2%	63.7%	59.8%	54.7%	53.3%	58.6%
2 健康上のこと	2.3%	2.0%	3.3%	2.7%	2.8%	4.0%	5.4%	3.7%	4.8%	4.5%
3 勉学上のこと	21.8%	17.5%	13.8%	14.0%	15.7%	10.4%	13.9%	14.5%	14.2%	14.2%
4 自分の性格のこと	6.0%	3.3%	3.9%	2.5%	4.7%	2.4%	1.9%	3.7%	1.8%	3.9%
5 金銭上のこと	12.0%	8.5%	8.2%	7.9%	8.2%	10.8%	10.0%	15.5%	15.2%	10.0%
6 友人関係	3.0%	2.4%	1.0%	1.1%	1.9%	1.2%	0.4%	1.7%	0.9%	0.9%
7 いじめにあっている	1.5%	1.2%	0.0%	0.5%	0.0%	0.0%	0.4%	0.3%	0.9%	1.2%
8 生活環境	1.5%	4.5%	2.0%	3.0%	1.9%	0.4%	1.9%	1.0%	2.4%	1.5%
9 特になし	7.5%	4.9%	6.6%	8.2%	5.6%	7.2%	6.2%	4.7%	6.4%	5.1%

	2011全体	全体女子	全体男子	2年全体	2年女子	2年男子	3年全体	3年女子	3年男子	4年全体	4年女子	4年男子
1 これからの進路について	58.6%	62.5%	53.2%	45.2%	50.0%	38.8%	61.7%	70.4%	50.0%	73.4%	72.7%	74.4%
2 健康上のこと	4.5%	3.1%	6.5%	4.3%	3.0%	6.1%	5.3%	0.0%	12.5%	3.7%	4.5%	2.3%
3 勉学上のこと	14.2%	12.0%	17.3%	21.7%	21.2%	22.4%	12.8%	7.4%	20.0%	7.3%	6.1%	9.3%
4 自分の性格のこと	3.9%	3.6%	4.3%	5.2%	4.5%	6.1%	3.2%	3.7%	2.5%	1.8%	3.0%	0.0%
5 金銭上のこと	10.0%	9.4%	10.8%	14.8%	15.2%	14.3%	6.4%	5.6%	7.5%	5.5%	3.0%	9.3%
6 友人関係	0.9%	1.0%	0.7%	0.0%	0.0%	0.0%	3.2%	3.7%	2.5%	0.0%	0.0%	0.0%
7 いじめにあっている	1.2%	0.5%	2.2%	0.9%	0.0%	2.0%	1.1%	1.9%	0.0%	1.8%	0.0%	4.7%
8 生活環境	1.5%	2.6%	0.0%	0.9%	1.5%	0.0%	1.1%	1.9%	0.0%	2.8%	4.5%	0.0%
9 特になし	5.1%	5.2%	5.0%	7.0%	4.5%	10.2%	5.3%	5.6%	5.0%	3.7%	6.1%	0.0%

「悩みがあったら誰に相談しますか？（設問10）」では「2)同性の友達」が48.3%、「1)家族」が26.0%で、他の回答と比べて際立って高い値を示している。(2)は2010年度の44.8%よりはやや高くなったが、これまでで2番目に低い値である。(1)は2010年度の31.1%よりもやや低くなり、2005年度、2007年度、2008年度、2009年度とほぼ同じ値である。「5)アドバイザーの先生」は2.4%で、2006年度－2009年度の1%台の値よりは高いが、2010年度の4.3%から下がり、低い値を示している。「6)アドバイザー以外の先生」は0.3%で回答中ではもっとも低い値を示し、2011年度は2009年度、2010年度と同じ値で、教員は悩みを相談する相手とは見なされていないことがわかる。「4)先輩」は3.6%で、2010年度の2.4%よりも高いが、2005年度以降は4%から5%程度の値で推移してきており、2005年度以降では2010年度に次いで2番目に低い値を示している。(2)と(1)が高い値を示し、(5)と(6)が低い値を示しているのは例年と同様である。

学年・男女別の回答内訳では、(2)については、女子は大学2年生、大学3年生がほぼ同じ値であるが、大学4年生の値がより高くなっている。男子は大学4年生がもっとも高い値を示しているのは女子と同じであるが、女子と異なって大学2年生の方が大学3年生より高いを示している。(1)については、女子は学年進行とともに値が低くなっているが、男子は大学2年生がもっとも低い値を示し、大学3年生がもっとも高い値を示している。学年が高くなるほど家族よりも友人と相談する傾向があるが、2011年度の大学3年生男子は友人よりも家族と相談する傾向があるようである。

	2002年度	2003年度	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度
1 家族	24.4%	17.0%	21.6%	25.3%	20.6%	24.9%	27.7%	27.4%	31.1%	26.0%
2 同性の友達	54.8%	61.9%	61.1%	55.2%	60.3%	59.4%	50.0%	53.0%	44.8%	48.3%
3 異性の友達	12.6%	6.1%	9.8%	6.3%	5.7%	5.2%	8.1%	7.4%	8.5%	12.1%
4 先輩	0.7%	4.9%	1.6%	4.9%	4.8%	4.0%	5.4%	3.7%	2.4%	3.6%
5 アドバイザーの先生	1.5%	2.8%	1.3%	2.7%	1.6%	1.2%	1.2%	1.4%	4.3%	2.4%
6 アドバイザー以外の先生	0.0%	40.0%	0.7%	0.5%	0.6%	0.4%	0.8%	0.3%	0.3%	0.3%
7 個人的な悩みを相談する人がいない	5.9%	6.9%	3.9%	4.9%	6.3%	4.8%	6.9%	6.8%	8.5%	7.3%

	2011全体	全体女子	全体男子	2年全体	2年女子	2年男子	3年全体	3年女子	3年男子	4年全体	4年女子	4年男子
1 家族	26.0%	30.5%	19.9%	28.4%	37.9%	16.0%	27.2%	30.8%	22.5%	21.8%	24.2%	18.2%
2 同性の友達	48.3%	55.3%	39.0%	45.7%	51.5%	38.0%	40.2%	50.0%	27.5%	58.2%	60.6%	54.5%
3 異性の友達	12.1%	6.8%	19.1%	8.6%	4.5%	14.0%	14.1%	9.6%	20.0%	13.6%	7.6%	22.7%
4 先輩	3.6%	1.1%	7.1%	6.0%	0.0%	14.0%	3.3%	0.0%	7.5%	1.8%	3.0%	0.0%
5 アドバイザーの先生	2.4%	1.1%	4.3%	1.7%	1.5%	2.0%	4.3%	1.9%	7.5%	1.8%	0.0%	4.5%
6 アドバイザー以外の先生	0.3%	0.0%	0.7%	0.0%	0.0%	0.0%	1.1%	0.0%	2.5%	0.0%	0.0%	0.0%
7 個人的な悩みを相談する人がいない	7.3%	5.3%	9.9%	9.5%	4.5%	16.0%	9.8%	7.7%	12.5%	2.7%	4.5%	0.0%

「学内のカウンセリングルームについて（設問11）」では、「4）行かない」が42.5%でもっとも高く、次いで、「2）行ってみたいと思ったことがある」があるが24.6%、「3）存在を知らなかった」が21.3%、「1）行ったことがある」は11.7%であった。(4)についてはこれまででもっとも値が高かった2008年度以降、年ごとに値が低くなっており、2011年度は、これまででもっとも値が低かった2002年度の38.3%に次いで2番目に低い値になっている。(1)については、これまででもっとも値が低かった2007年度以降、年ごとに値が高くなっており、2011年度は、2005年度以降でもっとも高い値を示している。実際にカウンセリングルームを利用している学生は10人に1人ぐらいの割合であるが、36.3%の学生がカウンセリングルームを利用している、または利用したいと考えていることが分かる。一方、2011年度も2009年度、2010年度とほぼ同じ割合で、5人に1人以上の学生が存在を知らなかったと回答している。

学年・男女別の回答内訳では、実際にカウンセリングルームを利用している学生は全体では女子の方が男子よりも高い値を示しており、2010年度と比較して男女の利用率が逆転している。また、男女の利用率は学年によって傾向が大きく異なり、大学2年生と大学4年生では女子の方が男子よりも高い値を示しており、特に大学2年生で男女の差が大きいが、大学3年生では男女の差はわずかで、女子よりもむしろ男子の方の値が高い。大学2年生では、女子は20%近くがカウンセリングルームを利用しているのに対し、男子は6%しか利用していない。大学3年生では、女子、男子ともに7%台であるが、2010年度の女子の値1.6%から大きく変化している。大学4年生では女子、男子ともに10%代前半であるが、2010年度の女子、男子がともに示した5%未満の値から大きく増加している。「存在を知らなかった」と回答した者の値は男子では大学2年生、3年生が30.0%であるが、大学4年生が16.3%に下がって

る。女子では、大学2年生が15%程度であるが、大学3年生は20%台後半、大学4年生は10%台後半になっている。男子の場合は就職活動に入って、相談を希望する者が増加するのにもなってカウンセリングルームがより多くの学生に知られるようになってきているものと思われる。女子については、年度ごとにカウンセリングルームがより多くの学生に早くから知られるようになってきているものと思われるが、その原因として、心理的な問題を抱えている学生が年度ごとに増え、実際に利用する学生の割合が高くなっているということが推測される。

(2011年度の女子の大学3年生の値27.3%は、2010年度の女子の大学2年生の値10.6%を大きく超えていて、同じコホートの中でカウンセリングルームの存在を知らない学生のが増えているように見えるが、これは日本人学生が大学2年次秋学期から留学に行き回答者に含まれていない一方で、3年次編入で前年度秋学期に入学した留学生が多く含まれている影響であると思われる。)

	2002年度	2003年度	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度
1 行ったことがある	11.3%	13.0%	12.1%	6.3%	4.7%	4.0%	6.4%	6.8%	10.6%	11.7%
2 行ってみたいと思ったことがある	27.8%	33.3%	25.6%	27.4%	18.9%	24.4%	26.5%	22.7%	21.8%	24.6%
3 存在を知らなかった	22.6%	10.6%	10.8%	17.8%	26.7%	20.8%	14.0%	22.0%	21.1%	21.3%
4 行かない	38.3%	43.1%	51.5%	48.5%	49.7%	50.4%	53.0%	48.5%	46.5%	42.5%

	2011全体	全体女子	全体男子	2年全体	2年女子	2年男子	3年全体	3年女子	3年男子	4年全体	4年女子	4年男子
1 行ったことがある	11.7%	14.0%	8.5%	13.8%	19.7%	6.0%	7.4%	7.3%	7.5%	12.8%	13.6%	11.6%
2 行ってみたいと思ったことがある	24.6%	25.9%	22.7%	16.4%	15.2%	18.0%	30.5%	32.7%	27.5%	26.6%	28.8%	23.3%
3 存在を知らなかった	21.3%	17.6%	26.2%	21.6%	15.2%	30.0%	28.4%	27.3%	30.0%	13.8%	12.1%	16.3%
4 行かない	42.5%	42.5%	42.6%	48.3%	50.0%	46.0%	33.7%	32.7%	35.0%	46.8%	45.5%	48.8%

「11で『行かない』と答えた人は、行かない理由を選んで下さい(設問12)」では、「1)必要がない」が49.8%、「5)カウンセリングについて、よくわからない」が21.0%、「3)時間帯が悪い」が14.0%、「2)場所が悪い」が10.5%、「4)行っていることを他の人に知られたくない」が4.8%になっている。年度ごとに(1)の値は低くなる傾向にあり、2011年度はこれまででもっとも低い値になっている。(5)の値は2003年度以降20%前後で推移している。2010年度は16.7%で完成年度の2004年度以降でもっとも低い値になったが、2011年度は再び高くなって、これまでで3番目に高い値になっている。(3)は過去最高の値であった2010年度の12.7%をさらに超えて、これまででもっとも高い値を示しており、2009年度、2010年度のカウンセリングルームの開室時間が学生にとって都合が好くなかったようである。(1)の回答者の割合が年度ごとに減少していることから、相談したいことがある学生が増えている一方で、何らかの理由でカウンセリングルームの利用を躊躇しているものと思われる。また、(4)にある理由に配慮して、利用する学生の出入りが他の学生から見られないようにカウンセリングルームを1階から3階に移したが、2010年度には(4)および(2)がそれまででもっとも高い値の7.9%と7.4%を示し、2011年度では、(4)がこれまででもっとも低い4.8%になった一方で、(2)がこれまででもっとも高い10.5%になった。3階のカウンセリングルームの設置場所はかならずしも学生には歓迎されていないようである。カウンセリングルームを利用したい学生にとっては、他の学生だけでなく、教員にもカウンセリングルームに行っていることを知られたくないのではないと思われる。

学年・男女別の回答内訳では、(1)については、学年間の比較では、大学2年生が5割程度、大学3年生が4割程度、大学4年生が6割程度となっている。男女間の比較では、全体では

女子と男子はほぼ同じ値の5割前後を示し、大学3年生、4年生では女子・男子間で大きな差はないが大学2年生では女子が男子よりも高い値を示している。カウンセリングルームの存在を知っているが、利用していないし、利用することも考えていない学生のおよそ半数は、必要がないから利用しないようである。

(3)については、学年間の比較では、大学2年生と大学3年生が大学4年生よりも高い値を示している。男女間の比較では、大学2年生では女子より男子の方が、大学3年生では男子より女子の方がかなり高い値を示している。2010年度のカウンセラーの在室時間が、特に大学2年生(2010年度の大学1年生)男子と大学3年生(2010年度の大学2年生)女子の時間割の都合に合わなかったものと思われる。

(2)については、学年間の比較では大学2年生が10.8%、大学3年生が13.2%、大学4年生が7.4%で、大学3年生の値がもっとも高い。男女間の比較では、大学2年生、大学3年生では、男子が16%ほどで、女子よりもかなり高い値を示している。大学4年生では、女子が大学2年生女子、大学3年生女子よりも高い値を示している一方で、男子は0.0%になっている。場所が悪いことを理由にしてカウンセリングルームを利用していない学生の多くは大学2年生と大学3年生の男子と大学4年生の女子に多いことがわかる。

(4)については、学年間の比較では大学2年生、大学4年生よりも、大学3年生の値がやや高くなっている。男女間の比較では、全体では女子よりも男子が高い値を示し、大学2年生では女子が4.3%、男子が2.7%であるのに対し、大学3年生、4年生では女子がいずれも0.0%、男子が12.9%と7.1%で、男女間で大きな差がある。カウンセリングルーム行っていることを知られたくないということを理由としてカウンセリングルームの利用を躊躇している学生は、大学3年生、大学4年生男子に多いことがわかる。

	2002年度	2003年度	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度
1 必要がない	71.4%	65.8%	64.6%	66.0%	68.3%	59.7%	62.8%	59.2%	55.9%	49.8%
2 場所が悪い	6.3%	6.8%	4.0%	4.4%	3.8%	5.2%	4.9%	7.0%	7.4%	10.5%
3 時間帯が悪い	4.8%	4.3%	5.1%	5.4%	3.8%	10.4%	6.7%	5.0%	12.7%	14.0%
4 行っていることを他の人に知られたくない	6.3%	3.4%	5.7%	3.0%	6.0%	5.2%	6.7%	6.0%	7.9%	4.8%
5 カウンセリングについて、よくわからない	11.1%	19.7%	20.6%	21.2%	18.0%	19.5%	18.0%	22.9%	16.2%	21.0%

	2011全体	全体女子	全体男子	2年全体	2年女子	2年男子	3年全体	3年女子	3年男子	4年全体	4年女子	4年男子
1 必要がない	49.8%	50.8%	48.5%	51.8%	54.3%	48.6%	42.6%	43.2%	41.9%	58.8%	57.5%	60.7%
2 場所が悪い	10.5%	9.4%	11.9%	10.8%	6.5%	16.2%	13.2%	10.8%	16.1%	7.4%	12.5%	0.0%
3 時間帯が悪い	14.0%	13.3%	14.3%	13.3%	8.7%	18.9%	14.7%	18.9%	9.7%	8.8%	7.5%	10.7%
4 行っていることを他の人に知られたくない	4.8%	2.3%	7.3%	3.6%	4.3%	2.7%	5.9%	0.0%	12.9%	2.9%	0.0%	7.1%
5 カウンセリングについて、よくわからない	21.0%	24.2%	16.8%	20.5%	26.1%	13.5%	23.5%	27.0%	19.4%	22.1%	22.5%	21.4%

「クラス・アドバイザーにはどういうことを相談していいと思いますか? (設問13)」では、「2)学業に関することや、卒業後の進路の問題」が40.7%でもっとも高く、次いで「3)学業、卒業後の進路、個人的な悩みなどどのようなことでも相談してよい」が32.5%になっている。これらは例年とほぼ同様の値である。「1)学業に関することのみ」は15.4%で、2008年度以降は、2007年以前よりもやや高い値を示している。(2)と(3)の値がかなり高い一方で、設問10では実際にアドバイザーに相談する学生は2.4%で、割合が大きくない。

学年・男女別の回答内訳では、(2)については、学年間の比較では全学年がほぼ4割程度でほとんど差がない。男女間の比較では、全体で女子の方が男子よりも高い値を示す傾向がある。(3)については、学年間の比較では全学年が3割前半でほぼ同じ値を示している。男女

間の比較では、全学年で女子よりも男子の方が値が高くなる傾向があるが、差はわずかである。半数以上の学生は、アドバイザーは学業・進路についての相談役と考えているようである。

	2002年度	2003年度	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度
1 学業に関する事のみ	7.5%	3.3%	8.7%	6.6%	7.9%	8.6%	13.8%	13.3%	15.5%	15.4%
2 学業に関することや、卒業後の進路の問題	50.4%	53.3%	49.5%	48.5%	44.1%	50.6%	44.4%	46.3%	45.7%	40.7%
3 学業、卒業後の進路、個人的な悩みなどどのようなことでも相談してよい	29.3%	33.8%	30.8%	35.0%	35.2%	29.4%	28.4%	27.9%	30.4%	32.5%
4 何を相談していいかわからない	12.8%	9.6%	11.0%	9.9%	12.7%	11.4%	13.4%	12.6%	8.4%	11.4%

	2011全体	全体女子	全体男子	2年全体	2年女子	2年男子	3年全体	3年女子	3年男子	4年全体	4年女子	4年男子
1 学業に関する事のみ	15.4%	15.7%	14.3%	17.9%	25.4%	8.0%	9.8%	9.4%	10.3%	16.5%	10.8%	25.0%
2 学業に関することや、卒業後の進路の問題	40.7%	43.5%	36.3%	41.0%	37.3%	46.0%	41.3%	43.4%	38.5%	40.4%	49.2%	27.3%
3 学業、卒業後の進路、個人的な悩みなどどのようなことでも相談してよい	32.5%	30.9%	34.8%	31.6%	29.9%	34.0%	33.7%	32.1%	35.9%	32.1%	30.8%	34.1%
4 何を相談していいかわからない	11.4%	9.9%	13.5%	9.4%	7.5%	12.0%	15.2%	15.1%	15.4%	11.0%	9.2%	13.6%

「あなたのアドバイザーとどの程度話をしていますか？（設問 14）」では、「1）頻繁に話をしている」、「2）時々話をしている」が合わせて 34.2%、「3）相談事があるときだけ話をしている」が 21.6%、「4）授業以外では全く話をしていない」、「5）全く話したことがない」が合わせて 44.1%であった。(3)については 2004 年度以降は 20%台で推移しており本年度も例年とほぼ同様の値になっている。(1)、(2)については年度ごとに高くなる傾向にあり、相談事が特にないときでもアドバイザーと話をする学生が増加していることがわかるが、2011 年度では、2010 年度よりも値が下がっている。(4)、(5)については年度ごとに低くなる傾向にあり、アドバイザーと接する機会を持たない学生は減少していることがわかるが、2011 年度では、2010 年度よりも値が上がっている。

学年・男女別の回答内訳では、(1)については、学年間の比較では、大学 2 年生、大学 3 年生よりも大学 4 年生が高い値を示している。男女間の比較では、大学 2 年生では女子と男子の差は小さいが、大学 3 年生、大学 4 年生では、女子よりも男子の方がかなり高い値を示している。積極的にアドバイザーと話をする学生は大学 3 年生、大学 4 年生の男子に多いようである。

(2)については、学年間の比較では、大学 2 年生、4 年生よりも大学 3 年生がかなり低い値を示している。男女間の比較では、大学 2 年生では男女間の差は小さいが、大学 3 年生、大学 4 年生では女子が男子よりもかなり高い値を示している。

(4)、(5)については、学年間の比較では、(4)、(5)を単独で見るとそれぞれにおいて学年間で 10%前後の差があるが、(4)と(5)の合計で見ると大学 2 年生は 44.4%、大学 3 年生は 47.4%、大学 4 年生は 38.6%で、大学 2 年生と大学 3 年生の差はそれほど大きくはない。大学 3 年生で値が高く、特に(5)が 26.3%の高い値を示している。男女間の比較では、(4)と(5)の合計で見ると、大学 2 年生は女子 42.4%、男子 46.9%で大きな差はないが、大学 3 年生は女子 43.7%、男子 52.5%で男子の値が高く、大学 4 年生では女子 35.4%、男子 43.2%で男子の値が高い。アドバイザーとほとんど話をしない学生は大学 3 年生と大学 4 年生の男子に多いようである。大学 3 年生と大学 4 年生の男子は、アドバイザーと積極的に話をする学生が他の学年・性別グループより多い一方で、アドバイザーとほとんど接触しない学生も他の学年・性別グループより多い。

	2002年度	2003年度	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度
1 頻繁に話をしている	3.0%	4.9%	3.0%	2.5%	3.4%	5.6%	7.3%	8.5%	7.9%	8.4%
2 時々話をしている	25.4%	20.0%	23.6%	22.9%	25.4%	32.3%	25.2%	28.5%	29.0%	25.8%
3 相談事があるときだけ話をしている	15.7%	15.5%	22.0%	21.8%	25.1%	21.0%	27.1%	24.7%	26.9%	21.6%
4 授業以外では全く話をしていない	23.9%	27.8%	27.2%	24.2%	28.5%	29.4%	27.1%	24.7%	22.7%	27.6%
5 全く話したことがない	32.1%	31.8%	24.3%	28.7%	17.6%	11.7%	13.4%	13.6%	13.6%	16.5%

	2011全体	全体女子	全体男子	2年全体	2年女子	2年男子	3年全体	3年女子	3年男子	4年全体	4年女子	4年男子
1 頻繁に話をしている	8.4%	7.3%	9.9%	7.8%	9.1%	6.1%	5.3%	3.6%	7.5%	12.8%	9.2%	18.2%
2 時々話をしている	25.8%	29.7%	20.8%	31.3%	31.8%	30.6%	18.9%	23.6%	12.5%	26.8%	33.8%	15.9%
3 相談事があるときだけ話をしている	21.6%	22.4%	20.6%	16.5%	16.7%	16.3%	28.4%	29.1%	27.5%	22.0%	21.5%	22.7%
4 授業以外では全く話をしていない	27.6%	23.4%	33.3%	28.7%	24.2%	34.7%	21.1%	18.2%	25.0%	30.3%	27.7%	34.1%
5 全く話したことがない	16.5%	17.2%	15.6%	15.7%	18.2%	12.2%	26.3%	25.5%	27.5%	8.3%	7.7%	9.1%

「今までにアドバイザーと全く話しをしたことがない人だけ教えてください。なぜ、今までアドバイザーと全く話しをしたことがないのですか？（設問15）」では、「2）自分が消極的なため機会はあるが話すことができない」と「4）特に話す必要がない」がともに29.5%、「1）話したいと思うが機会がない」で28.6%、「3）話したいと思うがアドバイザーが相談にのってくれそうにない」が13.0%であった。アドバイザーと話さない理由は「必要がない」、「消極的で話せない」、「機会がない」がほぼ同率で3割ずつである。

(2)については2010年度の19.0%から大きく上がり、これまででもっとも高い値を示している。(4)については、2002年度から2009年度まで選択肢中でもっとも割合が高かったが、2010年度では大きく下がって25.4%になり、2011年度もやや上がってはいるものの、2009年度以前の4割から5割の値よりはかなり低い。(4)は年度ごとに低くなる傾向がある。(1)については、2010年度の37.3%から大きく下がり、2009年度以前とほぼ同様の値である。(3)は2008年度以降、2007年度以前より際立って高くなったが、2011年度では2008年度以降でもっとも低くなっている。話をしたいと思っており、またそうする意志もある学生が増加している一方で、機会がなくて話ができない、あるいは(2007年度以前よりも)アドバイザーの方が相談について消極的であると感じている学生が増えているということが窺える。

学年・男女別の回答内訳では、(2)については、学年間の比較では、大学2年生、大学4年生よりも大学3年生が10%以上低い値を示している。男女間の比較では、大学2年生では女子が20%台、男子が40%台で、男子が高い値を示しているが、大学3年生では女子、男子とも20%前後で大きな差はなく、大学4年生では女子が40%、男子が20%で、女子が高い値を示している。自分が消極的であることを理由としてアドバイザーと話さない学生は大学2年生男子と大学4年生女子に多いことがわかる。

(4)については、学年間の比較では、大学2年生、大学3年生よりも大学4年生が10%以上低い値を示している。男女間の比較では、大学2年生では女子が40%台、男子が20%台で、女子の方が高い値を示しているが、大学3年生では女子が20%台後半、男子が30%台後半で、男子の方が高い値を示しており、大学4年生でも、女子が10%台半ば、男子が20%台半ばで、男子の方が高い値を示している。話す必要がないことを理由としてアドバイザーと話さない学生は大学2年生女子、大学3年生男子に多いことがわかる。

(1)については、学年間の比較では大学2年生よりも大学3年生、大学4年生が高い値を示している。男女間の比較では、全学年で女子が男子よりも高い値を示しており、大学3年生、

大学4年生では女子が40%台、男子が20%台で大きな差がある。機会がないことを理由としてアドバイザーと話さない学生は、大学3年生、大学4年生の女子に多いことがわかる。

(3)については、学年間の比較では、学年間の差はほとんどなく、10%台半ばである。男女間の比較では、全学年で女子よりも男子の値が高く、大学3年生、大学4年生では女子が10%未満であるのに対して男子は20%を超えていて大きな差がある。アドバイザーが相談にのってくれそうにないということを理由としてアドバイザーと話さない学生は、大学3年生と大学4年生の男子に多いことがわかる。

	2002年度	2003年度	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度
1 話したいと思う機会がない	27.1%	22.7%	37.0%	26.6%	27.5%	26.6%	16.7%	30.9%	37.3%	28.1%
2 自分が消極的なため機会はあるが話すことができない	20.8%	15.5%	13.0%	18.0%	20.0%	26.6%	24.2%	14.9%	19.0%	29.5%
3 話したいと思うがアドバイザーが相談にのってくれそうにない	6.3%	6.2%	5.4%	7.9%	6.3%	6.3%	19.7%	14.9%	18.3%	13.0%
4 特に話す必要がない	45.8%	55.7%	44.6%	47.5%	46.3%	40.6%	39.4%	39.4%	25.4%	29.5%

	2011全体	全体女子	全体男子	2年全体	2年女子	2年男子	3年全体	3年女子	3年男子	4年全体	4年女子	4年男子
1 話したいと思う機会がない	28.1%	32.9%	22.4%	18.2%	19.2%	16.7%	33.3%	42.9%	24.1%	34.3%	40.0%	26.7%
2 自分が消極的なため機会はあるが話すことができない	29.5%	29.1%	29.9%	31.8%	23.1%	44.4%	19.3%	21.4%	17.2%	31.4%	40.0%	20.0%
3 話したいと思うがアドバイザーが相談にのってくれそうにない	13.0%	7.6%	19.4%	13.6%	11.5%	16.7%	14.0%	7.1%	20.7%	14.3%	5.0%	26.7%
4 特に話す必要がない	29.5%	30.4%	28.4%	36.4%	46.2%	22.2%	33.3%	28.6%	37.9%	20.0%	15.0%	26.7%

D. 喫煙について（設問 16, 17）

「あなたはたばこを吸いますか？（設問 16）」では、「1)はい」が16.5%、「2)いいえ」が83.3%で、喫煙者は6人に1人の割合を下回っていることが分かる。喫煙者の割合は年度ごとに低くなる傾向があり喫煙者の割合は2006年度以降でもっとも低くなっている。望ましい傾向である。

学年・男女別の回答内訳では、全学年で女子よりも男子で喫煙者の割合が高く、女子では大学2年生が6%程度、大学3年生、大学4年生が10%前後であり、学年間で喫煙者の割合はあまり変わらない。男子では大学3年生の喫煙者の割合が他の学年よりも際立って高い。男子学生の大学2年生については、2010年度の31.9%よりは値が低くなっているものの、4月の調査の時点では大半が20歳未満であると思われるにもかかわらず、23.4%がすでに喫煙を始めていることは注意すべき問題である。

	2002年度	2003年度	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度
1 はい	28.4%	23.7%	26.8%	20.7%	28.6%	23.8%	20.2%	19.2%	18.5%	16.7%
2 いいえ	71.6%	76.3%	72.9%	79.3%	70.8%	76.2%	79.8%	80.8%	81.5%	83.3%

	2011全体	全体女子	全体男子	2年全体	2年女子	2年男子	3年全体	3年女子	3年男子	4年全体	4年女子	4年男子
1 はい	16.7%	8.5%	28.1%	13.4%	6.2%	23.4%	24.4%	9.6%	44.7%	13.8%	10.6%	18.6%
2 いいえ	83.3%	91.5%	71.9%	86.6%	93.8%	76.6%	75.6%	90.4%	55.3%	86.2%	89.4%	81.4%

「本学の喫煙場所についてどう思いますか？（設問 17）」では、「1)このままでいいと思う」が45.7%、「2)全館禁煙にすべきだと思う」が35.9%であった。30%以上の学生が現在の分煙では不十分と感じている。全館禁煙を希望する学生の割合は年度ごとに高くなる傾向があり、2011年度はこれまででもっとも高い値を示している。

学年・男女別の回答内訳では、大学2年生の4割、大学3年生、大学4年生の3割が全館禁煙を望んでおり、全体では女子よりも男子の方が全館禁煙を希望する割合が高くなっている。大学2年生、大学3年生での女子と男子の差は小さいが、大学4年生では、女子が28.1%、男子が38.1%で、女子よりも男子の方が全館禁煙を望んでいる。

	2002年度	2003年度	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度
1 このままでいいと思う	63.9%	62.3%	61.6%	57.8%	61.2%	56.7%	54.4%	50.7%	50.8%	45.7%
2 全館禁煙にすべきだと思う	13.5%	16.6%	19.5%	23.7%	22.1%	25.1%	27.6%	29.4%	31.3%	35.9%
3 よくわからない	22.6%	20.6%	18.9%	18.5%	16.7%	18.2%	18.0%	19.9%	17.9%	18.4%

	2011全体	全体女子	全体男子	2年全体	2年女子	2年男子	3年全体	3年女子	3年男子	4年全体	4年女子	4年男子
1 このままでいいと思う	45.7%	46.8%	44.2%	40.9%	38.8%	43.8%	51.6%	49.0%	55.0%	47.2%	56.3%	38.3%
2 全館禁煙にすべきだと思う	35.9%	34.6%	37.7%	40.9%	40.3%	41.7%	31.9%	33.3%	30.0%	32.1%	28.1%	38.1%
3 よくわからない	18.4%	18.6%	18.1%	18.3%	20.9%	14.6%	16.5%	17.6%	15.0%	20.8%	15.6%	28.6%

E. 通学に関して（設問 18～20）

「通学時間はどのくらいですか？（設問 18）」では、「2）15分以内」が38.1%でもっとも高く、次いで「3）30分以内」が34.5%、「1）5分以内」が10.5%になっている。「4）約1時間」、「5）1時間以上」は合わせて16.8%であった。いずれも例年とほぼ同様の値である。

学年・男女別の回答内訳では、(2)については、学年間の比較では、大学2年生、大学3年生で40%以上であるのに対して、大学4年生では30%程度になっている。男女間の比較では、大学2年生、大学4年生では女子と男子の差は小さいが、大学3年生で女子の方が男子よりもかなり高い値を示している。大学2年生、大学3年生は履修する授業科目が多いので、大学近辺に住んでいるが、大学4年生は、履修する授業科目が少ないため、大学から離れているが生活上利便性の良い場所でアパートを借りているものと思われる。

(3)については、学年間の比較では、大学2年生が30%程度、大学3年生が30%台前半、大学4年生が40%台で、学年進行とともに値が高くなっている。男女間の比較では、全学年で女子よりも男子の方が高い値を示しており、特に大学3年生、大学4年生で差が大きい。(2)の場合と同様に、学年とともにより遠くに住むようになる傾向がある。男子の方が女子よりも、より遠方に住むようになる時期が早いようである。

(4)、(5)については、学年間の比較では、(4)と(5)の合計を見ると全学年10%台である。男女間の比較では、大学2年生、大学3年生では女子よりも男子の方が高い値を示しているが、大学4年生では女子と男子の差は小さく、女子の方がやや高い値を示している。通学に1時間あるいはそれ以上を要する学生は、長崎市南部、東部、西部や諫早方面から自宅通学している学生であると思われる。傾向としては女子の方が大学近辺に居住することが多く、男子の方が遠方から通学することが多いようである。

(1)についてはアンペロス寮生の回答が多いと思われるが、大学3年生、大学4年生では男子学生でも(1)を回答した者があり、元村、横尾周辺に居住している学生その他、道ノ尾や横道周辺からバイクで通学する男子学生の回答も含まれているものと思われる。

	2002年度	2003年度	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度
1 5分以内	17.8%	13.8%	13.1%	17.4%	11.0%	15.5%	9.8%	15.5%	11.2%	10.5%
2 15分以内	47.4%	39.0%	41.3%	35.9%	36.8%	33.9%	42.6%	39.4%	40.8%	38.1%
3 30分以内	20.0%	26.0%	30.8%	29.1%	30.8%	31.1%	26.8%	27.6%	29.6%	34.5%
4 約1時間	9.6%	12.6%	10.5%	11.7%	14.5%	11.2%	11.3%	9.8%	11.5%	10.5%
5 1時間以上	5.2%	8.5%	4.3%	6.0%	6.9%	8.4%	9.4%	7.7%	6.9%	6.3%

	2011全体	全体女子	全体男子	2年全体	2年女子	2年男子	3年全体	3年女子	3年男子	4年全体	4年女子	4年男子
1 5分以内	10.5%	15.0%	4.3%	6.0%	10.4%	0.0%	12.9%	16.4%	7.9%	11.9%	16.9%	4.5%
2 15分以内	38.1%	40.9%	34.3%	39.3%	41.8%	36.0%	46.2%	52.7%	36.8%	29.4%	27.7%	31.8%
3 30分以内	34.5%	29.5%	41.4%	34.2%	31.3%	38.0%	29.0%	23.6%	36.8%	40.4%	35.4%	47.7%
4 約1時間	10.5%	8.8%	12.9%	12.8%	10.4%	16.0%	6.5%	3.6%	10.5%	11.9%	12.3%	11.4%
5 1時間以上	6.3%	5.7%	7.1%	7.7%	6.0%	10.0%	5.4%	3.6%	7.9%	6.4%	7.7%	4.5%

「通学手段は次のうちどれですか？（設問19）」では、「2)バス」が39.3%でもっとも高く、次いで「1)徒歩」が29.0%、「6)バイク」が11.8%になっている。2002年度、2003年度では(1)がもっとも高かったが、2004年度からは30%前後で推移している。(2)も例年30%程度であったが、2010年度は40%を超え、2011年度もほぼ同様の値で、2010年度に次いでこれまでで2番目に高い値になっている。(6)は2005年度、2006年度では20%を超えていたが、2008年度、2009年度では10%台半ばまで下がり、2010年度ではこれまででもっとも低い値7.7%になったが、2011年度では2010年度よりもやや値が高くなっている。

学年・男女別の回答内訳では、(1)については、女子では大学2年生が48.5%、大学3年生が46.3%、大学4年生が25.8%で、女子全体の5割程度が徒歩通学をしている。男子では大学2年生が6.1%、大学3年生が15.0%、大学4年生が14.3%でいずれの学年も10%台半ば以下の値になっている。徒歩で通学する学生は多くがアンペロス寮の女子学生であると思われる。大学4年生の女子で値が低くなるのは、寮を退寮してアパートを借りる学生が増えるためであると思われる。また、男子でも全体の1割程度が徒歩通学をしていることがわかる。

(2)については、女子では大学2年生が27.3%、大学3年生が38.9%、大学4年生が47.0%で、学年進行とともに10%ぐらいつつ増加している。男子では大学2年生と大学3年生がほぼ同じ値で51.0%と52.5%であるが、大学4年生ではかなり低くなって28.6%になっている。大学2年生、大学3年生の男子は半数がバスで通学していることがわかる。大学4年生の男子で値が低くなるが、これは後述の通り、大学4年生男子にはバイクで通学するものが比較的多いためであると思われる。

(6)については、男子と女子の間で大きな差が見られ、女子では大学2年生が6.1%、大学3年生が0.0%、大学4年生が4.5%でいずれも10%未満である一方で、男子では大学2年生が14.3%、大学3年生が20.0%、大学4年生が38.1%であり、学年ごとに値が高くなっている。大学4年生の男子では4割程度の学生がバイクで通学していることがわかる。

	2002年度	2003年度	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度
1 徒歩	53.0%	41.5%	31.6%	30.2%	28.9%	30.8%	29.6%	28.8%	33.2%	29.0%
2 バス	25.4%	30.1%	34.9%	32.7%	29.9%	31.2%	34.6%	32.2%	40.3%	39.6%
3 JRとバス	2.2%	2.4%	2.3%	1.9%	4.4%	5.2%	6.5%	6.4%	5.2%	4.2%
4 電車とバス	2.2%	3.7%	2.3%	4.9%	6.9%	6.4%	5.0%	4.7%	4.0%	4.8%
5 自家用車	3.7%	10.2%	12.8%	7.4%	6.0%	6.0%	7.3%	5.8%	6.2%	5.7%
6 バイク	11.2%	10.2%	14.5%	21.2%	21.7%	18.8%	15.4%	16.9%	7.7%	11.8%
7 自転車	2.2%	2.0%	1.6%	1.6%	2.2%	1.6%	1.5%	5.1%	3.4%	4.8%

設問19. 通学手段は次のうちどれですか？

	2011全体	全体女子	全体男子	2年全体	2年女子	2年男子	3年全体	3年女子	3年男子	4年全体	4年女子	4年男子
1 徒歩	29.0%	41.1%	12.2%	30.4%	48.5%	6.1%	33.0%	46.3%	15.0%	21.3%	25.8%	14.3%
2 バス	39.6%	37.0%	43.2%	37.4%	27.3%	51.0%	44.7%	38.9%	52.5%	39.8%	47.0%	28.6%
3 JRとバス	4.2%	3.6%	5.0%	4.3%	4.5%	4.1%	4.3%	3.7%	5.0%	3.7%	3.0%	4.8%
4 電車とバス	4.8%	5.7%	3.6%	7.0%	7.6%	6.1%	5.3%	7.4%	2.5%	2.8%	3.0%	2.4%
5 自家用車	5.7%	6.3%	5.0%	4.3%	3.0%	6.1%	3.2%	1.9%	5.0%	10.2%	13.6%	4.8%
6 バイク	11.8%	3.6%	23.0%	9.6%	6.1%	14.3%	8.5%	0.0%	20.0%	17.6%	4.5%	38.1%
7 自転車	4.8%	2.6%	7.9%	7.0%	3.0%	12.2%	1.1%	1.9%	0.0%	4.6%	3.0%	7.1%

「自家用車、または、バイクで通学している人への質問です。自家用車やバイクで通学をする場合、学校から許可を受けなければいけません。あなたは、許可を受けていますか？（設問20）」では、「1)受けている」が32.5%、「2)知らなかったのを受けていない」が36.8%、「3)知っていたが、許可は受けていない」が30.7%になっている。(1)については、年度間で値が10%ほど変化することがあるが、2006年度以降、40%前後の比較的低い値で推移していた。2011年度ではさらに10%ほど低くなってこれまででもっとも低い値になっている。(3)については、2009年度、2010年度は22.6%の同率でこれまででもっとも低い値になっていたが、2011年度はかなり高くなって30%を超えた。(2)については2009年度の35.5%を超えて、これまででもっとも高い値を示している。許可を受けて自動車・バイク通学をしている学生が減り、許可制度を知っている者も、知らない者も、ともに無許可で自動車・バイク通学をしている学生が増えている。

学年・男女別の回答内訳では、(1)については、女子では大学2年生が25.0%、3年生が33.3%、大学4年生は47.4%で、学年とともに値が高くなっている。男子では大学2年生が35.3%、大学3年生が10.5%、大学4年生が50.0%で、大学2年生の値が極端に低く、大半が無許可で自動車・バイク通学をしている。男女とも大学4年生が許可を受けている割合がもっとも高いが、それでも半数程度にしかなっていない。(2)については、女子では学年とともに30%台後半から20%台後半まで値が低くなる傾向があるが、男子では大学2年生と大学4年生が30%前後であるのに対して大学3年生が60%近い値を示している。大学2年生が規則を知らなかったと答えるのは、入学時のオリエンテーション時の注意を聞き逃し、気付かずにいたのであろうと思われるが、毎年、意識調査でこの質問に回答しているのであれば、大学3年生、4年生は規則を知っていてしかるべきであり、大学3年生で女子33.3%、男子57.9%、大学4年生でも女子26.3%、男子34.6%が知らなかったと答えているのは妙である。無許可で自家用車・バイクを通学に使用している学生は、自家用車・バイクでの通学の許可を受ける規則についてほとんど注意を払っていないことが推測できる。

設問20. 自家用車、または、バイクで通学している人への質問です。自家用車やバイクで通学をする場合、学校から許可を受けなければいけません。あなたは、許可を受けていますか？

	2002年度	2003年度	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度
1 受けている	45.0%	58.5%	45.1%	53.8%	40.6%	49.4%	40.3%	41.9%	43.4%	32.5%
2 知らなかったのを受けていない	25.0%	5.7%	12.1%	15.4%	21.9%	23.5%	28.6%	35.5%	34.0%	36.8%
3 知っていたが、許可は受けていない	30.0%	35.8%	42.9%	30.8%	37.5%	27.2%	31.2%	22.6%	22.6%	30.7%

設問20. 自家用車、または、バイクで通学している人への質問です。自家用車やバイクで通学をする場合、学校から許可を受けなければいけません。あなたは、許可を受けていますか？

	2011全体	全体女子	全体男子	2年全体	2年女子	2年男子	3年全体	3年女子	3年男子	4年全体	4年女子	4年男子
1 受けている	32.5%	33.3%	31.8%	30.3%	25.0%	35.3%	17.9%	33.3%	10.5%	48.9%	47.4%	50.0%
2 知らなかったのを受けていない	36.8%	33.3%	39.4%	33.3%	37.5%	29.4%	50.0%	33.3%	57.9%	31.1%	26.3%	34.6%
3 知っていたが、許可は受けていない	30.7%	33.3%	28.8%	36.4%	37.5%	35.3%	32.1%	33.3%	31.6%	20.0%	26.3%	15.4%

F. 自由時間の過ごし方（設問 21）

「勉強をしていない時は、自由時間をどのように過ごしていますか？（設問 21）」では、「4）友達とおしゃべりをしたり、外出したりしている」が 26.4%でもっとも高く、次いで「7）アルバイトをしている」が 23.4%、「2）テレビをみる」が 13.7%になっている。（4）、（7）、（2）は例年上位の 3 つの回答であるが、（4）についてはこれまででもっとも高い値を示した 2010 年度よりやや低くなってほぼ例年と同様の値、（7）についてはほぼ例年と同様の値、（2）については 2007 年度以前の 15%台から 17%台の値よりはやや低い 2008 年度以降の 12%台の値と大きな差がない値になっている。

学年・男女別の回答内訳では、（4）については、女子と男子の間で大きな差が見られ、女子では大学 2 年生、大学 3 年生が 30%台前半、大学 4 年生が 40%台前半であるのに対し、男子では大学 2 年生、大学 3 年生が 10%未満、大学 4 年生で値が高くなるがそれでも 20%台前半の値である。友人との会話を楽しむという余暇の過ごし方は女子学生に顕著な行動様式であると言える。

（7）については、全体では女子と男子の間の差は大きくないが、学年によって男女間に差が見られる。大学 2 年生では女子と男子の差は小さく、大学 4 年生では女子と男子がほぼ同じ値であるが、大学 3 年生で女子よりも男子の方が高い値を示している。女子では大学 2 年生が 30%代半ばであるが、大学 3 年生、大学 4 年生では 10%台半ばで大学 2 年生にくらべて半減している。男子では大学 2 年生が 20%台半ば、大学 3 年生が 30%、大学 4 年生が 10%台半ばで、大学 4 年生で値が低くなるのは女子と同様であるが、大学 3 年生で女子の 2 倍の値を示している。男子については大学 2 年生、大学 3 年生で（7）の方が（4）よりも高い値を示しているで、アルバイトに自由時間を費やすのは男子学生に顕著な行動様式であると言えそうである。

（2）については、女子と男子の間の差はわずかで、男女とも全学年で 10%台であるが、男女とも大学 2 年生、大学 4 年生よりも大学 3 年生で値がやや高くなっている。

設問 21. 勉強をしていない時は、自由時間をどのように過ごしていますか？

	2002年度	2003年度	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度
1 なにもせず、ただボーッと過ごしている	5.3%	6.9%	6.2%	3.3%	4.4%	6.4%	8.7%	6.5%	8.4%	8.2%
2 テレビをみる	15.9%	17.6%	17.4%	17.3%	15.6%	17.7%	12.3%	12.7%	12.1%	13.7%
3 スポーツ	9.8%	5.7%	4.3%	3.6%	5.1%	4.0%	3.6%	5.8%	5.0%	5.2%
4 友達とおしゃべりをしたり、外出したりしている	27.3%	29.0%	24.3%	27.2%	26.3%	29.3%	28.6%	27.1%	32.0%	26.4%
5 授業に関係のない本を読む	2.3%	3.7%	7.2%	8.2%	4.8%	4.4%	5.6%	5.2%	5.9%	5.2%
6 寝ている	6.8%	4.9%	4.6%	3.0%	4.4%	2.8%	2.8%	5.2%	3.1%	5.5%
7 アルバイトをしている	22.7%	22.4%	26.2%	25.0%	22.9%	25.3%	22.6%	25.1%	24.2%	23.4%
8 デートをしている	1.5%	1.2%	1.6%	1.6%	2.9%	3.2%	3.6%	1.0%	1.2%	2.1%
9 その他	8.3%	8.6%	8.2%	10.7%	13.7%	6.8%	12.3%	11.3%	8.1%	10.3%

設問 21. 勉強をしていない時は、自由時間をどのように過ごしていますか？

	2011全体	全体女子	全体男子	2年全体	2年女子	2年男子	3年全体	3年女子	3年男子	4年全体	4年女子	4年男子
1 なにもせず、ただボーッと過ごしている	8.2%	7.9%	8.7%	8.8%	9.0%	8.5%	7.6%	7.7%	7.5%	8.3%	7.6%	9.3%
2 テレビをみる	13.7%	13.6%	13.8%	10.5%	10.4%	10.6%	16.3%	15.4%	17.5%	12.8%	13.6%	11.6%
3 スポーツ	5.2%	1.0%	10.9%	5.3%	1.5%	10.6%	6.5%	0.0%	15.0%	4.6%	1.5%	9.3%
4 友達とおしゃべりをしたり、外出したりしている	26.4%	35.6%	13.8%	21.9%	31.3%	8.5%	21.7%	32.7%	7.5%	34.9%	42.4%	23.3%
5 授業に関係のない本を読む	5.2%	5.2%	5.1%	1.8%	1.5%	2.1%	7.6%	9.6%	5.0%	7.3%	6.1%	9.3%
6 寝ている	5.5%	6.8%	3.6%	7.0%	9.0%	4.3%	4.3%	3.8%	5.0%	5.5%	7.6%	2.3%
7 アルバイトをしている	23.4%	22.5%	24.6%	30.7%	34.3%	25.5%	21.7%	15.4%	30.0%	16.5%	16.7%	16.3%
8 デートをしている	2.1%	1.0%	3.6%	4.4%	1.5%	8.5%	1.1%	1.9%	0.0%	0.9%	0.0%	2.3%
9 その他	10.3%	6.3%	15.9%	9.6%	1.5%	21.3%	13.0%	13.5%	12.5%	9.2%	4.5%	16.3%

G. アルバイトについて（設問 22～26）

「アルバイトをしていますか？（設問 22）」では、「1)はい」が 55.5%、「2)いいえ」が 44.5%であり、5 割半の学生がアルバイトを行っている。アルバイトを行っている学生の割合は例年とほぼ同様の値である。

学年・男女別の回答内訳では、アルバイトを行っている学生の割合は全学年で 50%台で、学年間では大きな差はない。男女間では学年により値に差があり、大学 2 年生では女子の方が男子よりもやや高い値を示しているが、大学 3 年生では、設問 21 の回答にも現れているように、女子よりも男子の方がより高い値を示している。大学 4 年生では男女間の差はほとんどない。

		2002年度	2003年度	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度
1	はい	59.5%	54.5%	62.8%	56.8%	52.4%	57.7%	57.5%	60.4%	55.0%	55.5%
2	いいえ	40.5%	45.5%	37.2%	43.2%	47.6%	42.3%	42.5%	39.6%	45.0%	44.5%

		2011全体	全体女子	全体男子	2年全体	2年女子	2年男子	3年全体	3年女子	3年男子	4年全体	4年女子	4年男子
1	はい	55.5%	54.5%	56.9%	56.0%	59.4%	51.1%	53.4%	49.1%	60.0%	56.5%	56.1%	57.1%
2	いいえ	44.5%	45.5%	43.1%	44.0%	40.6%	48.9%	46.6%	50.9%	40.0%	43.5%	43.9%	42.9%

「週にどのくらいアルバイトをしていますか？（設問 23）」では、「2)週に 3、4 日授業が終わって」が 46.6%でもっとも高く、次いで「3)週末のみ」が 30.1%、「1)毎日授業が終わって」が 12.3%、「5)夜間のみ 3、4 日」が 4.6%になっている。(2)については年度間で 7%から 8%上下する変化が見られることもあるが、2011 年度は 2010 年度に比べてかなり低くなり、これまででもっとも低い値になっている。(3)は 2010 年度の値を超えてこれまででもっとも高い値を示している。(1)については例年の 7%～9%に比べてやや高くなっている。(5)については 2010 年度より低くなり、これまででもっとも低い値になっている。週末のみアルバイトをする学生が増えている一方で、授業後の夕方にアルバイトをする学生はアルバイト日数が増加している。学生の多くはアルバイトを週末と夕方に行っているが、夜間のアルバイトを行っている学生もあり、例年(4)、(5)、(6)の合計は 10%前後から 10%台半ばを示している。2011 年度では 2010 年度とほぼ同率の 11.3%の学生が夜間アルバイトを行っている。(実際には「授業が終わって」あるいは「週末」とされている回答にも深夜アルバイトが含まれている可能性がある。設問 24 の分析参照。)また、「4)夜間のみ毎日」の回答が 2010 年度の 0.5%から 2011 年度は 2.7%になり、夜間アルバイトを恒常的に行う学生が増えていることは注意をしなければならない。経済的理由でやむを得ずアルバイトを行っている学生が多いと思われるが、夜間アルバイトは学業に影響を与える恐れがあるので、大学 1 年生の学生部オリエンテーションでは夜間アルバイトを行わないように指導している。大学 2 年生以上についても学年別オリエンテーションで繰り返し指導して、深夜アルバイトを行う学生を減らしていくべきである。

学年・男女別の回答内訳では、(2)については、女子では大学 2 年生と大学 4 年生が 40%台、大学 3 年生が 60%台後半で、大学 3 年生の値が高いが、男子では、大学 3 年生と大学 4 年生がほぼ 40%、大学 4 年生が 50%台半ばで、大学 4 年生の値が高い。(3)については、女子では大学 2 年と大学 4 年生が 30%台、大学 3 年生が 20%台半ばで、(2)の場合とは逆に大学 3 年生

の値が低くなっている。男子では、全学年で20%台半ばで学年間の差は小さい。(1)については、大学2年生、大学4年生では女子の方が男子よりもやや高い値を示しているが、大学3年生では女子が3.0%、男子が18.2%で男子の方が高い値を示しており、大きな差がある。(5)では全学年で女子よりも男子が高い値を示しており、大学2年生では女子が2.2%、男子が17.9%で大きな差がある。

	2002年度	2003年度	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度
1 毎日授業が終わって	7.6%	8.1%	7.9%	6.6%	8.8%	8.7%	9.4%	8.6%	8.7%	12.3%
2 週に3、4日授業が終わって	62.0%	64.4%	57.1%	61.8%	53.5%	56.4%	63.5%	52.3%	55.8%	46.6%
3 週末のみ	16.5%	18.5%	17.8%	17.9%	22.9%	17.4%	17.6%	22.8%	24.0%	30.1%
4 夜間のみ毎日	2.5%	0.0%	2.1%	3.3%	1.8%	2.7%	1.3%	1.5%	0.5%	2.7%
5 夜間のみ3、4日	7.6%	5.2%	10.5%	7.1%	7.6%	8.1%	5.0%	8.6%	7.7%	4.6%
6 夜間のみ1、2日	3.8%	3.7%	4.7%	3.3%	5.3%	6.7%	3.1%	6.1%	3.4%	3.7%

	2011全体	全体女子	全体男子	2年全体	2年女子	2年男子	3年全体	3年女子	3年男子	4年全体	4年女子	4年男子
1 毎日授業が終わって	12.3%	11.5%	13.4%	16.4%	17.8%	14.3%	10.6%	3.0%	18.2%	8.8%	10.3%	6.9%
2 週に3、4日授業が終わって	46.6%	49.2%	43.3%	41.1%	42.2%	39.3%	53.0%	66.7%	39.4%	50.0%	46.2%	55.2%
3 週末のみ	30.1%	32.8%	26.8%	31.5%	35.6%	25.0%	25.8%	24.2%	27.3%	29.4%	33.3%	24.1%
4 夜間のみ毎日	2.7%	2.5%	3.1%	2.7%	2.2%	3.6%	6.1%	6.1%	6.1%	0.0%	0.0%	0.0%
5 夜間のみ3、4日	4.6%	1.6%	8.2%	8.2%	2.2%	17.9%	1.5%	0.0%	3.0%	2.9%	2.6%	3.4%
6 夜間のみ1、2日	3.7%	2.5%	5.2%	0.0%	0.0%	0.0%	3.0%	0.0%	6.1%	8.8%	7.7%	10.3%

「現在あなたがしているアルバイトの職種は次のうちどれにあたりますか？（設問24）」では、「2）ウエートレス、ウェーター」が24.2%でもっとも高く、次いで「3）コンビニ、スーパーやデパートでの販売、レジ係り」が23.3%、「9）夜間の飲食店（居酒屋、スナック等を含む）」が15.8%、「4）その他の販売」が14.4%、「1）ファーストフード店での販売」が12.6%になっている。(2)、(3)は例年上位の2つの回答で、例年とほぼ同様の値を示している。(9)は2010年度よりもやや低い値であるが、それでもこれまでで3番目に高い値になっている。設問23の回答では(4)、(5)、(6)の合計が11.3%であったが、設問24では(9)が15.8%になっているので、設問23の回答(1)、(2)、(3)の中にも夜間アルバイトが含まれていることが推測される。

学年・男女別の回答内訳では、(2)については全学年で女子の方が男子よりも値が高いが、大学3年生では男女間の差は小さい。女子学生では大学2年生が30%台前半、大学3年生、大学4年生が25%程度、男子学生では大学2年生、大学3年生が20%台前半、大学4年生が15%程度である。アルバイトをしている学生の1/4はウエートレス・ウェーターをしていることがわかる。(3)については、女子では大学2年生が15%程度、大学3年生、大学4年生が20%台半ばで大学2年生が大学3年生、大学4年生よりも低い値を示しているが、男子では大学2年生が35%程度、大学3年生が26%程度、大学4年生が11%程度で、学年とともに値が低くなっている。(9)については、全学年で女子よりも男子の値が高く、女子、男子ともに、学年とともにやや値が低くなる傾向がある。厨房での皿洗い等の作業の他、給仕等の仕事をしているものと考えられる。

	2002年度	2003年度	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度
1 ファーストフード店での販売	12.8%	920.0%	8.3%	5.9%	9.0%	10.8%	5.6%	8.4%	12.8%	12.6%
2 ウェートレス、ウェーター	26.9%	22.9%	22.9%	26.2%	24.6%	20.9%	28.1%	24.1%	25.6%	24.2%
3 コンビニ、スーパーやデパートでの販売、レジ係り	19.2%	24.4%	17.7%	25.7%	20.4%	22.3%	19.4%	27.2%	23.2%	23.3%
4 その他の販売	16.7%	13.7%	14.6%	9.4%	10.8%	18.2%	15.6%	9.9%	11.3%	14.4%
5 家庭教師又は塾の講師	6.4%	5.3%	10.9%	11.9%	6.0%	4.7%	5.6%	4.7%	3.0%	3.3%
6 軽作業	5.1%	9.9%	8.3%	5.9%	10.8%	8.8%	6.9%	4.2%	5.4%	3.7%
7 事務	1.3%	3.8%	0.0%	3.0%	3.0%	2.0%	3.1%	1.6%	0.5%	2.3%
8 夜間のコンビニエンスストア	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.2%	0.0%	0.0%	0.5%	1.0%	0.5%
9 夜間の飲食店（居酒屋、スナック等を含む）	11.5%	10.7%	17.2%	11.9%	14.4%	12.2%	15.6%	19.4%	17.2%	15.8%

	2011全体	全体女子	全体男子	2年全体	2年女子	2年男子	3年全体	3年女子	3年男子	4年全体	4年女子	4年男子
1 ファーストフード店での販売	12.6%	12.3%	12.9%	8.0%	8.7%	6.9%	14.3%	9.4%	19.4%	15.2%	15.4%	14.8%
2 ウェートレス、ウェーター	24.2%	27.9%	19.4%	28.0%	32.6%	20.7%	23.8%	25.0%	22.6%	21.2%	25.6%	14.8%
3 コンビニ、スーパーやデパートでの販売、レジ係り	23.3%	21.3%	25.8%	22.7%	15.2%	34.5%	27.0%	28.1%	25.8%	19.7%	25.6%	11.1%
4 その他の販売	14.4%	18.0%	9.7%	16.0%	26.1%	0.0%	9.5%	9.4%	9.7%	18.2%	15.4%	22.2%
5 家庭教師又は塾の講師	3.3%	3.3%	3.2%	4.0%	2.2%	6.9%	3.2%	6.3%	0.0%	3.0%	2.6%	3.7%
6 軽作業	3.7%	3.3%	4.3%	2.7%	0.0%	6.9%	3.2%	6.3%	0.0%	6.1%	5.1%	7.4%
7 事務	2.3%	0.8%	4.3%	1.3%	0.0%	3.4%	3.2%	3.1%	3.2%	3.0%	0.0%	7.4%
8 夜間のコンビニエンスストア	0.5%	0.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
9 夜間の飲食店（居酒屋、スナック等を含む）	15.8%	12.3%	20.4%	17.3%	15.2%	20.7%	15.9%	12.5%	19.4%	13.6%	10.3%	18.5%

「アルバイトが原因で授業を休んだことがありますか？（設問25）」では、「1）たびたびある」

「2）時々ある」が合わせて24.8%、「3）めったにない」、「4）一度もない」が合わせて75.3%になっている。2010年度では(1)、(2)の合計が17.4%、(3)、(4)の合計が82.5%であったので、アルバイトを原因とした欠席は2010年度に比べてかなり増えているようである。2009年度、2010年度では、アルバイトがある程度授業出席に影響を与えている学生の割合が、設問24の(8)、(9)の回答率合計に近いことから、おそらくは夜間・深夜アルバイトが原因で午前中の授業を休んだ学生が、(1)または(2)を回答したのではないかと思われるが、2011年度の結果では設問24の(8)、(9)の回答率合計よりも設問25の(1)、(2)の合計の方が高い値を示している。夜間アルバイトのみがアルバイトによる授業欠席の理由ではないようである。(1)、(2)の回答の合計は年度ごとに高くなる傾向にあり、2009年度は21.2%で、それまでもっとも高い値となったが、2011年度はそれを超えて、これまででもっとも高い値になっている。逆に(3)、(4)の回答の合計は低くなる傾向にあり、特に(4)については2009年度に56.7%で、それまでもっとも低い値を示したが、2011年度は2009年度に次いで2番目に低い値を示している。アルバイトが学生の授業出席に悪い影響を与える状況が次第に悪化しているようである。

学年・男女別の回答内訳では、(1)、(2)の合計については全学年において女子よりも男子が高い値を示し、(2)についても大学3年生、4年生では女子よりも男子が高い値を示している。特に3年生男子でアルバイトをしている学生の37.5%、男子全体でも30.7%が(1)または(2)を回答している。大学3年生男子の少なくとも3人に1人、男子全体の少なくとも4人に1人は、授業出席にアルバイトの影響が出ていることになる。女子では(1)、(2)の値が大学2年生で21.2%、大学3年生で21.3%、大学4年生で15.4%であり、大学2年生と大学3年生で値が高くなっており、大学4年生でも低くない値を示している。2010年度では大学2年生が12.7%、大学3年生が9.5%、大学4年生が3.4%であり、すべての学年で値が大きく増加していることがわかる。男子では(1)、(2)の合計が大学2年生で28.2%、大学3年生で37.5%、

大学4年生で31.3%で、大学3年生が特に高い値を示している。大学2年生については、女子の2割、男子の3割にアルバイトによる出席の影響が出ているが、大学2年生の回答は、大学1年生のときの出席状況に基づいたものである。大学1年次から授業出席にアルバイトの影響が出ていることが窺える。女子学生、男子学生ともに、1年生のアドバイザーは夜間アルバイトを行っている学生の出席状況に注意を払い、適切な指導を行う必要がある。

	2002年度	2003年度	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度
1 たびたびある	4.6%	3.2%	4.2%	2.9%	4.2%	7.1%	6.2%	7.4%	6.4%	9.6%
2 時々ある	9.2%	12.7%	13.6%	11.6%	12.5%	12.4%	10.1%	13.8%	11.0%	15.2%
3 めったにない	16.1%	14.0%	20.1%	18.2%	17.3%	17.8%	18.0%	22.2%	18.3%	15.7%
4 一度もない	70.1%	70.1%	62.1%	67.4%	66.1%	62.7%	65.7%	56.7%	64.2%	59.6%

	2011全体	全体女子	全体男子	2年全体	2年女子	2年男子	3年全体	3年女子	3年男子	4年全体	4年女子	4年男子
1 たびたびある	9.6%	9.3%	9.9%	10.1%	10.6%	9.4%	7.7%	6.1%	9.4%	9.2%	6.8%	12.5%
2 時々ある	15.2%	10.9%	20.8%	13.9%	10.6%	18.8%	21.5%	15.2%	28.1%	13.2%	9.1%	18.8%
3 めったにない	15.7%	17.8%	12.9%	11.4%	14.9%	6.3%	20.0%	12.1%	28.1%	17.1%	27.3%	3.1%
4 一度もない	59.6%	62.0%	56.4%	64.6%	63.8%	65.6%	50.8%	66.7%	34.4%	60.5%	56.8%	65.6%

「なぜアルバイトをしているのですか？（設問26）」では、「1）生活費の補助にするため」が53.1%でもっとも高く、次いで「2）欲しいものを買うため」が21.5%、「4）社会勉強のため」が11.4%、「3）将来の夢のため」が10.1%になっている。(1)は2010年度の61.1%からかなり低くなっているが、2003年度以降50%台であるので例年とほぼ同様の値である。(2)は2005年以降10%台前半で推移してきているが、2011年度は初めて20%台になり、これまででもっとも高い値になっている。(4)は2010年度の16.7%からやや低くなっているが、10%台前半から10%台半ばの値で変化していき例年の値とほぼ同様の値である。(3)は2010年度の6.5%からやや高くなったが、10%前後で推移してきている例年の値とほぼ同様の値である。

学年・男女別の回答内訳では、(1)については、学年間の比較では、大学2年生が46.8%、大学3年生が50.0%、大学4年生が63.3%で、大学2年生、大学3年生よりも大学4年生の値が高い。男女間の比較では大学4年生で女子の方が男子よりやや高い値を示すが、大学2年生、大学3年生では差は小さく女子より男子の方が高い値を示している。男女とも大学4年生では生活費のためにアルバイトをする学生が増えるようである。

(2)については、学年間の比較では、大学2年生が23.1%、大学3年生が20.6%、大学4年生が15.5%で、大学2年生、大学3年生よりも大学4年生の値が低い。男女間の比較では、大学2年生では女子が27.7%、男子が16.1%で女子の方が高い値を示しているが、大学3年生では女子が5.7%、男子が15.5%、大学4年生では女子が9.8%、男子が23.3%で、女子よりも男子の方がはるかに大きな値を示している。欲しい物を買うためにアルバイトをする学生は女子では大学2年生に多く、大学3年生、大学4年生ではごく少数である一方で、男子では大学2年生では比較的少なく、大学3年生、大学4年生に多いことがわかる。

(4)については、学年間の比較では、大学2年生が14.1%、大学3年生が10.3%、大学4年生が8.5%で学年とともに低くなる傾向がある。男女間の比較では、女子は大学2年生が12.8%、大学3年生が17.1%、大学4年生が9.8%で、大学3年生がもっとも高い値を示しているが、男子は大学2年生が16.1%、大学3年生が3.0%、大学4年生6.7%で、大学2年生がもっとも高く、大学3年生、大学4年生は非常に低い値を示している。女子ではキャリア形成をある

程度意識してアルバイトしている学生が全学年とも1割程度いるが、男子では大学2年生以外はあまりいないようである。

	2002年度	2003年度	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度
1 生活費の補助にすため	40.2%	55.2%	56.4%	56.5%	64.8%	57.5%	58.3%	52.7%	61.1%	53.1%
2 欲しいものを買うため	25.6%	17.9%	19.1%	13.5%	11.5%	20.9%	13.5%	14.9%	12.0%	21.5%
3 将来の夢のため	11.0%	12.4%	9.3%	9.0%	8.5%	6.5%	10.4%	10.0%	6.5%	10.1%
4 社会勉強のため	15.9%	13.1%	10.3%	14.3%	11.5%	10.5%	13.5%	15.4%	16.7%	11.4%
5 友達をっくるため	1.2%	0.0%	0.0%	0.9%	0.0%	0.7%	0.0%	2.5%	0.0%	0.9%
6 レジャーや旅行のため	2.4%	0.0%	1.5%	2.2%	1.2%	2.6%	1.8%	3.0%	0.9%	1.3%
7 別に理由はない	3.7%	1.4%	3.4%	3.6%	2.4%	1.3%	2.5%	1.5%	2.8%	1.8%

	2011全体	全体女子	全体男子	2年全体	2年女子	2年男子	3年全体	3年女子	3年男子	4年全体	4年女子	4年男子
1 生活費の補助にすため	53.1%	54.3%	51.5%	47.4%	46.8%	48.4%	50.0%	48.6%	51.5%	66.2%	68.3%	63.3%
2 欲しいものを買うため	21.5%	16.5%	27.7%	23.1%	27.7%	16.1%	20.8%	5.7%	36.4%	15.5%	9.8%	23.3%
3 将来の夢のため	10.1%	12.6%	6.9%	12.8%	12.8%	12.9%	11.8%	17.1%	6.1%	7.0%	9.8%	3.3%
4 社会勉強のため	11.4%	12.6%	9.9%	14.1%	12.8%	16.1%	10.3%	17.1%	3.0%	8.5%	9.8%	6.7%
5 友達をっくるため	0.9%	1.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.9%	5.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
6 レジャーや旅行のため	1.3%	1.6%	1.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.9%	2.9%	3.0%	1.4%	2.4%	0.0%
7 別に理由はない	1.8%	0.8%	3.0%	2.6%	0.0%	6.5%	1.5%	2.9%	0.0%	1.4%	0.0%	3.3%

H. 学内施設の利用等（設問 27～31）

「学内の施設で改善して欲しいものがありますか？（設問 27）」では、「3）トイレ」が29.4%でもっとも高く、次いで、「2）食堂」が26.9%、「7）売店」が15.5%になっている。図書館、メディアセンター、教室など、授業や学習に関わる施設については、学生は大きな不満を持っていないが、売店、食堂など学生の福利厚生に関わる施設についてはかなり不満があるようである。(7)については2003年度の51.7%がもっとも高く、それ以降も30%以上の値に留まり、例年、設問 27 の選択肢中でもっとも高い値の回答になっていたが、2010 年度では初めて10%台になり、2011 年度ではさらに低くなって、これまででもっとも低い値になっている。2010 年度は(2)が32.7%で選択肢中でもっとも高い値の回答となり、2002 年度の50.0%に次いでこれまでで2番目に高い値を示したが、2011 年度も、2010 年度よりは値は低くなったが、2009 年度以前と比べて際立って高い値を維持している。(3)については、2005 年度以降、値が高くなってきており、2011 年度はこれまででもっとも高い値になり、回答選択肢中で、初めてもっとも高い値の回答となっている。(7)については売店の品揃えの貧弱さ、営業時間帯の短さなど、高い値の要因は容易に想像できるが、2010 年度、2011 年度に値が激減した理由は、回答が一つしか選択できないため、(2)、(3)を選択する回答者が増えたために相対的に減少したのではないかと思われる。(2)については、2005 年度以降、10%台後半から20%台前半で推移してきたが、2010 年度になぜ突然30%を超す値になり、2011 年度もほぼ同様の値になったのかよく分からない。2009 年度から食堂の業者が交代したことが原因の候補の一つとして考えられる。食堂の混雑の状況、営業時間、メニューなど、不満の原因がどこにあるのか調査する必要がある。(3)についても、最近5年間で不満が大きくなってきており、2011 年度では回答中でもっとも高い値を示す選択肢となった。学生がトイレのどのような点について改善を求めているかを調査する必要がある。

学年・男女別の回答内訳では、(3)については、大学2年生男子以外は、25%以上の値を示しており、大学2年生女子が35.0%、大学3年生男子が32.5%、大学4年生女子が37.1%とい

う高い値をしめしている。トイレに対する不満は全学年、男女ともに共通のものであると思われる。

(2)については、学年間の比較では、大学2年生が22.9%、大学3年生が31.5%、大学4年生が26.4%で、大学2年生がもっとも高い値を示している。男女間の比較では、全学年で女子よりも男子が高い値を示しており、男子に食堂についての不満が多いようである。大学3年生男子は40.0%で、特に不満が多い。

(7)については、学年間の比較では、大学2年生が20.0%、大学3年生が9.8%、大学4年生が16.0%で、大学2年生に不満が多い。男女間の比較では、女子は大学2年生が21.7%、大学4年生が21.0%であるのに対し、大学3年生が9.6%と低くなっている。これは(回答が1つしか選択できないため)大学3年生女子で「4)図書館」に対する不満が19.2%と特徴的に高いことの影響であると思われる。男子は大学2年生が17.8%、大学3年生が10.0%、大学4年生が9.1%で、大学2年生に不満が多いようである。

設問27. 学内の施設で改善して欲しいものがありますか？

	2002年度	2003年度	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度
1 ラウンジ	5.4%	9.3%	9.6%	7.7%	8.8%	7.1%	9.0%	9.2%	8.7%	12.0%
2 食堂	50.0%	16.5%	32.5%	20.0%	23.3%	19.5%	23.5%	18.1%	32.7%	26.9%
3 トイレ	3.1%	3.4%	2.1%	10.0%	8.1%	17.3%	14.9%	18.5%	21.2%	29.4%
4 図書館	3.8%	8.9%	5.8%	12.3%	17.9%	11.1%	12.7%	7.4%	8.7%	8.2%
5 メディアセンター	0.8%	1.3%	1.7%	1.7%	1.4%	2.2%	1.4%	1.5%	2.6%	0.3%
6 教室	3.8%	3.8%	4.8%	4.6%	2.4%	3.1%	2.3%	3.0%	3.8%	2.8%
7 売店	24.6%	51.7%	37.0%	40.3%	33.8%	35.0%	31.7%	35.4%	16.3%	15.5%
8 その他	8.5%	5.1%	6.5%	3.4%	4.4%	4.9%	4.5%	7.0%	6.1%	4.7%

設問27. 学内の施設で改善して欲しいものがありますか？

	2011全体	全体女子	全体男子	2年全体	2年女子	2年男子	3年全体	3年女子	3年男子	4年全体	4年女子	4年男子
1 ラウンジ	12.0%	11.7%	12.4%	12.4%	13.3%	11.1%	13.0%	13.5%	12.5%	10.4%	8.1%	13.6%
2 食堂	26.9%	21.8%	33.6%	22.9%	18.3%	28.9%	31.5%	25.0%	40.0%	26.4%	22.6%	31.8%
3 トイレ	29.4%	32.4%	25.5%	27.6%	35.0%	17.8%	28.3%	25.0%	32.5%	33.0%	37.1%	27.3%
4 図書館	8.2%	10.6%	5.1%	5.7%	5.0%	6.7%	12.0%	19.2%	2.5%	7.5%	8.1%	6.8%
5 メディアセンター	0.3%	0.0%	0.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.9%	0.0%	2.3%
6 教室	2.8%	2.2%	3.6%	3.8%	1.7%	6.7%	3.3%	5.8%	0.0%	1.9%	0.0%	4.5%
7 売店	15.5%	17.9%	12.4%	20.0%	21.7%	17.8%	9.8%	9.6%	10.0%	16.0%	21.0%	9.1%
8 その他	4.7%	3.4%	6.6%	7.6%	5.0%	11.1%	2.2%	1.9%	2.5%	3.8%	3.2%	4.5%

「図書館はどのくらいの頻度で利用しますか？(設問28)」では「2)週に数度は利用する」が36.1%、「1)ほとんど毎日利用する」が29.4%、「3)週に1、2度は利用する」と「4)たまに利用する」が同率で14.8%になっている。(1)、(2)から、学生の65.5%が図書館を積極的に利用しているようである。しかし、「4)たまに利用する」、「5)めったに利用しない」、「6)行ったことがない」は合わせて19.6%であり、5人に1人は図書館を利用していないことがわかる。(1)、(2)、(3)の合計の割合は2008年度までは年度ごとに高くなっていったが、2009年度(78.4%)は2008年度(83.2%)に比べて低くなっていた。2010年度(82.2%)はやや回復したが2011年度は再び低くなって80.3%になっている。

学年・男女別の回答内訳では、(1)、(2)、(3)の合計は女子では大学2年生が83.1%、大学3年生が86.8%、大学4年生が86.4%で、学年間の差はわずかである。男子では大学2年生が74.0%、大学3年生で70.0%、大学4年生で77.3%で、大学3年生が低く、大学4年生が高い。全学年で女子の方が男子よりも高い値を示しており、大学3年生の差が最大の16.8%になっている。女子の方が男子よりも図書館をよく利用する傾向がある。男女とも図書館をほとんど利用しない学生は少数派ではあるが、女子で5人に1人、男子で4人に1人は図書館をほとんど利用していないことがわかる。

	2002年度	2003年度	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度
1 ほとんど毎日利用する	8.3%	25.6%	27.0%	35.0%	31.2%	43.8%	35.1%	32.1%	30.8%	29.4%
2 週に数度は利用する	30.1%	36.6%	38.8%	29.8%	37.9%	29.1%	39.3%	31.1%	40.2%	36.1%
3 週に1、2度は利用する	20.3%	11.0%	11.5%	12.0%	12.6%	10.0%	8.8%	15.2%	11.2%	14.8%
4 たまに利用する	33.1%	19.9%	17.8%	17.5%	12.6%	14.3%	14.1%	13.9%	13.9%	14.8%
5 めったに利用しない	7.5%	6.1%	3.6%	5.5%	5.7%	2.8%	2.7%	7.4%	3.3%	3.9%
6 行ったことがない	0.8%	0.8%	1.3%	0.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.3%	0.6%	0.9%

	2011全体	全体女子	全体男子	2年全体	2年女子	2年男子	3年全体	3年女子	3年男子	4年全体	4年女子	4年男子
1 ほとんど毎日利用する	29.4%	28.2%	31.0%	33.0%	30.8%	36.0%	26.9%	28.3%	25.0%	28.2%	24.2%	34.1%
2 週に数度は利用する	36.1%	42.6%	27.5%	35.7%	40.0%	30.0%	37.6%	47.2%	25.0%	35.5%	42.4%	25.0%
3 週に1、2度は利用する	14.8%	14.4%	15.5%	10.4%	12.3%	8.0%	15.1%	11.3%	20.0%	19.1%	19.7%	18.2%
4 たまに利用する	14.8%	13.3%	16.3%	18.3%	16.9%	20.0%	12.9%	11.3%	15.0%	12.7%	12.1%	13.6%
5 めったに利用しない	3.9%	1.6%	7.0%	2.6%	0.0%	6.0%	4.3%	1.9%	7.5%	4.5%	1.5%	9.1%
6 行ったことがない	0.9%	0.0%	2.1%	0.0%	0.0%	0.0%	3.2%	0.0%	7.5%	0.0%	0.0%	0.0%

「図書館では何をすることが一番多いですか？（設問29）」では、「2）予習、復習」が54.1%でもっとも高く、次いで「1）図書の閲覧、貸し出し、読書」が27.5%になっており、過半数の学生は授業の合間や授業後に勉強する場所として図書館を利用していることが分かる。「3）新聞、雑誌などを閲覧する」は8.5%で、あまり新聞を読む学生は多くないようである。「4）ビデオをみる」は3.6%で、視聴覚メディアを利用する学生も多くないようである。(2)については2003年度と2005年度以外は50%を超えており、2011年度も例年とほぼ同様の値である。(1)については年度ごとに高くなる傾向があり、2011年度は2010年度に次いでこれまでで2番目に高い値になっている。

学年・男女別の回答内訳では、(2)については、学年間の比較では、大学2年生が59.5%、大学3年生が53.8%、大学4年生が50.5%で、大学2年生が大学3年生、大学4年生よりも高い値を示している。男女間の比較では、女子は大学2年生が62.1%、大学3年生が52.7%、大学4年生が52.3%で、大学2年生が大学3年生、大学4年生よりも10%ほど高い値を示している。男子では大学2年生が56.0%、大学3年生が55.3%、大学4年生が47.7%で、大学4年生が大学2年生、大学3年生よりも低い値を示している。大学2年生と大学4年生では女子の方が男子よりも値が高いが、大学3年生では男子の方が女子よりも値が高い。大学4年生男子以外は50%以上、特に大学2年生女子は60%以上が、図書館を予習・復習をする場所として利用している。

(1)については、学年間の比較では、大学2年生が21.6%、大学3年生が30.1%、大学4年生が32.1%で、大学2年生が大学3年生、大学4年生よりも低い値を示している。男女間の比較では、女子では大学2年生が19.7%、大学3年生が30.9%、大学4年生が36.9%で、学年ごとに値が高くなっている。男子では大学2年生が24.0%、大学3年生が28.9%、大学4年生が25.0%で、大学3年生が大学2年生、大学4年生よりやや高い値を示している。大学2年生では女子より男子の方が値が高く、大学3年生では女子と男子はほぼ同じ値で、大学4年生では女子の方が男子よりも高い値を示している。大学2年生女子は主に図書館を予習・復習をする場所として使う者が多い分、図書館を主に図書の閲覧・貸出・読書のために使う者が少ないが、大学4年生男子は図書館を主に新聞雑誌の閲覧のために使う者が多い分(18.2%)、図書館を主に図書の閲覧・貸出・読書のために使う者が少ないという結果になっているようである。学生は前学年での図書館の利用経験を基にして回答しているので、専門科目の授業をすでに履修している大学3年生、大学4年生の方が、まだ語学・教養科目しか履修してい

ない大学2年生よりも図書の利用が増えることが期待されるが、大学3年生女子はほぼ期待されるパターンを示しているのに対し、男子は大学3年生、大学4年生でそれほど図書利用が伸びていない。

設問29. 図書館では何をすることが一番多いですか？

	2002年度	2003年度	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度
1 図書の閲覧、貸し出し、読書	15.9%	12.3%	17.7%	16.7%	19.8%	22.3%	20.7%	27.1%	30.2%	27.5%
2 予習、復習	53.0%	45.9%	52.8%	48.5%	52.8%	58.2%	66.8%	56.6%	57.4%	54.1%
3 新聞、雑誌などを閲覧する	22.0%	16.4%	12.1%	13.4%	11.3%	6.4%	4.7%	5.1%	5.2%	8.5%
4 ビデオをみる	1.5%	15.6%	8.2%	10.7%	6.3%	2.8%	2.0%	4.4%	4.0%	3.6%
5 その他	7.6%	9.8%	9.2%	10.7%	9.7%	10.4%	5.9%	6.8%	3.1%	6.3%

設問29. 図書館では何をすることが一番多いですか？

	2011全体	全体女子	全体男子	2年全体	2年女子	2年男子	3年全体	3年女子	3年男子	4年全体	4年女子	4年男子
1 図書の閲覧、貸し出し、読書	27.5%	28.8%	25.7%	21.6%	19.7%	24.0%	30.1%	30.9%	28.9%	32.1%	36.9%	25.0%
2 予習、復習	54.1%	56.0%	51.4%	59.5%	62.1%	56.0%	53.8%	52.7%	55.3%	50.5%	52.3%	47.7%
3 新聞、雑誌などを閲覧する	8.5%	6.8%	10.7%	9.5%	9.1%	10.0%	7.5%	10.9%	2.6%	8.3%	1.5%	18.2%
4 ビデオをみる	3.6%	3.7%	3.6%	3.4%	4.5%	2.0%	4.3%	3.6%	5.3%	1.8%	3.1%	0.0%
5 その他	6.3%	4.7%	8.6%	6.0%	4.5%	8.0%	4.3%	1.8%	7.9%	7.3%	6.2%	9.1%

「メディアセンターの自習室はどのくらい利用しますか？（設問30）」では、「1）よく足を運ぶ」、「2）ときどき行く」が合わせて41.6%、「3）あまり行かない」、「4）めったに行かない」、「5）行ったことがない」が合わせて58.5%であった。特に（4）と（5）だけでも40.8%で、学生の4割がメディアセンターの自習室をほとんど利用していないということが分かる。積極的に利用しているのは（1）の10.5%に留まる。メディアセンター自習室があまり利用されていないことは残念であるが、収容人数が限られていることや、自習室で利用可能な学習資料や音声・映像・情報機器が種類・数ともに限られていることが制約になっているのではないと思われる。それでも、経年変化を見ると、（1）、（2）の合計は年度ごとに高くなっており、2011年度はこれまででもっとも高い値になっている。過年度に比べると自習室はよりよく使われているようである。

学年・男女別の回答内訳では、（1）、（2）の合計は学年ごとに高くなり、大学2年生が33.6%、大学3年生が44.2%、大学4年生が47.2%になっている。また、2年生と3年生では（1）、（2）の合計は女子の方が男子よりも高い値を示しているが、4年生では男子の方が女子よりも高い値を示している。

設問30. メディアセンターの自習室はどのくらい利用しますか？

	2002年度	2003年度	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度
1 よく足を運ぶ	6.8%	9.3%	6.9%	6.4%	6.9%	6.7%	10.2%	7.1%	7.0%	10.5%
2 ときどき行く	20.5%	20.6%	20.3%	24.6%	18.4%	19.8%	21.2%	26.6%	29.5%	31.1%
3 あまり行かない	20.5%	20.2%	18.0%	19.6%	16.6%	17.9%	17.8%	20.9%	26.7%	17.7%
4 めったに行かない	29.5%	27.5%	32.5%	31.8%	34.4%	32.9%	27.3%	25.6%	19.5%	21.9%
5 行ったことがない22	22.7%	22.3%	22.3%	17.7%	23.8%	22.6%	23.5%	19.9%	17.3%	18.9%

設問30. メディアセンターの自習室はどのくらい利用しますか？

	2011全体	全体女子	全体男子	2年全体	2年女子	2年男子	3年全体	3年女子	3年男子	4年全体	4年女子	4年男子
1 よく足を運ぶ	10.5%	9.4%	12.0%	5.2%	4.5%	6.0%	12.6%	12.6%	17.5%	14.5%	13.6%	15.9%
2 ときどき行く	31.1%	34.4%	26.8%	28.4%	33.3%	22.0%	31.6%	31.6%	22.5%	32.7%	31.8%	34.1%
3 あまり行かない	17.7%	19.8%	14.8%	19.8%	22.7%	16.0%	14.7%	14.7%	17.5%	20.0%	24.2%	13.6%
4 めったに行かない	21.9%	19.3%	25.4%	24.1%	24.2%	24.0%	21.1%	21.1%	25.0%	21.8%	16.7%	29.5%
5 行ったことがない22	18.9%	17.2%	21.1%	22.4%	15.2%	32.0%	20.0%	20.0%	17.5%	10.9%	13.6%	6.8%

「メディアセンターで、インターネット、e-mailをどのくらい利用しますか？（設問31）」では、「1）良く利用する」、「2）ときどき利用する」が合わせて43.7%、「3）あまり利用しない」、「4）めったに利用しない」、「5）利用したことがない」が合わせて56.2%になって

おり、インターネットや e-mail を利用している学生は全体の 40%程度であることがわかる。(1)、(2)の合計は 2002 年度の調査開始以来、年度ごとに低くなる傾向があるが、2011 年度は 2010 年度よりやや高くなっている。メディアセンターでの e-mail の利用が減少しているのは、携帯電話の機能向上により、大きな不自由なく e-mail の送受信ができるようになり、e-mail の通信にはほとんど携帯電話を用いる学生が多くなったことや、アンペロス寮やアパートでのブロードバンド接続ができるようになったため、大学でネットワーク環境を利用する必要性が減少したことなどが理由ではないかと思われる。

学年・男女別の回答内訳では、(1)、(2)の合計は学年ごとに高くなり、大学 2 年生が 35.1%、大学 3 年生が 45.7%、大学 4 年生が 52.8%になっている。全学年で(1)、(2)の合計は女子の方が男子よりも高く、特に大学 3 年生、大学 4 年生で差が大きい。学年ごとに値が高くなるのは、就職活動などのために、キャンパスにいるときにインターネットを利用しなければならないことが多くなることが一つの原因と考えられるが、若い学年ほど寮やアパートでインターネットを利用できる環境が整っており、メディアセンターを利用する必要がない学生の割合が高いのかもしれない。

設問31. メディアセンターで、インターネット、e-mailをどのくらい利用しますか？

	2002年度	2003年度	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度
1 よく利用する	24.6%	33.2%	31.4%	24.8%	17.6%	17.5%	15.5%	10.5%	10.6%	11.2%
2 ときどき利用する	40.3%	28.3%	31.0%	32.0%	34.8%	30.6%	26.9%	28.0%	29.1%	32.5%
3 あまり利用しない	7.5%	8.1%	12.7%	13.2%	12.5%	13.9%	15.5%	15.5%	21.8%	18.2%
4 めったに利用しない	14.9%	18.6%	15.7%	19.0%	18.8%	17.1%	18.9%	20.9%	14.8%	17.3%
5 利用したことがない	12.7%	11.7%	9.2%	11.0%	16.3%	21.0%	23.1%	25.0%	23.6%	20.7%

設問31. メディアセンターで、インターネット、e-mailをどのくらい利用しますか？

	2011全体	全体女子	全体男子	2年全体	2年女子	2年男子	3年全体	3年女子	3年男子	4年全体	4年女子	4年男子
1 よく利用する	11.2%	11.1%	11.4%	7.9%	7.7%	8.2%	9.8%	9.4%	10.3%	15.5%	15.2%	15.9%
2 ときどき利用する	32.5%	37.6%	25.7%	27.2%	29.2%	24.5%	35.9%	41.5%	28.2%	37.3%	42.4%	29.5%
3 あまり利用しない	18.2%	16.9%	20.0%	15.8%	16.9%	14.3%	16.3%	11.3%	23.1%	20.0%	19.7%	20.5%
4 めったに利用しない	17.3%	17.5%	17.1%	20.2%	20.0%	20.4%	17.4%	15.1%	20.5%	14.5%	18.2%	9.1%
5 利用したことがない	20.7%	16.9%	25.7%	28.9%	26.2%	32.7%	20.7%	22.6%	17.9%	12.7%	4.5%	25.0%

I. キャリア支援室の利用（設問 32）

「キャリア支援室へは、どのくらいの頻度で行きますか？（設問 32）」では、「1）よく足を運ぶ」、「2）ときどき行く」が合わせて 39.1%、「3）あまり行かない」、「4）めったに行かない」、「5）行ったことがない」が合わせて 60.9%になっている。(1)、(2)の合計は、大学 2 年生から 4 年生までがそろった 2004 年度以降は 20%台前半から 20%台後半で推移してきているが、2011 年度は初めて 30%台に達し、しかも 40%近い値になっている。キャリア支援室の利用は就職活動を行っている大学 3 年生（4 月の調査時点での大学 4 年生）によるものがほとんどであるため、学年別データが提供されている 2005 年度以降の調査での大学 4 年生のみの回答の経年変化を見ると、(1)、(2)の合計は 2005 年度が 28.9%、2006 年度が 37.6%、2007 年度が 48.9%、2008 年度が 52.2%、2009 年度が 37.1%、2010 年度が 38.9%、2011 年度が 51.8%になっている。2008 年度までは年度ごとに前年度より利用が大きく伸びてきていたことが分かるが、2009 年度はキャリア支援室を利用する大学 3 年生（4 月の調査時点での大学 4 年生）の割合が 2007 年度、2008 年度よりもかなり低くなり、2010 年度でも多少回復してはいるものの、2006 年度のレベルになっていた。2011 年度は、2008 年度のレベルまで回復して、これまでで 2 番目に高い値になっている。

学年・男女別の回答内訳では、(1)、(2)の合計は大学 2 年生が 25.8%、大学 3 年生が 42.0%、大学 4 年生は 51.8%で、キャリア支援室を利用する学生は前年度の大学 3 年生（4 月の調査時点での大学 4 年生）が多いが、前年度の大学 2 年生（4 月の調査時点での大学 3 年生）の 40%以上が利用していることが分かる。大学 4 年生では、(1)、(2)の合計が、女子では 51.6%、男子では 52.3%であり、2010 年度の女子 34.7%、男子 46.2 に比べて女子、男子ともに利用が伸びており、特に女子の利用が改善していることがわかる。しかしながら、男子でさえ、キャリア支援室を利用している学生は半数に留まっており、さらなる改善が望まれる。就職活動結果の大勢は大学 3 年次秋学期で決まるので、大学 3 年生アドバイザーは特に学生に対してキャリア支援室を積極的に利用するように指導すべきである。

設問32. キャリア支援室へは、どのくらいの頻度で行きますか？

	2002年度	2003年度	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度
1 よく足を運ぶ	0.0%	2.0%	6.2%	4.4%	3.5%	5.6%	8.0%	11.0%	8.2%	12.0%
2 ときどき行く	2.2%	7.3%	17.0%	14.3%	16.0%	15.9%	19.0%	14.8%	20.7%	27.1%
3 あまり行かない	8.2%	10.5%	17.7%	18.2%	19.2%	13.5%	14.4%	17.2%	21.6%	18.1%
4 めったに行かない	19.4%	19.4%	18.7%	20.4%	27.0%	14.3%	13.7%	16.5%	19.8%	19.3%
5 行ったことがない	70.1%	60.7%	41.0%	42.7%	34.3%	50.6%	44.9%	40.5%	29.8%	23.5%

設問32. キャリア支援室へは、どのくらいの頻度で行きますか？（4年生の回答のみ）

	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度
1 よく足を運ぶ	9.5%	8.0%	19.8%	18.3%	17.1%	13.9%	22.7%
2 ときどき行く	29.4%	29.6%	29.1%	33.9%	20.0%	25.0%	29.1%
3 あまり行かない	25.4%	26.4%	33.7%	21.1%	26.4%	25.0%	22.7%
4 めったに行かない	18.3%	22.4%	14.0%	15.6%	18.6%	23.6%	16.4%
5 行ったことがない	17.5%	13.6%	3.5%	11.0%	17.9%	12.5%	9.1%

設問32. キャリア支援室へは、どのくらいの頻度で行きますか？

	2011全体	全体女子	全体男子	2年全体	2年女子	2年男子	3年全体	3年女子	3年男子	4年全体	4年女子	4年男子
1 よく足を運ぶ	12.0%	14.7%	8.5%	3.4%	6.1%	0.0%	10.8%	11.3%	10.0%	22.7%	25.8%	18.2%
2 ときどき行く	27.1%	25.3%	29.6%	22.4%	24.2%	20.0%	31.2%	26.4%	37.5%	29.1%	25.8%	34.1%
3 あまり行かない	18.1%	18.4%	17.6%	16.4%	13.6%	20.0%	16.1%	20.8%	10.0%	22.7%	21.2%	25.0%
4 めったに行かない	19.3%	22.1%	15.5%	23.3%	30.3%	14.0%	18.3%	17.0%	20.0%	16.4%	19.7%	11.4%
5 行ったことがない	23.5%	19.5%	28.9%	34.5%	25.8%	46.0%	23.7%	24.5%	22.5%	9.1%	7.6%	11.4%

J. 掲示板・学生要覧について（設問 33、34）

「掲示板について（設問 33）」では、「1）毎日くまなく見る」が 24.8%、「2）毎日決まったところだけは見る」が 23.6%、「3）学校に来たときには見る」が 37.8%、「4）週に何度かは見る」が 9.7%で、掲示板をすべて毎日確認する学生は 4 人に 1 人になっているが、自分に関係のありそうな掲示については少なくとも 1 週間に 1 度は確認する学生が 90%以上になっている。(1)は 2010 年度よりやや低くなったが、2003 年度以降、20%台前半で推移してきているので、ほぼ例年と同様の値である。また、「5）あまり見ない」、「6）ほとんど見ない」は合わせて 4.2%で、例年とほぼ同様の値である。

学年・男女別の回答内訳では、(1)については大学 2 年生が 19.0%、大学 3 年生が 29.0%、大学 4 年生が 24.8%になっており、大学 3 年生については他の学年よりも比較的多くの学生が掲示板を毎日すべて確認しているようであるが、それでも 3 割に達していない。大学 2 年生については、毎日すべて確認している学生は 5 人に 1 人、大学 4 年生については 4 人に 1 人ぐらいしかいない。(5)、(6)の合計は大学 2 年生が 5.1%、大学 3 年生が 2.2%、大学 4 年生が 4.6%になっており、(1)とは逆のパターンで、ほとんど掲示板を見ない学生は大学 3 年生よりも大学 2 年生、4 年生に多い。それぞれの学年の回答は前年度の掲示板確認の実態を反映した回答と思われるが、大学初年次の 1 年生（4 月調査時点での大学 2 年生）や就職活動を始める大学 3 年生（4 月調査時点での大学 4 年生）があまり掲示板を確認していないのは問題がある。大学 1 年生については、新入生オリエンテーションだけでなく基礎演習の授業などを通して、掲示板を確認するよう頻繁に指導していく必要がある。大学 3 年生についても、学年・学期開始時のオリエンテーションやキャリアプランニングの授業などを通して、頻繁に指導を繰り返す必要があると思われる。

設問 33. 掲示板について

	2002年度	2003年度	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度
1 毎日くまなく見る	14.9%	24.3%	24.8%	22.3%	20.1%	21.5%	22.9%	23.8%	29.6%	24.8%
2 毎日決まったところだけは見る	18.7%	21.1%	22.9%	23.1%	23.2%	29.1%	21.4%	20.1%	22.9%	23.6%
3 学校に来たときには見る	45.5%	42.1%	41.8%	42.1%	38.6%	31.1%	34.7%	36.2%	31.4%	37.8%
4 週に何度かは見る	14.2%	8.9%	6.2%	8.0%	11.9%	14.3%	14.1%	14.4%	10.4%	9.7%
5 あまり見ない	5.2%	2.4%	2.6%	3.6%	5.3%	3.6%	4.6%	3.4%	4.3%	3.3%
6 ほとんど見ない	1.5%	1.2%	1.6%	0.8%	0.9%	0.4%	2.3%	2.0%	1.5%	0.9%

設問 33. 掲示板について

	2011全体	全体女子	全体男子	2年全体	2年女子	2年男子	3年全体	3年女子	3年男子	4年全体	4年女子	4年男子
1 毎日くまなく見る	24.8%	26.5%	22.5%	19.0%	18.2%	20.0%	29.0%	34.0%	22.5%	24.8%	26.2%	22.7%
2 毎日決まったところだけは見る	23.6%	23.8%	23.2%	22.4%	18.2%	28.0%	24.7%	26.4%	22.5%	25.7%	27.7%	22.7%
3 学校に来たときには見る	37.8%	39.7%	35.2%	43.1%	50.0%	34.0%	31.2%	30.2%	32.5%	38.5%	38.5%	38.6%
4 週に何度かは見る	9.7%	7.4%	12.7%	10.3%	10.6%	10.0%	12.9%	9.4%	17.5%	6.4%	3.1%	11.4%
5 あまり見ない	3.3%	2.6%	4.2%	3.4%	3.0%	4.0%	2.2%	0.0%	5.0%	3.7%	4.6%	2.3%
6 ほとんど見ない	0.9%	0.0%	2.1%	1.7%	0.0%	4.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.9%	0.0%	2.3%

「学生要覧について（設問 34）」では、「1）よく参考にする」が 13.3%、「2）必要なときには参考にする」が 47.1%、「3）ときおり参考にする」が 27.5%、「4）まったくみない」が 12.1%で、87.9%の学生は、自分に関係のある事項については学生要覧を読んで確認するようである。2003 年度以降、例年(1)、(2)、(3)の合計は 90%前後、(4)は 10%前後で推移しており、本年度もほぼ例年と同様の値である。

学年・男女別の回答内訳では、(4)については大学2年生が10.3%、大学3年生が10.8%、大学4年生が14.7%で、大学4年生では大学2年生、大学3年生よりも学生便覧を見ない学生の割合がやや高くなっている。大学2年生、大学4年生については、女子よりも男子で学生便覧を読まない学生の割合が高いが、大学3年生については、女子と男子の差はわずかで、女子において男子よりも学生便覧を読まない学生の割合が高い。学生便覧をよく利用する学生(回答(1))は大学3年生、大学4年生に多く、男女間での差は小さいが、大学2年生では女子の方が男子よりもかなり低い値を示している。

	2002年度	2003年度	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度
1 よく参考にする	2.3%	6.5%	8.5%	11.6%	8.8%	11.6%	11.1%	11.4%	16.7%	13.3%
2 必要なときには参考にする	48.1%	63.0%	58.8%	55.4%	59.1%	49.0%	59.9%	50.7%	50.6%	47.1%
3 ときおり参考にする	33.1%	21.5%	24.5%	23.5%	19.8%	29.3%	21.0%	27.6%	23.8%	27.5%
4 まったくみない	16.5%	8.9%	8.2%	9.4%	12.3%	10.0%	8.0%	10.3%	9.0%	12.1%

	2011全体	全体女子	全体男子	2年全体	2年女子	2年男子	3年全体	3年女子	3年男子	4年全体	4年女子	4年男子
1 よく参考にする	13.3%	12.1%	14.9%	7.8%	4.5%	12.0%	15.1%	14.8%	15.4%	16.5%	16.9%	15.9%
2 必要なときには参考にする	47.1%	55.3%	36.2%	47.4%	60.6%	30.0%	46.2%	46.3%	46.2%	46.8%	56.9%	31.8%
3 ときおり参考にする	27.5%	21.6%	35.5%	34.5%	25.8%	46.0%	28.0%	27.8%	28.2%	22.0%	13.8%	34.1%
4 まったくみない	12.1%	11.1%	13.5%	10.3%	9.1%	12.0%	10.8%	11.1%	10.3%	14.7%	12.3%	18.2%

K. 職業観・進路・理想的な生き方 (設問 35~38)

「あなたの職業観にもっともよくあてはまると思われる項目を、以下の選択肢の中から一つ選んで回答してください。(設問 35)」では、「3) 大学で学んだことを生かせる職業を選びたい」が33.4%でもっとも高く、次いで、「1) 収入が少なくても興味の持てる仕事より、興味が持てなくても収入の多い仕事を選びたい」が26.7%、「2) 収入や知名度などよりも、社会への貢献性を重視して職業を選びたい」は19.9%であった。(3)は2002年度以来、毎年1位の回答であるが、2011年度は2004年度、2010年度の値を下回って、これまででもっとも低い値になっている。これに対し、(1)は2010年度の26.4%を上回って、これまででもっとも高い値になっている。(2)は2004年度以降、2009年度以外は10%台後半から20%台前半で推移してきており、2011年度も例年とほぼ同様の値である。「5) これからの社会は学歴よりも実力だと思う」は、2007年度以外は2010年度まで10%台後半から20%台前半で推移してきたが、2010年度は10.1%となり、2011年度は初めて10%未満の8.9%となって、これまででもっとも低い値になっている。「4) やりたい仕事が見つかるまでは就職をしなくてもよい」は2010年度の5.4%から2011年度は11.0%に上昇し、2002年度の11.3%に次いで、これまでで2番目に高い値になっている。(3)がこれまででもっとも低い値、(1)がこれまででもっとも高い値を示しているところから、現在の経済状況を反映して、学生は、職種にこだわらず、安定した生活を営むことができる職業を選択しようとしていることが窺えるが、(4)が例年に比べて高い値を示していることから、厳しい就職状況を乗り越えようとするよりも、モラトリアムを求める方向に傾いている学生が増えてきているのではないかと思われる。注意すべき傾向である。

学年・男女別の回答内訳では、(3)については、2年生が48.2%、3年生が29.0%、4年生が23.1%になっており、大学2年生よりも大学3年生、4年生で値がかなり低くなっている。卒業が近づくとつれて、職業選択において学生が現実的になっているものと思われる。また、

大学2年生、3年生においては、女子の方が男子よりも高い値を示しているが、大学4年生では女子よりも男子の方が高い値を示している。女子の方が男子よりも語学を活かす職業を望む傾向が強いようであるが、大学4年生の女子では急激に値が低くなり、就職活動終了時期を目前にして、現実的な選択を優先し、かならずしも語学を活かす仕事にこだわらなくなっていることが推測できる。(1)については、大学2年生が17.9%、大学3年生が39.8%、大学4年生が24.1%になっており、大学3年生に収入を優先する現実的選択を行う学生が多いようである。(2)については、大学2年生が13.4%、大学3年生が16.1%、大学4年生が28.7%になっており、大学2年生、3年生よりも大学4年生の値がかなり高い。卒業時期が近づくと職業選択においてより現実的になることが予想されるが、2011年度の大学4年生は、予想に反して大学2年生、大学3年生よりも理想主義的な職業選択を行っているように見える。2010年度の16.7%と比較しても2011年度の28.7%の値は大幅な上昇であるが、特に2010年度は大学4年生女子が4.4%であったのに対し、2011年度は26.6%になっていることが大きな変化の原因となっている。(4)については、大学2年生が6.3%、大学3年生が8.6%、大学4年生が18.5%で、2010年度の大学2年生3.1%、大学3年生6.2%、大学4年生8.3%に比べて、全学年で高くなっており、特に大学4年生で値が高くなっている。学年ごとに値が高くなることから、(4)を回答した学生には、就職活動での困難を予期または経験して、卒業時期が近づくとつれてモラトリアムを求める者が増える傾向があると思われる。また、大学2年生、大学3年生では、女子と男子の差は小さいが、大学4年生では女子の方が男子よりもやや高い値を示している。2010年度では大学4年生女子2.2%、男子18.5%であり、2011年度の大学4年生女子の値が大幅に増えている。2011年度の大学4年生女子は、2010年度の大学4年生女子に比べて、卒業時の正規雇用の機会を逃すと、女子では男子に比べて正規雇用の機会がより少なくなるといふ危機感をあまり持っていないのかもしれない。

設問35. あなたの職業観にもっともよくあてはまると思われる項目を、以下の選択肢の中から一つ選んで回答してください。

		2002年度	2003年度	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度
1	収入が少なくても興味を持てる仕事より、興味 が持たなくても収入の多い仕事を選びたい	9.0%	5.3%	11.2%	10.7%	10.1%	12.4%	15.2%	18.9%	26.4%	26.7%
2	収入や知名度などよりも、社会への貢献性を重 視して職業を選びたい	6.0%	13.0%	18.1%	17.0%	18.9%	20.1%	22.0%	14.9%	21.8%	19.9%
3	大学で学んだことを生かせる職業を選びたい	52.6%	53.7%	36.5%	44.2%	45.7%	49.4%	40.2%	36.8%	36.5%	33.4%
4	やりたい仕事が見つかるまでは就職をしなくて もよい	11.3%	5.7%	6.9%	8.5%	7.6%	6.0%	5.3%	9.8%	5.2%	11.0%
5	これからの社会は学歴よりも実力だと思う	21.1%	22.4%	27.3%	19.5%	17.7%	12.0%	17.4%	19.6%	10.1%	8.9%

設問35. あなたの職業観にもっともよくあてはまると思われる項目を、以下の選択肢の中から一つ選んで回答してください。

		2011全体	全体女子	全体男子	2年全体	2年女子	2年男子	3年全体	3年女子	3年男子	4年全体	4年女子	4年男子
1	収入が少なくても興味を持てる仕事より、興味 が持たなくても収入の多い仕事を選びたい	26.7%	28.9%	23.7%	17.9%	18.5%	17.0%	39.8%	41.5%	37.5%	24.1%	28.1%	18.2%
2	収入や知名度などよりも、社会への貢献性を重 視して職業を選びたい	19.9%	15.5%	25.9%	13.4%	6.2%	23.4%	16.1%	13.2%	20.0%	28.7%	26.6%	31.8%
3	大学で学んだことを生かせる職業を選びたい	33.4%	35.8%	30.2%	48.2%	55.4%	38.3%	29.0%	34.0%	22.5%	23.1%	18.8%	29.5%
4	やりたい仕事が見つかるまでは就職をしなくて もよい	11.0%	11.2%	10.8%	6.3%	4.6%	8.5%	8.6%	9.4%	7.5%	18.5%	20.3%	15.9%
5	これからの社会は学歴よりも実力だと思う	8.9%	8.6%	9.4%	14.3%	15.4%	12.8%	6.5%	1.9%	12.5%	5.6%	6.3%	4.5%

「卒業後の進路について考えていますか? (設問36) では、「1) 考えている」が80.6%、「2) 考えていない」が19.4%になっている。4年生が調査対象に加わった2004年度以降では、2004年度に(1)が89.1%であったのを除いては、80%台前半で推移しており、2011年度も例年とほぼ同様の値である。

学年・男女別の回答内訳では、(1)については大学2年生が75.9%、大学3年生が77.5%、大学4年生が92.4%になっており、大学2年生、大学3年生に比べて大学4年生の値が高くなっている。また、全学年で女子の方が男子よりも高い値を示している。卒業が近づくとつ

れて進路について真剣に考える学生の割合が高くなっているが、女子の方が男子よりも進路について真剣に考えているようである。

	2002年度	2003年度	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度
1 考えている	71.8%	78.1%	89.1%	84.6%	82.1%	83.5%	80.5%	82.1%	82.3%	80.6%
2 考えていない	28.2%	21.5%	10.9%	15.4%	17.9%	16.5%	19.5%	17.9%	17.7%	19.4%

	2011全体	全体女子	全体男子	2年全体	2年女子	2年男子	3年全体	3年女子	3年男子	4年全体	4年女子	4年男子
1 考えている	80.6%	86.2%	73.2%	75.9%	82.8%	66.7%	77.5%	80.4%	73.7%	92.4%	96.7%	86.4%
2 考えていない	19.4%	13.8%	26.8%	24.1%	17.2%	33.3%	22.5%	19.6%	26.3%	7.6%	3.3%	13.6%

「36で『考えている』と答えた人は、具体的に次のなかから選んでください（設問37）」では、「1)企業への就職」が60.5%でもっとも高く、次いで「2)大学院への進学」が24.3%になっている。(1)については2008年度の78.4%と2010年度の56.6%を除いては60%台で推移してきており、2011年度は例年とほぼ同様の値である。(2)については、2005年度を除いて2008年度までは一桁台で推移していたが、2009年度では18.0%、2010年度では26.2%になり、急激に高くなった。2011年度も24.3%で、高い値を維持している。しかし、学生の現状では、現実的に大学院進学に向けて準備をしている学生はごくわずかしかないように思われる。企業就職が困難であるので単にモラトリアムを求めているだけなのかもしれない。

学年・男女別の回答内訳では、(1)については、大学2年生が59.4%、大学3年生が56.5%、大学4年生が68.0%になっており、(2)については、大学2年生が14.6%、大学3年生が34.1%、大学4年生が22.3%になっている。大学4年生が他学年よりも(1)では高い値、(2)では低い値を示しているのは、実際に就職活動を始めて現実的な進路選択を真剣に考えている結果であると思われる。大学3年生が大学2年生、4年生よりも(1)では低い値、(2)では高い値を示しているのは、企業就職の困難さを予想して、進学の実選択肢を考えた結果ではないかと思われる。アンケートでは進学の実選択肢を選んでいても、真剣に進学を考えている学生は少ないと思われる。また、(1)については、女子では大学2年生が63.8%、大学3年生が54.0%、大学4年生が60.9%、男子では大学2年生が52.6%、大学3年生が60.0%、大学4年生が79.5%で、女子の学年間の変化が50%台前半から60%台前半の範囲であるのに対し、男子では50%台前半から80%近くまで学年ごとに値が高くなっている。男子は卒業が近づいてから多くの者が企業就職を目指すようになる傾向があるようである。

	2002年度	2003年度	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度
1 企業への就職	62.4%	63.6%	66.7%	64.3%	65.2%	66.2%	78.4%	62.4%	56.6%	60.5%
2 大学院への進学	5.0%	4.1%	5.1%	12.1%	7.0%	7.3%	8.6%	18.0%	26.2%	24.3%
3 海外の大学、語学学校への留学	10.9%	10.3%	12.7%	6.1%	7.8%	8.7%	3.6%	6.7%	5.5%	4.7%
4 家業手伝い	1.0%	0.0%	0.7%	1.0%	0.0%	0.9%	0.9%	1.2%	2.1%	2.0%
5 その他	20.8%	22.1%	14.9%	16.6%	20.0%	16.9%	8.6%	11.8%	9.7%	8.4%

	2011全体	全体女子	全体男子	2年全体	2年女子	2年男子	3年全体	3年女子	3年男子	4年全体	4年女子	4年男子
1 企業への就職	60.5%	59.3%	62.2%	59.4%	63.8%	52.6%	56.5%	54.0%	60.0%	68.0%	60.9%	79.5%
2 大学院への進学	24.3%	26.0%	21.8%	14.6%	12.1%	18.4%	34.1%	36.0%	31.4%	22.3%	28.1%	12.8%
3 海外の大学、語学学校への留学	4.7%	5.1%	4.2%	9.4%	12.1%	5.3%	3.5%	2.0%	5.7%	1.9%	1.6%	2.6%
4 家業手伝い	2.0%	1.7%	2.5%	1.0%	1.7%	0.0%	2.4%	2.0%	2.9%	1.9%	1.6%	2.6%
5 その他	8.4%	7.9%	9.2%	15.6%	10.3%	23.7%	3.5%	6.0%	0.0%	5.8%	7.8%	2.6%

「理想的な生き方はどれですか？（設問38）」では、1)仕事も家庭も大切に、社会の役に立つ」が25.9%でもっとも高く、次いで「5)健康で毎日楽しい生活を送る」が15.4%、「7)自分自身を充実させる生き方をする」が12.7%、「2)何事にもベストを尽くす」が11.1%になっ

ている。(1)は2002年度を除いては例年選択肢中でもっとも高い値を示す回答で、(5)、(7)も多く、多くの年度で2番目または3番目に高い値を示す回答である。(1)については、年度ごとに値が高くなってきていたが、2011年度は2010年度よりもやや低い値になっている。(5)については、2009年に22.9%であったのを除いては、これまで10%台前半から半ばで推移してきており、2011年度も例年とほぼ同様の値である。(7)は2002年度に27.1%であったが、その後年度ごとに低くなる傾向があり、2006年度以降は10%台前半の値を示す年度が多く、2011年度も例年とほぼ同様の値である。「6)悔いのないよう、毎日を大切にする」は2007年度までは10%台前半から半ばであったが、2008年度以降は10%未満で推移している。

学年・男女別の回答内訳では、(1)については、大学2年生が25.5%、大学3年生が20.7%、大学4年生が30.9%になっており、大学4年生がもっとも高い値を示している。大学2年生、大学3年生では女子よりも男子の方が高い値を示しているが、大学4年生では女子の方が男子よりも高い値を示している。女子では大学2年生、大学3年生よりも大学4年生が高い値を示しており、男子では学年間で大きな差はない。女子は大学4年生になると、卒業を前にして、就職や卒業後の生活についての意識がそれまでとは変わってきているのではないかとと思われる。

(5)については、大学2年生が14.5%、大学3年生が13.0%、大学4年生が17.3%になっており、学年間では大きな差は見られないが、全学年で女子の方が男子よりもやや高い値を示している。全体でも、女子が16.9%、男子が13.3%で、男女間で意識の違いがある。女子は苦労や不安のない生活を希求する傾向があると思われる。

(7)については、大学2年生が11.8%、大学3年生が14.1%、大学4年生が13.6%になっており、大学2年生が大学3年生、大学4年生よりもやや低い値を示している。大学2年生では、女子よりも男子の方がやや高い値を示しているが、大学3年生、大学4年生では女子の方が男子よりもやや高い値を示している。全体では女子が13.2%、男子が11.9%で、女子の方が男子よりも高い値を示しているが、差はわずかである。女子の方が男子よりも自己充足を重視する傾向があるかもしれないが、差はほとんどない。

(1)、(5)、(7)の結果から、4年生になると女子の方が男子よりも家族の生活を守ることや社会貢献に意識を向け、苦痛・不安のない生活を送り、自分を満足させることを重視する傾向があるように思われる。

	2002年度	2003年度	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度
1 仕事も家庭も大切にし、社会の役に立つ	19.5%	23.4%	20.3%	20.4%	22.2%	23.7%	25.6%	27.4%	27.6%	25.9%
2 何事にもベストを尽くす	11.3%	8.2%	8.6%	5.8%	8.3%	8.0%	10.6%	8.9%	15.8%	11.1%
3 人間らしい自然な生き方をする	4.5%	4.9%	4.3%	5.8%	7.0%	5.6%	9.1%	6.5%	8.7%	10.5%
4 目標に向かって前進する	7.5%	8.2%	10.3%	12.1%	9.2%	12.4%	5.9%	8.9%	7.8%	10.8%
5 健康で毎日楽しい生活を送る	12.8%	13.5%	12.6%	17.9%	16.8%	14.1%	15.7%	22.9%	14.6%	15.4%
6 悔いのないよう、毎日を大切にする	13.5%	14.3%	15.6%	12.7%	11.4%	16.9%	9.4%	6.8%	7.1%	6.5%
7 自分自身を充実させる生き方をする	27.1%	19.7%	18.9%	18.5%	16.8%	13.3%	15.7%	12.0%	10.2%	12.7%
8 自己に忠実に信念をもった生き方をする	6.8%	7.0%	8.0%	5.2%	6.0%	5.6%	6.3%	5.1%	4.7%	3.4%
9 平凡な生き方をする	3.0%	0.8%	1.3%	1.7%	2.2%	0.4%	1.6%	1.4%	3.4%	3.7%

	2011全体	全体女子	全体男子	2年全体	2年女子	2年男子	3年全体	3年女子	3年男子	4年全体	4年女子	4年男子
1 仕事も家庭も大切にし、社会の役に立つ	25.9%	25.9%	25.9%	25.5%	23.1%	28.9%	20.7%	18.9%	23.1%	30.9%	33.3%	27.3%
2 何事にもベストを尽くす	11.1%	8.5%	14.8%	9.1%	10.8%	6.7%	12.0%	5.7%	20.5%	11.8%	9.1%	15.9%
3 人間らしい自然な生き方をする	10.5%	11.6%	8.9%	8.2%	7.7%	8.9%	15.2%	18.9%	10.3%	10.0%	10.6%	9.1%
4 目標に向かって前進する	10.8%	12.2%	8.9%	14.5%	18.5%	8.9%	10.9%	13.2%	7.7%	5.5%	3.0%	9.1%
5 健康で毎日楽しい生活を送る	15.4%	16.9%	13.3%	14.5%	15.4%	13.3%	13.0%	15.1%	10.3%	17.3%	19.7%	13.6%
6 悔いのないよう、毎日を大切にする	6.5%	7.4%	5.2%	7.3%	7.7%	6.7%	8.7%	11.3%	5.1%	4.5%	4.5%	4.5%
7 自分自身を充実させる生き方をする	12.7%	13.2%	11.9%	11.8%	10.8%	13.3%	14.1%	15.1%	12.8%	13.6%	15.2%	11.4%
8 自己に忠実に信念をもった生き方をする	3.4%	1.6%	5.9%	1.8%	1.5%	2.2%	3.3%	0.0%	7.7%	4.5%	3.0%	6.8%
9 平凡な生き方をする	3.7%	2.6%	5.2%	7.3%	4.6%	11.1%	2.2%	1.9%	2.6%	1.8%	1.5%	2.3%

II 学習について

A. 学習一般（設問 39～42）

「自分は学ぼうという意欲や気力があるか」という設問にたいする答えは、昨年とほぼ変わらないといっているだろう。男女・学年別で回答を見ると、女子は低い学年ほど高い意欲をもっており、学年が高くなるほど意欲が低いという傾向が見受けられる。男子は、4年生がやや高い意欲をもっているものの、女子に比べて学習意欲が低いようである。（設問 39）。

	2010 年度	2011 年度
当てはまる	64.3	63.7
どちらともいえない	28.3	28.4
当てはまらない	7.3	7.8
計	100	100

	2011 年度女子				2011 年度男子			
	1 年生	2 年生	3 年生	4 年生	1 年生	2 年生	3 年生	4 年生
当てはまる	100	73.8	72.0	59.0	50	59.1	48.6	64.3
どちらともいえない	0	23.0	20.0	34.4	25	31.8	40.5	26.2
当てはまらない	0	3.3	8.0	0	25	9.1	10.8	9.5
計	100	100	100	100	100	100	100	100

「自分の考えを他人に分かりやすく話すことができるか」との質問に「当てはまる」と答えた学生が、36.1%で、昨年より 6.1 ポイント減少した。自分の表現の応力に自信のない学生が増えたということについては、コミュニケーション能力の育成という観点から、憂慮すべき事である。ただ、男女・学年別では、1 年生男子が、この意思伝達能力に対してとくに自信をもっている点も指摘できる。このような自信を、いかに維持するかが課題となろう。（設問 40）。

	2010 年度	2011 年度
当てはまる	42.2	36.1
どちらともいえない	41.2	44.6
当てはまらない	16.6	19.3
計	100	100

設問 40. 自分の考えを他の人にわかりやすく話すことができる。(男女・学年別比較)								
	2011年度女子				2011年度男子			
	1年生	2年生	3年生	4年生	1年生	2年生	3年生	4年生
当てはまる	33.3	22.6	38.8	41.0	71.4	34.1	29.7	47.6
どちらともいえない	66.7	59.7	32.7	41.0	14.3	43.2	51.4	40.5
当てはまらない	0	17.7	28.6	18.0	14.3	22.7	18.9	11.9
計	100	100	100	100	100	100	100	100

「不明なこと、理解できないことを納得できるまで追及する」意欲は、やや減少している(3.9ポイント減)。今後、自ら調べ学んでいく能力を養成していくなら、憂慮すべき傾向である。男女別では男子の方が、探求意欲が高く、高い学年ほど強い意欲を有していることが見てとれる。

設問 41. 不明なこと、理解できないことを納得できるまで追及する。(昨年度との比較)		
	2010年度	2011年度
当てはまる	50.9	47.0
どちらともいえない	41.1	43.8
当てはまらない	7.9	9.2
計	100	100

設問 41. 不明なこと、理解できないことを納得できるまで追及する。(男女・学年別比較)								
	2011年度女子				2011年度男子			
	1年生	2年生	3年生	4年生	1年生	2年生	3年生	4年生
当てはまる	33.3	43.8	38.5	56.3	37.5	37.2	43.2	63.6
どちらともいえない	66.7	46.9	53.8	37.5	50.0	53.5	43.2	25.0
当てはまらない	0.0	9.4	7.7	6.3	12.5	9.3	13.5	11.4
計	100	100	100	100	100	100	100	100

「他人と協力しながら学習や作業を進めることができる」という問いについても、「当てはまる」と答えた学生が減少しており(5.4ポイント減)、協調性に関する意欲が後退している点が危惧される。男女・学年別のデータからは、とくに偏った傾向は見受けられず、全般に協力性に関する意欲が低下したのではないかと思われる。

設問 42. 他人と協力しながら学習や作業を進めることができる。(昨年度との比較)		
	2010年度	2011年度
当てはまる	66.1	60.7
どちらともいえない	27.8	31.3
当てはまらない	6.0	8.0
計	100	100

設問 42. 他人と協力しながら学習や作業を進めることができる。(男女・学年別比較)								
	2011年度女子				2011年度男子			
	1年生	2年生	3年生	4年生	1年生	2年生	3年生	4年生
当てはまる	66.7	64.1	64.7	59.4	62.5	55.8	51.4	65.1
どちらともいえない	33.3	31.3	29.4	39.1	12.5	27.9	37.8	23.3
当てはまらない	0.0	4.7	5.9	1.6	25.0	16.3	10.8	11.6
計	100	100	100	100	100	100	100	100

設問 44. 自分の欠点を自覚し、常に改善の努力を続ける(男女・学年別比較)								
	2011年度女子				2011年度男子			
	1年生	2年生	3年生	4年生	1年生	2年生	3年生	4年生
当てはまる	0.0	54.0	53.8	65.1	71.4	55.8	50.0	55.8
どちらともいえない	100.0	44.4	34.6	30.2	14.3	32.6	41.7	30.2
当てはまらない	0.0	1.6	11.5	4.8	14.3	11.6	8.3	14.0
計	100	100	100	100	100	100	100	100

B. 自己と他者（設問 43～44）

奉仕精神を問う設問に対する反応は、去年と大きな変化はみられない。理由は不明だが、男女ともに2年生に、奉仕精神に対する意識が低いという傾向が見られ、逆に1年生と4年生の意欲は高いようである。

	2010 年度	2011 年度
当てはまる	50.9	49.7
どちらともいえない	40.5	39.1
当てはまらない	8.5	11.2
計	100	100

	2011 年度女子				2011 年度男子			
	1 年生	2 年生	3 年生	4 年生	1 年生	2 年生	3 年生	4 年生
当てはまる	66.7	43.8	48.1	61.9	42.9	34.9	41.7	63.6
どちらともいえない	0.0	39.1	36.5	34.9	57.1	51.2	47.2	29.5
当てはまらない	33.3	17.2	15.4	3.2	0.0	14.0	11.1	6.8
計	100	100	100	100	100	100	100	100

自己の欠点を確認し、改善の努力をする意欲があるかという設問に対する答えは、去年から数字にあまり変化はなく、男女・学年別の数字も、1年生男子の意欲が比較的高い以外は、あまり偏差は見られない。

	2010 年度	2011 年度
当てはまる	55.6	56.1
どちらともいえない	39.7	35.8
当てはまらない	4.8	8.1
計	100	100

C. 知識と教養（設問 45～51）

設問 45「幅広い知識や教養を身につけようとしている」か、設問 46「物事を筋道立てて論理的に考察することができる」か、設問 47「自分の考えを文章を用いて正確に表現することができる」という問いについては、とくに目立った経年変化はみられない。

男女・学年別の偏差を見ても、設問 47 で、1・2年の女子に、自分の考えを文章を用いて表現する能力への自信のなさがうかがえることが指摘できるのみである。この1・2年の女子に対しては、とくに表現能力の訓練を考慮すべきかもしれない。

	2010 年度	2011 年度
当てはまる	63.3	64.4
どちらともいえない	29.4	29.8
当てはまらない	7.3	5.7
計	100	100

	2011 年度女子				2011 年度男子			
	1 年生	2 年生	3 年生	4 年生	1 年生	2 年生	3 年生	4 年生
当てはまる	33.3	60.9	69.2	68.8	57.1	65.9	51.4	70.5
どちらともいえない	33.3	32.8	26.9	28.1	42.9	25.0	45.9	20.5
当てはまらない	33.3	6.3	3.8	3.1	0.0	9.1	2.7	9.1
計	100	100	100	100	100	100	100	100

	2010 年度	2011 年度
当てはまる	42.6	44.7
どちらともいえない	42.0	40.6
当てはまらない	15.5	14.7
計	100	100

	2011 年度女子				2011 年度男子			
	1 年生	2 年生	3 年生	4 年生	1 年生	2 年生	3 年生	4 年生
当てはまる	33.3	25.0	40.0	42.9	50.0	43.2	63.9	68.2
どちらともいえない	66.7	53.1	36.0	49.2	50.0	38.6	25.0	25.0
当てはまらない	0.0	21.9	24.0	7.9	0.0	18.2	11.1	0.0
計	100	100	100	100	100	100	100	100

設問 47. 自分の考えを文章を用いて正確に表現することができる。(昨年度との比較)		
	2010 年度	2011 年度
当てはまる	39.2	38.8
どちらともいえない	44.9	43.3
当てはまらない	15.9	17.9
計	100	100

設問 47. 自分の考えを文章を用いて正確に表現することができる。(男女・学年別比較)								
	2011 年度女子				2011 年度男子			
	1 年生	2 年生	3 年生	4 年生	1 年生	2 年生	3 年生	4 年生
当てはまる	0.0	28.1	43.1	39.7	50.0	34.1	42.9	50.0
どちらともいえない	66.7	48.4	39.2	41.3	37.5	45.5	37.1	45.5
当てはまらない	33.3	23.4	17.6	19.0	12.5	20.5	20.0	4.5
計	100	100	100	100	100	100	100	100

設問 48 の答えからは、去年と比較して、学生の読書習慣が後退している傾向が、読み取れる。しかし、ここ 10 年の期間で見ると、去年の水準が飛び抜けて高いという点は考慮に入れなければならない。2002 年度、設問 48 に答えて「当てはまる」と答えた学生は 26.9% であり、その後小幅な増減を繰り返して、2009 年度の 33.9% から 2010 年度の 45.1% にはね上がったのである。昨年度だけ、なぜ急に数字がはね上がったのかは不明であるが、今後は今年度の水準を下回らないよう、読書習慣を身につけさせる指導を行うべきであろう。

設問 48. 書物を読む習慣が身についている。(昨年度との比較)		
	2010 年度	2011 年度
当てはまる	45.1	38.5
どちらともいえない	34.1	31.5
当てはまらない	20.8	29.9
計	100	100

設問 48. 書物を読む習慣が身についている。(男女・学年別比較)								
	2011 年度女子				2011 年度男子			
	1 年生	2 年生	3 年生	4 年生	1 年生	2 年生	3 年生	4 年生
当てはまる	33.3	23.4	42.0	37.5	37.5	36.4	45.9	54.5
どちらともいえない	0.0	35.9	28.0	32.8	50.0	31.8	27.0	29.5
当てはまらない	66.7	40.6	30.0	29.7	12.5	31.8	27.0	15.9
計	100	100	100	100	100	100	100	100

「すでに確立されている知見にとらわれず、自分の頭で考えることができる」という問いに対しては、「当てはまる」と答えた学生が大きく減少しており（8.7ポイント減）、自ら考える能力を養うという観点からすると、大変憂慮すべき傾向である。

設問 49. すでに確立されている知見にとらわれず、自分の頭で考えることができる。（昨年度との比較）		
	2010 年度	2011 年度
当てはまる	53.7	45.0
どちらともいえない	39.7	43.1
当てはまらない	6.7	11.8
計	100	100

設問 49. すでに確立されている知見にとらわれず、自分の頭で考えることができる。（男女・学年別比較）								
	2011 年度女子				2011 年度男子			
	1 年生	2 年生	3 年生	4 年生	1 年生	2 年生	3 年生	4 年生
当てはまる	33.3	34.9	43.1	50.0	37.5	32.6	48.6	65.9
どちらともいえない	66.7	49.2	39.2	45.3	50.0	55.8	40.5	22.7
当てはまらない	0.0	15.9	17.6	4.7	12.5	11.6	10.8	11.4
計	100	100	100	100	100	100	100	100

「パソコンなどの新しい機械の操作や新しい技術の習得」についての設問では、心理的な抵抗がないと答えた学生の割合が、やや減っている。微減ではあるが、この 10 年間、継続して増加してきた本項目が、減少に転じた点は、今後注意を要すると思われる。

設問 50. パソコンなどの新しい機械の操作や新しい技術の習得に心理的な抵抗がない。（昨年度との比較）		
	2010 年度	2011 年度
当てはまる	61.9	59.0
どちらともいえない	28.9	28.3
当てはまらない	9.2	12.7
計	100	100

設問 50. パソコンなどの新しい機械の操作や新しい技術の習得に心理的な抵抗がない。（男女・学年別比較）								
	2011 年度女子				2011 年度男子			
	1 年生	2 年生	3 年生	4 年生	1 年生	2 年生	3 年生	4 年生
当てはまる	33.3	54.7	60.8	54.7	50.0	68.2	62.2	61.4
どちらともいえない	33.3	25.0	27.5	34.4	37.5	25.0	24.3	29.5
当てはまらない	33.3	20.3	11.8	10.9	12.5	6.8	13.5	9.1
計	100	100	100	100	100	100	100	100

「社会問題に関心がある」かとの問いに対して、関心があると答えた学生の数は、2008年以降、毎年減少し続けている。ピーク時の2008年(65.1%)と比較して、2011年度(57.9%)は7.2ポイントの減少である。

設問 51. 社会問題に関心がある。(昨年度との比較)		
	2010年度	2011年度
当てはまる	58.6	57.9
どちらともいえない	36.9	33.1
当てはまらない	4.5	9.0
計	100	100

設問 51. 社会問題に関心がある。(男女・学年別比較)								
	2011年度女子				2011年度男子			
	1年生	2年生	3年生	4年生	1年生	2年生	3年生	4年生
当てはまる	0.0	50.0	50.0	65.1	85.7	54.5	63.9	65.9
どちらともいえない	100.0	37.5	40.0	31.7	14.3	31.8	27.8	25.0
当てはまらない	0.0	12.5	10.0	3.2	0.0	13.6	8.3	9.1
計	100	100	100	100	100	100	100	100

D. 授業選択（設問 52～58）

授業選択に関する設問では、学問的な興味があるか否かで授業選択しているかという問い（設問 52）に対する答えは、昨年度とほぼ変わらない。

「課題の量」（設問 53）、「単位の取りやすさ」（設問 54）、「先生の成績のつけ方」（設問 55）、「時間割の都合」（設問 56）といった、授業の内容と関係のない部分で授業選択している学生がどれも、かなり減少していることは、歓迎すべき傾向かもしれない。

しかし、「将来の仕事の役に立つか」（設問 57）、「先生の授業のやり方、教え方」（設問 58）といった、授業の内容に関係のある部分を重視するという答えも同時に減少している傾向をどう解釈すべきだろうか。

これは、授業の内容や手法などについては、自分ではほとんど何も考えずに、履修計画をたててしまっている学生が増えていることを意味しているのではないだろうか。

	2010 年度	2011 年度
重視する	76.7	77.5
どちらともいえない	19.5	17.7
重視しない	3.8	4.8
計	100	100

	2011 年度女子				2011 年度男子			
	1 年生	2 年生	3 年生	4 年生	1 年生	2 年生	3 年生	4 年生
重視する	100.0	90.5	75.5	79.7	100.0	70.5	70.3	65.9
どちらともいえない	0.0	7.9	14.3	18.8	0.0	22.7	24.3	27.3
重視しない	0.0	1.6	10.2	1.6	0.0	6.8	5.4	6.8
計	100	100	100	100	100	100	100	100

	2010 年度	2011 年度
重視する	58.6	51.8
どちらともいえない	32.2	34.7
重視しない	9.2	13.5
計	100	100

設問 53. 課題の量の多少。(男女・学年別比較)								
	2011年度女子				2011年度男子			
	1年生	2年生	3年生	4年生	1年生	2年生	3年生	4年生
重視する	66.7	51.6	60.0	54.0	75.0	29.5	60.0	50.0
どちらともいえない	33.3	34.4	34.0	36.5	12.5	43.2	28.6	34.1
重視しない	0.0	14.1	6.0	9.5	12.5	27.3	11.4	15.9
計	100	100	100	100	100	100	100	100

設問 54. 単位の取りやすさ。(昨年度との比較)		
	2010年度	2011年度
重視する	69.6	67.2
どちらともいえない	25.3	25.7
重視しない	5.1	7.1
計	100	100

設問 54. 単位の取りやすさ。(男女・学年別比較)								
	2011年度女子				2011年度男子			
	1年生	2年生	3年生	4年生	1年生	2年生	3年生	4年生
重視する	33.3	69.8	68.6	6.72	50.0	60.5	77.1	65.9
どちらともいえない	66.7	25.4	25.5	26.6	37.5	27.9	22.9	20.5
重視しない	0.0	4.8	5.9	6.3	12.5	11.6	0.0	13.6
計	100	100	100	100	100	100	100	100

設問 55. 先生の成績のつけ方(出席を加味する、レポートの提出がある等)。(昨年度との比較)		
	2010年度	2011年度
重視する	73.5	66.0
どちらともいえない	21.4	22.0
重視しない	5.1	12.0
計	100	100

設問 55. 先生の成績のつけ方(出席を加味する、レポートの提出がある等)。(男女・学年別比較)								
	2011年度女子				2011年度男子			
	1年生	2年生	3年生	4年生	1年生	2年生	3年生	4年生
重視する	100.0	65.1	69.4	74.6	50.0	48.8	66.7	68.2
どちらともいえない	0.0	23.8	18.4	20.6	37.5	27.9	19.4	20.5
重視しない	0.0	11.1	12.2	4.8	12.5	23.3	13.9	11.4
計	100	100	100	100	100	100	100	100

設問 56. 時間割の都合。(昨年度との比較)		
	2010 年度	2011 年度
重視する	81.4	76.4
どちらともいえない	15.0	15.4
重視しない	3.6	8.2
計	100	100

設問 56. 時間割の都合。(男女・学年別比較)								
	2011 年度女子				2011 年度男子			
	1 年生	2 年生	3 年生	4 年生	1 年生	2 年生	3 年生	4 年生
重視する	33.3	82.0	79.2	79.0	87.5	72.7	74.3	68.2
どちらともいえない	66.7	9.8	16.7	16.1	0.0	18.2	14.3	18.2
重視しない	0.0	8.2	4.2	4.8	12.5	9.1	11.4	13.6
計	100	100	100	100	100	100	100	100

設問 57. 将来の仕事に役に立つか。(昨年度との比較)		
	2010 年度	2011 年度
重視する	66.2	58.8
どちらともいえない	23.9	28.1
重視しない	9.8	13.1
計	100	100

設問 57. 将来の仕事に役に立つか。(男女・学年別比較)								
	2011 年度女子				2011 年度男子			
	1 年生	2 年生	3 年生	4 年生	1 年生	2 年生	3 年生	4 年生
重視する	66.7	65.0	58.0	58.1	50.0	63.6	58.3	48.8
どちらともいえない	33.3	28.3	28.0	29.0	12.5	25.0	33.3	27.9
重視しない	0.0	6.7	14.0	12.9	37.5	11.4	8.3	23.3
計	100	100	100	100	100	100	100	100

設問 58. 先生の授業のやり方、教え方。(昨年度との比較)		
	2010 年度	2011 年度
重視する	79.3	71.6
どちらともいえない	16.7	19.9
重視しない	3.9	8.5
計	100	100

設問 58. 先生の授業のやり方、教え方。(男女・学年別比較)								
	2011 年度女子				2011 年度男子			
	1 年生	2 年生	3 年生	4 年生	1 年生	2 年生	3 年生	4 年生
重視する	100.0	71.0	68.8	83.9	62.5	63.6	62.9	72.7
どちらともいえない	0.0	21.0	18.8	9.7	12.5	29.5	31.4	18.2
重視しない	0.0	8.1	12.5	6.5	25.0	6.8	5.7	9.1
計	100	100	100	100	100	100	100	100

E. 受講の実態 (設問 59~65)

受講の実態についてであるが、まず学生の授業満足度が、大きく減退していることは憂慮すべき傾向であり、満足していると答えた学生が、昨年度比で 4.6 ポイントも減少している。

設問 59. 授業には満足していますか。(昨年度との比較)		
	2010 年度	2011 年度
満足している	42.3	37.7
どちらともいえない	44.6	46.2
満足していない	13.1	16.1
計	100	100

設問 59. 授業には満足していますか。(男女・学年別比較)								
	2011 年度女子				2011 年度男子			
	1 年生	2 年生	3 年生	4 年生	1 年生	2 年生	3 年生	4 年生
満足している	66.7	44.3	43.8	41.9	28.6	25.0	27.8	36.4
どちらともいえない	33.3	44.3	41.7	41.9	71.4	54.5	52.8	43.2
満足していない	0.0	11.5	14.6	16.1	0.0	20.5	19.4	20.5
計	100	100	100	100	100	100	100	100

学生の授業に対する理解度 (設問 60)、授業で不明な点の解決の仕方 (設問 61) については、昨年度比で大きな変化はみられない。

設問 60. 授業の内容を理解していますか。(昨年度との比較)		
	2010 年度	2011 年度
理解している	50.0	52.3
どちらともいえない	43.4	41.8
理解していない	6.6	5.9
計	100	100

設問 60. 授業の内容を理解していますか。(男女・学年別比較)								
	2011年度女子				2011年度男子			
	1年生	2年生	3年生	4年生	1年生	2年生	3年生	4年生
理解している	66.7	56.7	51.0	53.2	25.0	54.5	52.8	47.7
どちらともいえない	33.3	43.3	44.9	40.3	62.5	40.9	36.1	40.9
理解していない	0.0	0.0	4.1	6.5	12.5	4.5	11.1	11.4
計	100	100	100	100	100	100	100	100

設問 61. 授業で不明な点はどのように解決していますか。(昨年度との比較)		
	2010年度	2011年度
教員に直接質問する	40.5	41.3
友人に質問して教えてもらう	44.2	42.6
参考書やインターネット、図書館等を利用して自分で調べる	12.6	12.9
わからないままにしておく	2.7	3.3
計	100	100

設問 61. 授業で不明な点はどのように解決していますか。(男女・学年別比較)								
	2011年度女子				2011年度男子			
	1年生	2年生	3年生	4年生	1年生	2年生	3年生	4年生
教員に直接質問する	0.0	44.1	46.0	37.7	37.5	34.9	41.7	45.5
友人に質問して教えてもらう	100.0	47.5	42.0	44.3	37.5	44.2	36.1	36.4
参考書やインターネット、図書館等を利用して自分で調べる	0.0	6.8	10.0	13.1	25.0	9.3	22.2	18.2
わからないままにしておく	0.0	1.7	2.0	4.9	0.0	11.6	0.0	0.0
計	100	100	100	100	100	100	100	100

授業の出席率に対する設問では、80%以上出席する学生の数が大きく落ち込んでおり、原因究明と何らかの対策が必要と思われる(設問 62)。

設問 62. 授業への出席率はどれくらいですか。(例: 80%なら⑤をマーク)。(昨年度との比較)		
	2010年度	2011年度
20%未満	11.9	12.8
20%以上 40%未満	9.2	11.8
40%以上 60%未満	5.9	7.2
60%以上 80%未満	12.2	15.4
80%以上	60.7	52.8

設問 62. 授業への出席率はどれくらいですか。(例：80%なら⑤をマーク)。(男女・学年別比較)								
	2011年度女子				2011年度男子			
	1年生	2年生	3年生	4年生	1年生	2年生	3年生	4年生
20%未満	0.0	9.8	16.0	14.8	0.0	6.8	26.5	9.1
20%以上 40%未満	0.0	11.5	16.0	9.8	28.6	9.1	11.8	11.4
40%以上 60%未満	33.3	4.9	6.0	6.6	14.3	9.1	8.8	6.8
60%以上 80%未満	0.0	6.6	20.0	16.4	28.6	13.6	20.6	18.2
80%以上	66.7	67.2	42.0	52.5	28.6	61.4	32.4	54.5

学生が、なぜ授業を欠席するかという原因は何だろうか。設問 63 の「授業の内容が難しすぎるから」という項目を選択した学生が増えていることから、学生の学力が低下し、授業についていけない学生がいることをうかがえる。また同時に、「授業の内容がやさしすぎるから」と答えた学生も増えていることも無視できない。学生の学力水準で、学力の極端に高い学生と低い学生の二極化が起こっているのではないだろうか。二極に分かれた学生それぞれに対応する授業内容を準備するなどの工夫が必要かもしれない。また「学ぶ意欲がわからないから」という、そもそもの学習動機づけが確立していないが区制が、昨年比で倍以上も増えていることにも留意したい。

設問 63. あなたが授業を欠席する主な理由は何ですか。(昨年度との比較)		
	2010年度	2011年度
授業の内容が難しすぎるから	10.6	12.3
授業の内容がやさしすぎるから	8.9	11.6
学ぶ意欲がわからないから	6.8	15.1
病気のため	40.1	2.8
アルバイトが忙しいから	2.1	3.1
朝寝坊のため	21.2	22.6
その他	10.3	6.5

設問 63. あなたが授業を欠席する主な理由は何ですか。(男女・学年別比較)								
	2011年度女子				2011年度男子			
	1年生	2年生	3年生	4年生	1年生	2年生	3年生	4年生
授業の内容が難しすぎるから	33.3	8.9	16.3	8.1	12.5	7.9	25.0	11.4
授業の内容がやさしすぎるから	33.3	7.1	14.3	12.9	12.5	7.9	9.4	15.9
学ぶ意欲がわからないから	0.0	10.7	10.2	12.9	12.5	18.4	25.0	20.5
病気のため	33.3	32.1	42.9	30.6	12.5	21.1	12.5	27.3
アルバイトが忙しいから	0.0	1.8	2.0	3.2	12.5	2.6	6.3	2.3
朝寝坊のため	0.0	28.6	12.2	24.2	25.0	28.9	21.9	20.5
その他	0.0	10.7	2.0	8.1	12.0	13.2	0.0	2.3

自宅学習の時間を問う設問からは、昨年と比べて、学生の自宅学習の時間が確実に減少していることがうかがえる（設問 64）。ただ、10年のスパンで見ると、昨年はとりわけ自宅学習の時間を多くとる学生が多かった年であったようで、今年の数字的な落ち込みが、とりわけ異常なわけではない。しかし、設問 63 からも自主的な学習の動機づけができていない学生が増加してきていることがうかがえるし、設問 65 からも、自主学習は授業の予習復習のみと答える学生が確実に増えている。何を課題として自宅で勉強に取り組んだらいいのかが分からない学生が増えているのは間違いない。本来、教員の指導がなくても、何を学ぶべきかを自ら選択できる学生が多いのが理想だが、自宅学習時間の減少という厳しい状況に対しては、教員側から課題を与えるなどすることが、今後ますます求められてくると思われる。

また、自主的な学習の内容として、「資格や将来のための自主的な勉強」と答える学生は、この 10 年間で絶え間なく増加していることには留意すべきであろう。教員から与える授業の課題だけでなく、資格取得も、自宅学習に対する一定の動機づけになっている点は、うまく利用すべきである。

設問 64. 自由時間には、1日どれくらい勉強していますか。（例＝2時間なら④をマーク）。（昨年度との比較）		
	2010年度	2011年度
0時間	13.2	18.2
1時間未満	32.6	35.4
1時間以上2時間未満	33.2	30.5
2時間以上3時間未満	13.5	12.3
3時間以上	7.6	3.6

設問 64. 自由時間には、1日どれくらい勉強していますか。（例＝2時間なら④をマーク）。（男女・学年別比較）								
	2011年度女子				2011年度男子			
	1年生	2年生	3年生	4年生	1年生	2年生	3年生	4年生
0時間	0.0	14.8	20.0	11.3	12.5	20.5	37.1	15.9
1時間未満	33.3	34.4	36.0	41.9	37.5	31.8	28.6	36.4
1時間以上2時間未満	0.0	32.8	30.0	30.6	37.5	31.8	28.6	27.3
2時間以上3時間未満	33.3	16.4	8.0	16.1	0.0	11.4	2.9	15.9
3時間以上	33.3	1.6	6.0	0.0	12.5	4.5	2.9	4.5

設問 65. 自由時間には、どのようなことを主に勉強していますか。（昨年度との比較）		
	2010年度	2011年度
授業の予習復習だけ	35.1	37.4
資格や将来のための自主的な勉強	32.8	33.8
授業のための自主的な勉強	10.9	9.5
授業のためとそれ以外の自主的な勉強	15.9	12.8
その他	5.3	6.6

設問 65. 自由時間には、どのようなことを主に勉強していますか。(男女・学年別比較)								
	2011年度女子				2011年度男子			
	1年生	2年生	3年生	4年生	1年生	2年生	3年生	4年生
授業の予習復習だけ	33.3	50.8	42.0	34.4	37.5	31.8	35.3	25.0
資格や将来のための自主的な勉強	33.3	16.4	32.0	45.9	37.5	43.2	29.4	36.4
授業のための自主的な勉強	33.3	13.1	12.0	4.9	12.5	4.5	11.8	9.1
授業のためとそれ以外の自主的な勉強	0.0	16.4	12.0	9.8	0.0	11.4	14.7	15.9
その他	0.0	3.3	2.0	4.9	12.5	9.1	8.8	13.6

F. コース選択 (設問 66~70)

学生が所属しているコースの授業の満足度は、昨年比で、かなり減退している。「コースの授業は自分の興味・関心にあっている」という設問に対して、当てはまると答えた学生が5.4ポイントも減少した(設問66)。これは10年スパンで見ると、飛び抜けて低い数字ではないが、今後更に減少することがないように注意せねばならない。

設問 66. コースの授業は自分の興味・関心にあっている。(昨年度との比較)		
	2010年度	2011年度
当てはまる	74.6	69.2
どちらともいえない	23.4	25.2
当てはまらない	2.0	5.6
計	100	100

設問 66. コースの授業は自分の興味・関心にあっている。(男女・学年別比較)								
	2011年度女子				2011年度男子			
	1年生	2年生	3年生	4年生	1年生	2年生	3年生	4年生
当てはまる	0.0	76.7	69.4	71.0	42.9	75.0	62.9	65.9
どちらともいえない	66.7	18.3	20.4	21.0	42.9	25.0	34.3	31.8
当てはまらない	33.3	5.0	10.2	8.1	14.3	0.0	2.9	2.3
計	100	100	100	100	100	100	100	100

コース選択によって、自分の能力を生かすことができるかという設問67に対しては、当てはまると答えた学生が、わずかに減少している(2.7ポイント減)。これは、調査が始まった当初、当てはまると答えた学生が3割・4割程度だったことを考えると、依然として高い水準を維持しているといえるが、今後さらに減少しないよう、留意する必要があるだろう。

設問 67. 自分の能力を生かすことができる。(昨年度との比較)		
	2010 年度	2011 年度
当てはまる	56.6	53.9
どちらともいえない	37.1	36.8
当てはまらない	6.3	9.2
計	100	100

設問 67. 自分の能力を生かすことができる。(男女・学年別比較)								
	2011 年度女子				2011 年度男子			
	1 年生	2 年生	3 年生	4 年生	1 年生	2 年生	3 年生	4 年生
当てはまる	0.0	53.3	51.0	56.5	57.1	54.5	48.6	61.4
どちらともいえない	100.0	30.0	34.7	41.9	28.6	36.4	42.9	34.1
当てはまらない	0.0	16.7	14.3	1.6	14.3	9.1	8.6	4.5
計	100	100	100	100	100	100	100	100

コースでの学習活動が、希望する職業に結びつきそうかという問いに対しては(設問 68)、当てはまるとの答えが微増(0.8ポイント増)であるのに対し、当てはまらないとの答えが、かなり増えている(5.4ポイント増)。10年スパンでは、今年程度の数字で増減を繰り返しているため、今年数字がとくに問題というほどでもないが、しかしやはり今後更に就職選択と授業の連関を意識させる工夫は必要であろう。

設問 68. 希望する職業につくことにむすびつきそうである。(昨年度との比較)		
	2010 年度	2011 年度
当てはまる	49.2	50.0
どちらともいえない	42.5	36.3
当てはまらない	8.3	13.7
計	100	100

設問 68. 希望する職業につくことにむすびつきそうである。(男女・学年別比較)								
	2011 年度女子				2011 年度男子			
	1 年生	2 年生	3 年生	4 年生	1 年生	2 年生	3 年生	4 年生
当てはまる	33.3	55.9	56.3	49.2	28.6	52.4	38.9	47.7
どちらともいえない	33.3	37.3	27.1	39.9	57.1	35.7	44.4	31.8
当てはまらない	33.3	6.8	16.7	11.5	14.3	11.9	16.7	20.5
計	100	100	100	100	100	100	100	100

コースの先生と気が合うかどうかという設問に対して(設問 69)、当てはまると答えた学生は昨年度比で7.5ポイントも減少している。しかしこれも2002年度から2008年度までは

2割・3割台の水準に留まっていたことを考えると、依然高い数字と評価できる。これも今後、減少傾向が進まないよう、教員と学生のコミュニケーションをはかる工夫をしていかなければならないだろう。

設問 69. そのコースの先生方と気が合う。(昨年度との比較)		
	2010 年度	2011 年度
当てはまる	55.5	48.0
どちらともいえない	38.5	42.2
当てはまらない	6.0	9.6
計	100	100

設問 69. そのコースの先生方と気が合う。(男女・学年別比較)								
	2011 年度女子				2011 年度男子			
	1 年生	2 年生	3 年生	4 年生	1 年生	2 年生	3 年生	4 年生
当てはまる	50.0	55.0	46.9	56.5	28.6	36.4	34.3	53.5
どちらともいえない	50.0	30.0	44.9	35.5	57.1	59.1	54.3	37.2
当てはまらない	0.0	15.0	8.2	8.1	14.3	4.5	11.4	9.3
計	100	100	100	100	100	100	100	100

クラスメートと気が合うかという設問に対しては(設問 70)、当てはまると答えた学生が 5.4 ポイントも減少した。これも 10 年スパンで見れば、依然高い水準を保っているとはいえる。学生同士の親睦をいかにして促進していくかというのは、学校としても対処が難しい問題ではあるが、円滑な学習活動を行うためにも、何らかの親睦活動を行うことを、常に考えていかなければならないだろう。

設問 70. クラスメート達と気が合う。(昨年度との比較)		
	2010 年度	2011 年度
当てはまる	67.2	61.8
どちらともいえない	27.6	32.4
当てはまらない	5.1	5.7
計	100	100

設問 70. クラスメート達と気が合う。(男女・学年別比較)								
	2011 年度女子				2011 年度男子			
	1 年生	2 年生	3 年生	4 年生	1 年生	2 年生	3 年生	4 年生
当てはまる	33.3	63.8	66.0	69.5	57.1	50.0	50.0	67.4
どちらともいえない	66.7	27.6	30.0	28.8	42.9	42.9	41.2	25.6
当てはまらない	0.0	8.6	4.0	1.7	0.0	7.1	8.8	7.0
計	100	100	100	100	100	100	100	100

III 学生生活と学習について（自由回答）

設問 71: 学生生活と学習について感じるものがあれば、別途記述欄に自由に書いてください。

設問 71 は、選択肢から回答を選ぶ形式では把握しにくい問題点や意見・要望を自由に記述させることで把握しようとするものである。

以下は「I 各年度別回答数統計表」「II 要望等の特性」の2点についての分析である。

A. 各年度別回答数統計表

1. アンケート対象者と回答総数の変化

この表は 2002～2011 年度の回答総数と、それを内容別に項目分けした回答数である。

項目等 \ 年度	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011
回答総数 (項目別回答数)	10	51	55	46	46	10	20	45	75	66
大学設備について	3	13	8	10	15	4	8	12	27	25
食堂・売店について	2	5	5	5	5	1	2	5	8	11
通学について	0	3	5	4	1	1	1	2	5	11
単位・授業について	4	24	28	16	10	2	5	11	9	14
進路について	1	1	4	2	0	0	1	1	2	0
その他	0	5	5	9	13	2	3	11	23	5
アンペロス寮について					2	0	0	3	1	0

2002 年度の回答総数が少ないのは、開学 2 年目で対象者が 2 年生のみであったためである。2003 年度は 2・3 年生が対象、2～4 年生がアンケートの対象となったのは 2004 年度以降である。また 2006 年度以降、寮についての項目を独立させたのは、その年度からアンペロス寮が本学直営となったからである。

2007 年度まで減少した回答総数が 2008 年度以降は増加に転じていたが、今年度は若干下がった。留学生の回答数が震災で減った影響があるかもしれない。

2. 項目別回答に見られる傾向

今年度回答数が増加したのは、「食堂・売店」、「通学について」と「単位・授業について」であり、授業自体というよりおおよそ学生生活周辺の要望が多数寄せられたといえる。一方、「進路について」と「アンペロス寮」の回答数が依然少ない水準である。これは別のアンケートなどで要望が寄せられているのかもしれない。

B. 要望等の特性（項目別回答内容の分析）

1. 大学設備について

- (1) エアコンについての要望は昨年度と比較すると減少している。（6→3）

これは震災による節電の影響もあるだろう。2011年度は館内で運用時間の設定や温度調整がなされ、ある程度管理されたであろうが、管理する側と実際に教室を使用する側の受け止め方の相違は致し方ないところもある。

全面的なエアコンの改修を行っているので、これが2012年度に成果として反映されるか待ちたい。
- (2) 2010年度に目立ったトイレについての要望は引き続き同程度あった。（4→4）

その内容もほぼ同じ（臭い・喫煙・カーテン）である。ラウンジのトイレについては、改修を機に改善された。また、トイレでの喫煙は火災感知器への影響を十分に周知徹底することは必要であろう。それ以外については、昨今の大学トイレ事情に鑑み、引き続きの課題となる。
- (3) 昨年度のメディアセンターへの要望は減少し（4→1）、PCの最新型導入のみであった。学習空間としてのメディアセンターの充実（利用時間延長・蔵書）に関する要望はなかった。日常的な利用者が今年度は回答を寄せていないのかもしれない。
- (4) 喫煙に関する意見・要望は増えた。（2→5）

特に2階コモンスペースが問題とされている。窓の開閉に関して張り紙をするなど周知をはかっているが、今年度も改善の要望が寄せられているということはその効果が出ていないということである。よって、以前からの懸案事項である2階コモンスペースの代替場所（喫煙BOX等）を確保することで改善をはかりたいと考えている。
- (5) 昨年度出されていたグラウンドに関する要望はなかったが、クラブハウス（3→1）や軽音楽部の練習スペース（1→4）に関しては要望があった。軽音楽部の練習スペースとクラブハウスの増設とは連動していると考えられるが、クラブハウスの利用頻度や使用状況などを踏まえた上で、将来計画を立案することになるだろう。
- (6) 昨年度出されていた駐輪場の問題（舗装）は今年度も出されていたが、全体の半分が舗装されたことで若干の改善ははかられたと考えられる。屋根の設置については引き続き検討課題である。
- (7) 今年度は「冷水器」の再設置、「温水器」要望が出されている。（→2）冷水器は自販機を使わなくて済む、温水器はカップ麺などに時間に関係なく使用したいといったことなのかもしれない。冷水器は衛生上の問題で撤去したとのことだが、生水を飲まなくなっていることから、問題があればクリアされて再設置は望まれるところである。

2. 食堂・売店について

- (1) 昨年度に引き続き、メニュー、味、料金、営業時間などに要望が出されている。(4→7) 劇的な変化は望みにくいですが、どこかに特色があるなど、少しずつでも改善をはかることが望まれる。また、食堂へのアクセスの改善は学生にどう評価されるか。
- (2) 売店についても、品揃え、料金、規模、営業時間など引き続き要望が出されている。(4→4) 売店の運営母体が変わっているが、劇的な変化がないことは売店も同様なので、学生からは引き続き同じ要望が出され続けることになるだろう。

3. 通学について

引き続きバス通学に関する要望が出されている。(5→11)

便数とダイヤの設定、混雑の緩和については要望が多い。時間帯によって混雑の度合いにバラツキがあるので、本数そのままダイヤ改正を行うとまた別の学生から苦情が出てくるだろう。有料・無料にかかわらず、増便とダイヤ改正などは簡単ではないと思われるが、引き続き、長崎バスの横尾路線の一部迂回路化実現なども含めて改善方法の模索が必要である。また、集中講義中の適切なバス運用にも要望が出ていた。

4. 単位・授業について

- (1) 昨年度記述があったシラバスの冊子配布については、今年度要望は出ていないことから特に問題となっていないと思われる。ネット上での閲覧に少しずつ慣れていくのだろうが、今年度から履修登録もネット上で行うことになったことから、この点については次年度またちがう要望が出されるかもしれない。
- (2) 授業中の私語や受講態度の悪さへの苦言が出されている。これは非常勤教員へのアンケートでもいくつか言及されていた。これは授業方法・運営や受講人数などの改善でまずは取り組む必要があるだろう。
- (3) 昨年度見られなかった教員と学生間、また学生間のコミュニケーションについての記述がいくつか寄せられている。

5. 進路について

就活や進学などに関して、今年度も言及が特になかった。進路選択や就活への不安や要望などあると思われるが、記述が見られない理由は推し量れない。

6. アンペロス寮について

今年度はアンペロス寮についての要望はなかった。昨年度の寮費の要望に対しては、近隣地区の住宅事情にあわせて来年度から寮費を下げる方向で検討を行っている。

7. その他

- (1) 学生証の写真は、受験票で使用した写真ではなく、改めて入学前に準備した写真の使用を求める記述があった。学生証の準備の関係があると思うが、学生が必携するものであり、できるだけアップデートである必要があることから、検討すべき点である。
- (2) 奨学金（学内？）が一部優秀な学生に集中する傾向があり、多様な奨学金授与体制への要望があった。これも、検討すべき課題と思われる。
- (3) 大学 HP、メールや G-net へのアクセスがしにくいとの記述があった。PC よりも携帯、スマートフォンへ学生の多くが移行している今日、利用をさらに促進させる観点からも、このアクセス方法の簡便さについても検討すべき課題である。

参考資料

2011 年度 <長崎外国語大学> 学生意識調査

2011 年 4 月実施

アンケートの対象となる人数：511 名 回答者数:337 名 回答率 65.9%

I 学生生活について

(回答の数字は%)

1	あなたは現在、大学何年生ですか？	大学2年生 35.0 大学3年生 28.2 大学4年生 32.6 大学1年生 4.2
2	あなたの性別は？	女性 57.6 男性 42.4
3	あなたは大学生活に満足していますか？	満足 19.0 まあまあ満足 35.7 普通 33.3 あまり満足していない 8.3 満足していない 3.6
4	大学生活全般について、あなたが高校時代に期待していたとおりにですか？	期待どおりです 13.1 まあまあ期待どおりです 41.5 あまり期待どおりではない 26.9 期待していたのと全然違う 11.3 特に何も期待していなかった 7.2
5	大学生になって良かったと思いますか？	良かったと思います 51.8 まあまあ良かったと思う 22.0 普通です 19.3 あまり良くなかったと思う 3.9 わからない 3.0
6	大学生活の目的を主として何にしていますか？	豊かな教養を身につけ人格を高める 32.3 専門的な知識を習得する 31.2 真の友達を得る 4.2 大学生活を通じて青春をエンジョイする 10.4 資格を取り将来就職に役立てたい 19.9 特にありません 2.1
7	今一番打ち込んでいるものは、何ですか？	大学の授業や課題 39.7 大学のクラブ活動 6.7 自分の趣味 28.2 アルバイト 10.6 恋愛 2.4 特になし 12.4

8	学生生活の中で一番困っていることは何ですか？	友人関係がうまくいかない 6.4 将来の見通しがたたない 47.6 やりたいことが自由にできない 7.3 やりたいことがない 5.2 大学の授業が面白くない 6.7 経済的な問題 15.8 特になし 11.2
9	現在抱えている悩みや不安は何ですか？	これからの進路について 58.6 健康上のこと 4.5 勉学上のこと 14.2 自分の性格のこと 3.9 金銭上のこと 10.0 友人関係 0.9 いじめにあっている 1.2 生活環境 1.5 特になし 5.1
10	悩みがあったら誰に相談しますか？	家族 26.0 同性の友達 48.3 異性の友達 12.1 先輩 3.6 アドバイザーの先生 2.4 アドバイザー以外の先生 0.3 個人的な悩みを相談する人がいない 7.3
11	学内のカウンセリングルームについて	行ったことがある 11.7 行ってみたいと思ったことがある 24.6 存在を知らなかった 21.3 行かない 42.5
12	10で「行かない」と答えた人は、行かない理由を選んで下さい	必要がない 49.8 場所が悪い 10.5 時間帯が悪い 14.0 行っていることを他の人に知られたくない 4.8 カウンセリングについて、よくわからない 21.0
13	クラス・アドバイザーにはどういうことを相談していいと思いますか？	学業に関することのみ 15.4 学業に関することや、卒業後の進路の問題 40.7 学業、卒業後の進路、個人的な悩みなどどのようなことでも相談してよい 32.5% 何を相談していいのかわからない 11.4
14	あなたのアドバイザーとどの程度話をしていますか？	頻繁に話をしている 8.4 時々話をしている 25.8 相談事があるときだけ話をしている 21.6 授業以外では全く話をしていない 27.6 全く話したことがない 16.5

15	今までにアドバイザーと全く話しをしたことがない人だけ教えてください。 なぜ、今までアドバイザーと全く話しをしたことがないのですか？	話したいと思うが機会がない 28.1 自分が消極的なため機会はあるが話すことができない 29.5 話したいと思うがアドバイザーが相談にのってくれそうにない 13.0 特に話す必要がない 29.5
16	あなたはたばこを吸いますか？	はい 16.7 いいえ 83.3
17	本学の喫煙場所についてどう思いますか？	このままでいいと思う 45.7 全館禁煙にすべきだと思う 35.9 よくわからない 18.4
18	通学時間はどのくらいですか？	5分以内 10.5 15分以内 38.1 30分以内 34.5 約1時間 10.5 1時間以上 6.3
19	通学手段は次のうちどれですか？	徒歩 29.0 バス 39.6 JRとバス 4.2 電車とバス 4.8 自家用車 5.7 バイク 11.8 自転車 4.8
20	自家用、または、バイクで通学している人への質問です。 自家用車やバイクで通学をする場合、学校から許可を受けなければいけません。あなたは、許可を受けていますか？	受けている 32.5 知らなかったので受けていない 36.8 知っていたが、許可は受けていない 30.7
21	勉強をしていない時は、自由時間をどのように過ごしていますか？	なにもせず、ただボーッと過ごしている 8.2 テレビをみる 13.7 スポーツ 5.2 友達とおしゃべりをしたり、外出したりしている 26.4 授業に関係のない本を読む 5.2 寝ている 5.5 アルバイトをしている 23.4 デートをしている 2.1 その他 10.3
22	アルバイトをしていますか？	はい 55.5 いいえ 44.5
23	週にどのくらいアルバイトをしていますか？	毎日授業が終わって 12.3 週に3、4日授業が終わって 46.6 週末のみ 30.1 夜間のみ毎日 2.7 夜間のみ3、4日 4.6 夜間のみ1、2日 3.7

24	現在あなたがしているアルバイトの職種は次のうちどれにあたりますか？	ファーストフード店での販売 12.6 ウエートレス、ウエーター 24.2 コンビニ、スーパーやデパートでの販売、レジ係り 23.3 その他の販売 14.4 家庭教師又は塾の講師 3.3 軽作業 3.7 事務 2.3 夜間のコンビニエンスストア 0.5 夜間の飲食店（居酒屋、スナック等を含む） 15.8
25	アルバイトが原因で授業を休んだことがありますか？	たびたびある 9.6 時々ある 15.2 めったにない 15.7 一度もない 59.6
26	なぜアルバイトをしているのですか？	生活費の補助にするため 53.1 欲しいものを買うため 21.5 将来の夢のため 10.1 社会勉強のため 11.4 友達をつくるため 0.9 レジャーや旅行のため 1.3 別に理由はない 1.8
27	学内の施設で改善して欲しいものがありますか？	ラウンジ 12.0 食堂 26.9 トイレ 29.4 図書館 8.2 メディアセンター 0.3 教室 2.8 売店 15.5 その他 4.7
28	図書館はどのくらいの頻度で利用しますか？	ほとんど毎日利用する 29.4 週に数度は利用する 36.1 週に1、2度は利用する 14.8 たまに利用する 14.8 めったに利用しない 3.9 行ったことがない 0.9
29	図書館では何をすることが一番多いですか？	図書の閲覧、貸し出し、読書 27.5 予習、復習 54.1 新聞、雑誌などを閲覧する 8.5 ビデオをみる 3.6 その他 6.3
30	メディアセンターの自習室はどのくらい利用しますか？	よく足を運ぶ 10.5 ときどき行く 31.1 あまり行かない 17.7 めったに行かない 21.9 行ったことがない 18.9

31	メディアセンターで、インターネット、e-mailをどのくらい利用しますか？	良く利用する 11.2 ときどき利用する 32.5 あまり利用しない 18.2 めったに利用しない 17.3 利用したことがない 20.7
32	キャリア支援室へは、どのくらいの頻度で行きますか？	よく足を運ぶ 12.0 ときどき行く 27.1 あまり行かない 18.1 めったに行かない 19.3 行ったことがない 23.5
33	掲示板について	毎日くまなく見る 24.8 毎日決まったところだけは見る 23.6 学校に来たときには見る 37.8 週に何度かは見る 9.7 あまり見ない 3.3 ほとんど見ない 0.9
34	学生要覧について	よく参考にする 13.3 必要なときには参考にする 47.1 ときおり参考にする 27.5 まったくみない 12.1
35	あなたの職業観にもっともよくあてはまると思われる項目を、以下の選択肢の中から一つ選んで回答してください。	収入が少なくても興味の持てる仕事より、 興味が持てなくても収入の多い仕事を選びたい 26.7 収入や知名度などよりも、社会への貢献性を重視して職業を選びたい 19.9 大学で学んだことを生かせる職業を選びたい 33.4 やりたい仕事が見つかるまでは就職をしなくてもよい 11.0 これからの社会は学歴よりも実力だと思う 8.9
36	卒業後の進路について考えていますか？	考えている 80.6 考えていない 19.4
37	35で「考えている」と答えた人は、具体的に次のなかから選んでください	企業への就職 60.5 大学院への進学 24.3 海外の大学、語学学校への留学 4.7 家業手伝い 2.0 その他 8.4
38	理想的な生き方はどれですか？	仕事も家庭も大切にし、社会の役に立つ 25.9 何事にもベストを尽くす 11.1 人間らしい自然な生き方をする 10.5 目標に向かって前進する 10.8 健康で毎日楽しい生活を送る 15.4 悔いのないよう、毎日を大切にす 6.5 自分自身を充実させる生き方をする 12.7 自己に忠実に信念をもった生き方をする 3.4 平凡な生き方をする 3.7

II 学習について

○大学生として学業に取り組む上で必要と思われる資質について、今のあなたに当てはまるかどうか回答してください

39	自分は学ぼうという意欲や気力がある。	当てはまる 63.7 どちらともいえない 28.4 当てはまらない 7.8
40	自分の考えを他の人にわかりやすく話すことができる	当てはまる 36.1 どちらともいえない 44.6 当てはまらない 19.3
41	不明なこと、理解できないことを納得できるまで追及する	当てはまる 47.0 どちらともいえない 43.8 当てはまらない 9.2
42	他人と協力しながら学習や作業を進めることができる	当てはまる 60.7 どちらともいえない 31.3 当てはまらない 8.0
43	奉仕的精神を持って、人間や社会に働きかける	当てはまる 49.7 どちらともいえない 39.1 当てはまらない 11.2
44	自分の欠点を自覚し、常に改善の努力を続ける	当てはまる 56.1 どちらともいえない 35.8 当てはまらない 8.1
45	幅広い知識や教養を身につけようとしている	当てはまる 64.4 どちらともいえない 29.8 当てはまらない 5.7
46	物事を筋道立てて論理的に考察することができる	当てはまる 44.7 どちらともいえない 40.6 当てはまらない 14.7
47	自分の考えを文章を用いて正確に表現することができる	当てはまる 38.8 どちらともいえない 43.3 当てはまらない 17.9
48	書物を読む習慣が身についている	当てはまる 38.5 どちらともいえない 31.5 当てはまらない 29.9
49	すでに確立されている知見にとらわれず、自分の頭で考えることができる	当てはまる 45.0 どちらともいえない 43.1 当てはまらない 11.8
50	パソコンなどの新しい機械の操作や新しい技術の習得に心理的な抵抗がない	当てはまる 59.0 どちらともいえない 28.3 当てはまらない 12.7
51	社会問題に関心がある	当てはまる 57.9 どちらともいえない 33.1 当てはまらない 9.0

○あなたが授業を選択するとき、重視することについて回答してください

52	学問的に興味があるかないか	重視する 77.5 どちらともいえない 17.7 重視しない 4.8
53	課題の量の多少	重視する 51.8 どちらともいえない 34.7 重視しない 13.5
54	単位の取りやすさ	重視する 67.2 どちらともいえない 25.7 重視しない 7.1
55	先生の成績のつけ方（出席を加味する、レポートの提出がある等）	重視する 66.0 どちらともいえない 22.0 重視しない 12.0
56	時間割の都合	重視する 76.4 どちらともいえない 15.4 重視しない 8.2
57	将来の仕事に役に立つか	重視する 58.8 どちらともいえない 28.1 重視しない 13.1
58	先生の授業のやり方、教え方	重視する 71.6 どちらともいえない 19.9 重視しない 8.5

○以下は大学での勉学に関する質問です。授業についての質問は特定の授業ではなく、授業全部をイメージして答えてください

59	授業には満足していますか	満足している 37.7 どちらともいえない 46.2 満足していない 16.1
60	授業の内容を理解していますか	理解している 52.3 どちらともいえない 41.8 理解していない 5.9
61	授業で不明な点はどのように解決していますか	教員に直接質問する 41.3 友人に質問して教えてもらう 42.6 参考書やインターネット、図書館等を利用して自分で調べる 12.9 わからないままにしておく 3.3
62	授業への出席率はどれくらいですか。 (例：80%なら⑤をマーク)	20%未満 12.8 20%以上40%未満 11.8 40%以上60%未満 7.2 60%以上80%未満 15.4 80%以上 52.8

63	あなたが授業を欠席する主な理由は何ですか	授業の内容が難しすぎるから 12.3 授業の内容がやさしすぎるから 11.6 学ぶ意欲がわからないから 15.1 病気のため 28.8 アルバイトが忙しいから 3.1 朝寝坊のため 22.6 その他 6.5
64	自由時間には、1日どれくらい勉強していますか。(例：2時間なら④をマーク)	0時間 18.2 1時間未満 35.4 1時間以上2時間未満 30.5 2時間以上3時間未満 12.3 3時間以上 3.6
65	自由時間には、どのようなことを主に勉強していますか	授業の予習復習だけ 37.4 資格や将来のための自主的な勉強 33.8 授業のための自主的な勉強 9.5 授業のためとそれ以外の自主的な勉強 12.8 その他 6.6

○コースを選んだ理由について教えてください

66	コースの授業は自分の興味・関心にあっている	当てはまる 69.2 どちらともいえない 25.2 当てはまらない 5.6
67	自分の能力を生かすことができる	当てはまる 53.9 どちらともいえない 36.8 当てはまらない 9.2
68	希望する職業につくことにむすびつきそうである	当てはまる 50.0 どちらともいえない 36.3 当てはまらない 13.7
69	そのコースの先生方と気が合う	当てはまる 48.0 どちらともいえない 42.4 当てはまらない 9.6
70	クラスメート達と気が合う	当てはまる 61.8 どちらともいえない 32.4 当てはまらない 5.7

71	<p>学生生活と学習について感じる事があれば、別途記述欄に自由に書いてください</p>	<p>【授業・単位】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教養科目の授業内容をもっと専門的なものにしてほしい。 ・一部、レベルの低い授業がある。 ・一年を通して授業自体に変化がなく面白くないと感じる。 ・授業自体に意欲をもって臨める環境をつくるため先生とコミュニケーションをとる時間を作り、生徒と先生とのコミュニケーションのとりやすい環境がほしい。 ・現代英語学科の先生方には不親切な方が多く、親しみが持てない。もうひとつの先生方はとても親切で親しみがもてた。 ・1ヶ月に1回、自分の専攻言語でコミュニケーションを取り合う（No日本語デー）の実施。 ・日本に来て日本語の勉強は十分だと思うが、日本文化をあまり経験できていない。日本文化の授業があるが実感がない。 ・日本語の授業において学年とクラスはいつも変わって、購入した教科書は不要になる。もったいないし先生と一緒に勉強することもできないし、なんとなく悲しく感じる。 ・日本語の授業は日本人学生と一緒に受けることはあまりない。授業中、日本人学生たちを応援してくれればいいと思う。 ・コース別の授業は人がいっぱいいてうるさくて勉強しにくい。 ・中国人留学生はよく授業でおしゃべりするので先生方はもっと厳しく対応してほしい。 ・学生の中に授業態度がひどい者がいる。 ・スペイン語を学びたいという下級生がいるということは何度か耳にしたことがある。何かの形で勉強ができるようになったらいいと思う。 ・出席もきちんと評価に入れて欲しい。 <p>【大学生活全般】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集中講義があるのにバスもないし、売店もないのでとても不便である。授業をするならそれくらいしてほしい。 ・留学生のトイレの使い方を徹底してほしい。扱いが汚い。手を洗わない人が多い。 ・中国人留学生のマナーが最悪。 ・体育館使用のマナーを改善してほしい。 ・学生課の方々の対応が怖い。 ・トイレの匂いを改善してほしい。 ・トイレで喫煙する人がいる。対策を考えてほしい。 ・トイレのカーテンは扉などに置き替えてもらいたい。 ・冷暖房の設備をしっかりしてほしい。 ・冷暖房の管理、温度調整をきちんとしてほしい。
----	---	---

71	<p>学生生活と学習について感じるものがあれば、別途記述欄に自由に書いてください</p>	<p>【施設】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ラウンジは作り変える必要はないと思う。それより冷暖房の管理をしっかりとしてほしい。 ・外大は学生が要望することは何一つ取り込まない。 はっきり言って今回新しくなった看板は新しくする必要はなかったと思う。それよりもっとそのお金を使って改善すべき場所があるはずである。 クラブハウスはクオリティーが低すぎて利用するサークルも限られている。音楽室はどこにあるかわからないところにあるし、音がもれて、さらにそれが理由で練習にならない。魅力が少なすぎる。 ・音楽室の改修工事をお願いしたい。 学生にとってもっとよりよい大学にしてほしい。 ・バンドをしている人のために音楽室をつくってほしい。 ・軽音楽部の練習スペースを広くしてほしい。 ・トイレの匂いを改善してほしい。 ・トイレで喫煙する人がいる。対策を考えてほしい。 ・トイレのカーテンは扉などに取り替えてもらいたい。 ・冷暖房の設備をしっかりとしてほしい。 ・冷暖房の管理、温度調整をきちんとしてほしい。 ・2階にある喫煙所はドアをきちんと閉めてもらいたい。 ・2階にある喫煙所は2階の教室に悪い影響がある。 授業中ときどき煙草の匂いがして困っている。 ・喫煙所の場所をもう少し考えてほしい。 ・全館禁煙にしてほしい。 ・冷水器の機械を早めに直してほしい。 ・冷水器以外にも自由に使える温水器を用意してほしい。 ・売店の品揃えを増やしてほしい。値段も高すぎる。 長大の売店のように値段を安くし、品揃えを充実させてほしい。 ・売店をコンビニにしてほしい。 コンビニが不可能でも種類を増やしてほしい。 ・学食がおいしくない。高い。 ・学食のメニューをもっと増やしてほしい。 ・もっと安くおいしいご飯を食べたい。 ・食堂のものは安いがまずい。そして出来上がるまで時間がかかる。 3時限の授業にどきどき遅刻することになった。 ・食堂、売店の商品を安くしてほしい。 ・売店、食堂の営業時間を長くしてほしい。 ・ご飯を食べるところがない。 ・駐輪場をコンクリート敷にしてほしい。 ・駐輪場に屋根をつけてほしい。 ・メディアセンターのパソコンをもっと新しいのにしてほしい。 ・体育館のワックスかけの改善。 ・学食のピアノの弦のはね返りが悪いので修正などをしてほしい。 ・ATMを十八銀行だけではなくゆうちょがほしい。 ・近くにコンビニがほしい。 ・生協をつくってほしい。
----	--	--

71	<p>学生生活と学習について感じる ことがあれば、別途記述欄に自由 に書いてください</p>	<p>【通学】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バスの便数を増やしてほしい。 ・無料バスの便数を増やしてほしい。10:00 頃は乗れない。 ・1 時間目の授業に間に合うバスが欲しい。 ・バスが混み過ぎる。 ・秋学期は無料バスどころか有料バスも満席で乗れずとても不便だった。 ・バスのダイヤ改正（朝）によって通学が大変になった。 ・留学生のマナーが悪すぎるので注意を呼びかけてほしい。 ・無料バスのダイヤが授業の時間に対して合っていない。 ・無料バスのダイヤで 10:00 の住吉発を再運行してほしい。 ・ダイヤ改正の理由を説明してほしい。 ・大学が山の上にあると登校がづらい。 <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学生証の写真は入学前に別途学生側から準備してもらい、それを使用すべきだと思う。 ・頑張っている人にその分の奨学金がもらえると助かる。成績も大事だが個人の態度はもっと大事だと思う。奨学金がもらえると個人的なストレスも緩和され勉強にもっと専念することができると思う。一部の優秀な学生にたくさん応援をするだけでなく、他の学生ももっと応援してほしい。 ・学校のHP が分かりにくい。特にメールやG-net がアクセスしづらい。だから普及しない。Safari で見れない。
----	--	---